萬國大年表

全

昭和拾壹年壹月拾七日
故森林太郎氏

G16-31

文學士 棚橋一郎
文學士 小川銀次郎 合編

萬國大年表

東京 三省堂發行

鷗外藏書

皇紀	天皇	年	干支	日本	太宗 貞觀	支那	西暦	西洋
1287	推古	35	亥丁		1	○燕王李藝反す、○天下を十道に分つ。	627	○コスロース二世の軍、ニネヴエに於て、ヘラクリウスに破らる。
1288	推古	36	子戊	○蝦夷詔を矯めて田村皇子を立つ、○日蝕始て史に見ゆ、○三月七日、帝崩す、壽七十五。	2	○突厥入朝す。	628	○コスロース二世、弑せらる、
1289	舒明	1	丑己		3	○帝、親ら東都に耕す。	629	○モハメット、メッカを征服す、○モハメット、パレスタインに侵入す。
1290	舒明	2	寅庚	○三月、高麗、百濟並に朝貢す、○八月、犬上御田鍬を唐にやる、○都を飛鳥岡に遷す。	4	○洛陽宮を修む、○鞭背刑を除く。	630	
1291	舒明	3	卯辛	○有馬溫泉に幸す、○百濟の王子豐璋來り質となる。	5	○使を遣し、高麗に至らしめ、隋戰士を葬らしむ。	631	○ダゴベル一世、フランク帝國を統一す。
1292	舒明	4	辰壬	○遣唐使歸朝、唐使俱に來り明年歸る。	6	○三師官をやむ、○長孫世忌、司空となる。	632	○モハメット歿す、アブーベクル繼て回々教主となる(第一カリフ)。
1293	舒明	5	巳癸	○七月、詔して大寺を造らしむ、○唐使國に歸る、送て對馬に至る。	7	○玄奘、天竺にゆく。	633	
1294	舒明	6	午甲	○彗星始て見ゆ。	8	○吐谷渾入寇、○皇甫德參を以て、監察御史となす。	634	○アブーベクル歿し、オーマル代る。
1295	舒明	7	未乙	○六月、百濟朝貢す。	9	○五月、太上皇崩す、○大に吐谷渾を破る。	635	○羽莖の筆成る、○カデシアの戰、波斯人、サラセン人と戰て敗る。
1296	舒明	8	申丙	○群臣の朝參鐘を以て期となす、○岡本宮災し、居を田中宮に遷す。	10	○西域、朱俱波甘棠、入貢す、○上書、告許者を禁す、○兵制を定む。	636	○サラセン人、シリア、パレスタインを征服す。
1297	舒明	9	酉丁	○蝦夷反す、上毛野形名之を擊つ。	11	○武氏を以て才人となす、○新禮を行ひ律令を定む、○洛陽宮に幸す。	637	
1298	舒明	10	戌戊	○大風、○有馬溫泉に幸す、○百濟、新羅、任那朝貢す。	12	○氏族志を頒つ、○吐蕃松州に寇す。	638	
1299	舒明	11	亥己	○九月、唐の學問僧京に入る、○伊豫溫泉に幸す。	13	○房玄齡に太子少傅を加ふ、○傅奕王珪卒す、○流鬼國入貢す、○高昌を伐つ。	639	○オマルの將アムル埃及を征服す。
1300	舒明	12	子庚	○僧惠隱を徵し、禁裡に齋を設け、經を誦せしむ、○十月、新羅、百濟並に入朝す、留唐學士高向玄理等を送り來る。	14	○服制を更定す、○高昌を滅す。	640	
1301	舒明	13	丑辛	○十月、天皇崩す、壽四十九。	15	○公主を吐蕃に嫁す、○李世勣を以て兵部尚書となす、○陰陽雜書を刊定す。	641	○東羅馬帝コンスタンチン、其繼母に毒殺せらる。
1302	皇極(女帝)	1	寅壬	○都を飛鳥に遷す、○二月、高麗、百濟國喪を弔ひ、並に貢献す、○三韓、任那に使を遣り、天皇登極を告ぐ、三月、新羅の弔使、賀使來朝す、○蝦夷、百濟王子を其第に饗す。	16	○公主を薛延陀に嫁す、○魏徵を以て太子の大師となす。	642	○サラセン人、大にネハヴェンドに於て、波斯軍を破り之を服從せしむ、(サッサン家最後王の死―六五一)。
1303	皇極(女帝)	2	卯癸	○入鹿、山背王を弑す、○飛鳥の板葺宮の南面に門十二を起つ、皇宮十二門の制此に始る。	17	○魏徵卒す、○功臣を凌煙閣に畫く。	643	
1304	皇極(女帝)	3	辰甲	○鎌子神祇伯となる、○入鹿、僭上、始て城壁を築き、兵庫を作る。	18	○高麗を伐ち、明年、師を班す。	644	○オマル暗殺せらる、オスマン、オマルに繼て、大教主となる。
1305	孝徳	大化	巳乙	○蝦夷、入鹿を誅す、二月、學問僧を三韓に遣る、七月三韓朝貢、○年號の始、○天皇讓位の始、○封建を廢し、郡縣となす、○兵士の外、刀劍弓矢を帯るを禁す、○外番への詔書に「日本天皇」と書くことに定む、○臣下の棺を木に定む、○任那の貢物に産地を記さしむ、尋て[illegible]人を遣し、物産を檢せしむ。	19	○東征、侍劉泊を殺す。	645	
1306	孝徳	2	午丙	○改新の詔を宣ぶ、○高麗、百濟、任那並に朝貢す、高向玄理を新羅に遣り質を徵す、新羅王子金春秋を遣る、○戸籍、租庸調の法を行ひ、賣地を禁す、○鐘匱を朝に設く、○驛馬驛鈴の法を定む。	20	○高麗、謝罪す。	646	
1307	孝徳	3	未丁	○正月、新羅、高麗朝貢す。	21	○骨利幹、入貢す、○龜茲國を討つ。	647	○サラセン人、アフリカ及びサイプラス島の霸權を握る。
1308	孝徳	4	申戊	○新に禮法を定め、七色、十三階の冠を制す、○葬法を定め、殉死を禁す、○渟足柵を造り柵戸をおく、○古冠をやむ、○新羅朝貢す。	22	○帝範を作り、太子に賜ふ、○房玄齡薨す、○西突厥來降す。	648	

1353	持統	7 癸巳	○五月、百濟人歸化す、○位を百濟王に授く、○八月、百濟人を武野に移す、○諸州陣法を習ふ、○始て新羅に賻を賜ふ。	中宗 10	○太后裴匪躬及び侯息を殺して止む、○武氏、自ら金輪聖神皇帝と稱す、○武承嗣をやむ。	693	
1354		8 甲午	○大宅麻呂を鑄錢官に拜す、○藤原に遷都す、○耽羅最終の朝貢。	11	太后延載 ○銅鐵を以て天樞を鑄る、高十丈五尺、武氏の德を刻し、端門外に立つ。	694	
1355		9 乙未	○三月、新羅使をやり貢を調す、○九月、大赦、小野毛野等を新羅に遣る、○帝、右大臣丹比眞人島に輿を賜ふ、本邦輿を臣下に賜ふこと此に始まる。	12	太后天冊万歲 ○吐蕃を討つ。	695	
1356		10 丙申	○三月、肅愼志良守睿等歸順す、物を玉ふ、○帝の御宇、京師を兩分して左右と爲す、○七月、太政大臣高市皇子薨す、○諸蕃南門に射る、○千三百五十二年以後五年間、元嘉曆を用ゆ。	13	太后万歲登封 ○契丹を伐つ。	696	
1357	文武	1 丁酉	○十月、新羅使を遣り朝貢す、之を諸陵諸社に献す、○先帝を尊て太上天皇と云ふ、○以後六十七年間、儀鳳曆を用ゆ。	14	太后神功 ○帝房州にあり、○周、九鼎を鑄る。	697	○東羅馬帝レオンチュース廢せらる、○ヴェニスのドゲート(統領)起る。
1358		2 戊戌	○夏、大旱す、雨を名山大川に祈る、○始て笞法を制す、○博奕を禁す。	15	太后聖曆 ○帝を東都に迎へ還し、皇太子となす。	698	
1359		3 己亥	○五月、僧道照死す、之を葬るに火葬を以てす、火葬の始、道照曾て隋の玄奘に學び、印度の論理法を我國に唱へ、又諸國に井を堀り船を造る、○妖人小角を伊豆大島に流す。	16	○帝、東宮に在り、○婁師德卒す。	699	
1360		4 庚子	○五月、使を新羅に遣る、○牧地を定む、○藤原不比等詔を奉し始て律令を撰ぶ。	17	太后久視 ○夏、正を復す、狄仁傑卒す。	700	
1361		大寶 辛丑	○正月、新羅使者歸國す、○以後年號を絶たず、毎年釋奠あり、○宮屋を瓦葺にす、○上皇崩す、天皇火葬の始、○新令により官名位號を改む。	18	太后長安	701	
1362		2 壬寅	○二月朔、新律を天下に頒つ、○桑を植ゑしむ、○大寶令十七卷完成す、○六月、使を遣り唐に聘す、○十二月、始て岐蘇山道を開く、○持統帝崩す。	19	○吐番を擊破す、○帝、東宮にあり。	702	
1363		3 癸卯	○天國小烏丸の名刀を作る、○贈官の始、○學制を改む、○九月使を新羅にやり、喪を吊す、○始て土牛を作り追儺す、○三品刑部親王に詔して、知太政官事とす。	20		703	

1364	文武	慶雲 甲辰	○七[illegible]す、○天下に大赦す、○始て諸國の印を鑄る、○朝會に榻を用ひ、跪伏禮を停む、○越後始て兎毛布を献す、○始て鐵砂を採て劔を作る、○大學に公廨稻を給す	中宗 21	○周、大像を鑄る、○帝東宮にあり。	704	
1365		2 乙巳	○十月、新羅朝貢す、○諸國飢疫、醫藥を給して之を賑恤す、○天皇窠子錦を織らしむ、○斗升法を定む、○此頃より朝使往て韓使を筑紫に迎ひ京に導くと始まる。	神龍	○帝位に復し、太后を遷す、太后殂す、八十二。	705	○ジュスチニウス二世、東羅馬帝位に復す。
1366		3 丙午	○八月、美努淨麿等を新羅にやり、敕を賜ひ之を褒す、○衛士に發弩抛石を習はしむ、○帝の世に漆部司をおきてより、漆工大に進む、又雄黃、直朱、朱砂、綠青、白鑞等の鑛物出つ。	2	○武三思、名臣を殺す、○衛王重俊を立てゝ皇太子となす。	706	
1367		4 丁未	○六月、天皇崩す、壽二十五。	景龍	○皇太子、武三思を殺して敗死す。	707	
1368	元明(女帝)	和銅 戊申	○武藏銅を献す、銀錢鐵を廢す、○銀銅、和銅開寶を鑄る、○都を平城に遷る。	2	○修文館學士をおく。	708	
1369		2 己酉	○五月、新羅朝貢す、六月歸國す、○私に銀錢を鑄るを禁す、○陸奧越後の蝦夷反す、巨勢麿之を討つ、○不比等始て新羅の使者を引きて面晤す、○越前越中越後佐渡をして、各一百艘の船を造らしむ。	3		709	
1370		3 庚戌	○都を平城に遷し、左右京坊を置く、○銀錢を廢す。	睿宗 景雲	○六月、皇后韋氏中宗を毒殺し、殤帝を立つ、隆基之を廢して帝を立つ。	710	
1371		4 辛亥	○錦綾を織ることを諸國に教ゆ、○始て都亭驛を置く。	2	○十道に按察使を置く。	711	○タリック、サラセン人を率ゐ西班牙に侵入し、ヴィシゴス王ロデリックを討ち之を破る。
1372		5 壬子	○越後を割きて出羽を置く、○太安麿、古事記を上る、○十月、道首名を新羅に遣る、○伊勢、尾張等二十一國に令して、綾を織て上らしむ。	太極	玄宗先天 ○帝位を太子隆基に傳ふ。	712	
1373		6 癸丑	○詔して諸國の風土記を編ましむ、○地名は務めて佳字を用ゐしむ、○四月、丹波五郡を割て丹後を置き、備前六郡を割て美作を置き、日向を分ち大隅を置く。	玄宗 開元	○大祚榮、渤海郡王となる、○十二月、官名を改む。	713	○サラセン人、西班牙を征服す。
1374		7 甲寅	○孝子貞婦を賞す、○布二丈六尺を端となすことを定む、○文武帝の子、美麻斯を立てゝ皇太子となす、○十一月、新羅朝貢す。	2	○球玉、錦繡を焚て、奢侈を禁す、○左右教坊を置く、○興慶宮を作る。	714	○アウストリア侯チャールス、マーテル佛國の全權を執る。

皇紀	元正（女帝）		玄宗		西暦	
1375	靈龜 乙卯	○勸農の詔。	3	○西域八國、降を請ふ、○侍讀官を置く。	715	
1376	2 丙辰	○多治比縣守、唐に使す、眞備、仲麻呂、玄昉之に隨ふ、凡て五百五十七人、○大隅櫻嶋涌出す、○高麗人を武藏に移し高麗郡を置く、○始て和泉監を置く。	4	○天竺の善無畏京師に至る、○太上皇崩す。	716	
1377	養老 丁巳	○上總、信濃始て絁を獻す、爾來東國も亦絁を織るの業盛なり、○養老泉涌出す、○衣服の制大に定る、○僧行基を追ふ、○初て遣唐使の爲に神祇を祭る。	5	○詔して逸書を求む、○官名を復す。	717	
1378	2 戊午	○不比等更に律令を撰ふ、○能登、安房を置く、○大に太宰府の制を定む、○五月、小野馬養等を新羅に遣る、○十二月、大赦す。	6	○始て賦を加て諸官の俸に給す、○州縣に令して郷飲酒の禮を行はしむ。	718	
1379	3 己未	○詔して、諸國の貢獻する所の絹絁の制を定めしむ、○婦人の服制を定む、○衽を右にせしむ、○始て按察使を置き諸國を巡察す、○七月、新羅朝貢し、別に馬を獻す、○八月、白猪廣成等を新羅に遣る、○諸官人に令して笏を執らしむ。	7	○華嚴論成る。	719	○サラセン人、ナルボン府を取る。
1380	4 庚申	○舍人親王、日本紀を上る、○諸國に放生せしむ、○奥の蝦夷反す、○不比等薨す、○石勝等官の漆を盜む、○隼人等風俗歌舞を奏す。	8	○三藏、天竺より來る、○宋璟蘇頲罷らる。	720	
1381	5 辛酉	○養老中、天竺の僧、善無畏來る、天竺の教法始て入る、○左右兵衞を置く、○十二月 新羅朝貢す、會上皇崩す、太宰府より放還す。	9	○姚崇、劉子玄卒す。	721	
1382	6 壬戌	○五月、式部大錄、津生沼磨を新羅に遣す、○五月より八月に至り雨らす、詔して今年の田租を免す。	10	○安南の亂を討平す、○始て兵を募りて宿衛とす、○兵農の分、此より始る。	722	
1383	7 癸亥	○諸國に課し、田疇を開かしむ、○八月、新羅朝貢す。	11	○麗正書院をおき、修書講經せしむ。	723	
1384	神龜 甲子	○七月、土師豐磨を新羅に遣す、○奥蝦夷反す、藤原宇合討て之を平く、○配所の遠近を定む、○多賀城を築く、○木工唐僧道慈、唐風建築に名あり、大安寺を奈良に建つ、○五位以下及ひ庶人の力堪ふる者に瓦舍赤塗を命す。	12	○宇文融を御史中丞とす、○內侍、楊思勗、大將軍となる。	724	
1385	2 乙丑	○所司、三千人を出家せしむ、○佛教、帝の世より大に興る。	13	○水運渾天儀を作る、○泰山を封す、○車駕還て宋州に至る。	725	

快楽
略記

皇紀	聖武		玄宗		西暦	
1386	3 丙寅	○行基（神佛同体說を唱へし人）山崎の橋を造る、○六月、新羅朝貢す。	14	○黑水、靺鞨使入貢す。	726	○東[illegible]國內爲に囂々たり（第一次）。
1387	4 丁卯	○大和、長谷寺を建つ、○使を七道に遣す、○渤海使船出羽に漂着す。	15	○盜、王君㚟を殺す。	727	○英國ウエセックス王イナヒーターース、ペンスと稱する租税を課す。
1388	5 戊辰	○始て渤海國使入貢す、引田蟲麿送使となり、渤海王に物を王ふ、○大學に律學文章の二博士をおく、○始て進士を試す。	16	○吐蕃を破る、○開元大衍曆を行ふ。	728	○東羅馬帝レオ、法王グレゴリーを廢す。
1389	天平 己巳	○皇叔藤原光明子を皇后とす、○詔して諸國の四丈の廣絹を停め、六丈の狹絁と爲さしむ、○左大臣長屋王反す發覺して自殺す、○道慈 大安寺を造る。	17	○帝の生日を千秋節とす、○私に銅、鉛、錫を賣るを禁す、○工部尚書張嘉卒す。	729	
1390	2 庚午	○興福寺塔立つ、○皇后宮職及び施藥院を置く、○八月、蟲麿渤海より還る。	18	○忠王浚、奚契丹を討つ。	730	○グレゴリー東羅馬帝を破門す。
1391	3 辛未	○雅樂寮を定め、韓唐兩樂を並用す、○諏訪國を廢し、信濃に併す。	19	○王毛仲、罪あり死を玉ふ。	731	
1392	4 壬申	○江、丹、播、備四國に命し、使船四艘を造らしむ、○詔して東海、東山、山陰、山陽、西海に命して、米穀百石以上を載するに勝ふる船を造らしめ、以て兵船となす、○帝冕服朝を受く、○新羅入貢 以後三年 一貢を許す。	20	○信安王禕、大に奚契丹を破る。	732	○ポアチアの戦、チャールス、マーテル、サラセン人を破り、フランク帝國を援ふ。
1393	5 癸酉	○四月、遣唐使（難波津より）發す、○大學貧書生を官費とす、○諸國飢ゆ、詔して之を救恤す。	21	○渤海國を討つ克たす、○天下を分て、十五道とす。	733	
1394	6 甲戌	○四月、地大に震ふ、山崩れ、川壅し、民多く死す、○十月、遣唐使[illegible]州を發し、海に入り惡風に逢ふ、○光明皇后、興福寺の西金堂を造營す、○帝、歌垣を觀る。	22	○張九齡、中書令となる、○李林甫を以て同三品となす。	734	
1395	7 乙亥	○二月、新羅朝貢す、○三月、遣唐使廣成、留學眞備と共に歸る、○十一月、舍人親王薨す、○痘瘡の始、○歸化唐人袁晋卿を大學音博士となす。	23	○楊貴妃參內す、○張瑝、張琇殺さる。	735	
1396	8 丙子	○四月、安陪繼麿、大伴三中等を新羅にやる、○橘姓を葛城王に賜ふ、○唐僧道璿、華嚴（又賢首）宗を傳ふ、遣唐副使、波斯醫を從へ歸朝す。	24	○張九齡、千秋金鑑錄を上る、○吳道子、地獄變相の圖を作る、○安祿山、奚契丹を討て克たす。	736	

天皇	皇紀	年	干支	本邦	支那帝	年	支那	西暦	西洋
聖武	1397	9	丁丑	○正月、繼麿津島に病死す、判官復命す、○痘瘡天下に大に流行し、藤原宇合等痘瘡にて薨す。	玄宗	25	○張九齡を貶して荊州長史となす、○儀同三司廣平公宋璟卒す。	737	
	1398	10	戊寅	○皇女、阿部內親王を立てゝ皇太子となす、○正月、新羅朝貢す、○渤海使船廣成を送り、洋中風に逢ひ覆溺す、○齊日に漁獵を禁す、○諸國をして國郡の圖を上らしむ。		26	○行宮を兩都間に置く、○天下州縣に令して皆學を置かしむ、○忠王璵を立て、皇太子となす。	738	
	1399	11	己卯	○崑命に漂流せし廣成歸朝す。		27	○孔子に、文宣王と追諡す、○吐蕃入寇す。	739	
	1400	12	庚辰	○正月、渤海使方物を献す、○二月、渤海の使國に歸る、○大宰少貳藤原廣嗣兵を擧げて伏誅す、○和泉監を河內國に併す。		28	○張九齡卒す。	740	
	1401	13	辛巳	○大赦、○東大寺を建つ、高十五丈六尺、○帝佛に惑ひ刑賞黜陟律令によらさるとあり、○諸國、國毎に寺を立てしむ、之を國分寺と云ふ、又、七層塔を造る。		29	○安祿山、營州都督となる。	741	
	1402	14	壬午	○新羅朝貢す、書詞例に違ふ之を郤く、○大宰府を廢す。		天寶	○老莊、列子を祭る、○安祿山を以て王盧節度使となす、官名を改む。	742	
	1403	15	癸未	○佐渡を越後に併す、○筑紫、鎭守府を建て將軍を置く、○新羅入貢す貢調を土毛と改めたるを責む。		2	○安祿山入朝す。	743	
	1404	16	甲申	○都を難波に遷す、○巡察使を畿內七道に遣す。		3	○年を改め載といふ。	744	
	1405	17	乙酉	○大宰府を復す、○三韓歸化の民に姓を玉ふ、○四月、地大に震ふ。		4	○楊氏を貴妃となす、唐祚これより中絕す。	745	
	1406	18	丙戌	○赦して金銅盧舍那佛を東大寺に造る、○玄昉貶せられ、次て卒す、○墾田井園を買て永く寺地とするを禁す、○新羅男女七十四人歸化す、之を武藏に置く。		5	○祿山詐り、貴妃の子となる、○韋堅皇甫維明を貶す。	746	
	1407	19	丁亥	○五月五日、菖蒲縵を係けしむ、○京師大旱、大に飢ゆ、詔して今年の租を免す。		6	○大臣寃死多し、○驪山に幸す、○安祿山、御[illegible]	747	

天皇	皇紀	年	干支	本邦	支那帝	年	支那	西暦	西洋
	1408	20	戊子	○釋奠、服器儀式を改定す、○四月、太上天皇崩す、壽六十九、○明年八幡宮を東大寺の鎭守とす。	玄宗	7	○貴妃の族を登用す。	748	
孝謙(女帝)	1409	天平勝寶	己丑	○奥州小田郡始て黃金を献す、○帝、東大寺に幸し、五千僧をして讀經せしめ、自ら三寶奴と稱す、天子受戒法名の始、○行基寂す、○役夫歸國の途に餓死する者多し、○四月、天平感寶と改元、七月、天平勝寶と改元す、四字年號の始にて一年三元前後例なし。		8	○群臣尊號を上らんと請ふ、○趙奉璋を殺す。	749	
	1410	2	庚寅	○駿河國守、黃金を獲て之を献す。		9	○安祿山に爵、東平郡王を賜ふ。	750	○アッバスサイドの教主オミヤード朝を倒す。
	1411	3	辛卯	○東大寺に幸し、始て常樂會を置く。		10	○武庫火あり、○安祿山契丹を破る。	751	○ペピン、ゼ、ショート、メロヴィンジア家の最後王チルデリック三世を廢し、自らフランク帝となり、カーロヴィア朝を立つ。
	1412	4	壬辰	○佐渡を復す、○東大寺に幸し天下の殺生を禁す、○使を新羅にやり罪を問ふ、王子入朝罪を謝す、○春、藤原淸河、大伴古麿、吉備眞備等を唐に聘す、○新羅の語學生貢使と共に來る。		11	○楊國忠、右丞相となる。	752	○羅馬法王、政權の發暢、○法王ステフェン三世、ロムバード人と覲る。
	1413	5	癸巳	○遣使入唐、歸途逆風に逢ふ、○二月、使を新羅にやる、新羅禮を失す敕を宣へすして歸る、○五月、渤海遣使物を献す、○攝津大風、海溢れ民多く漂沒す。		12	○驪山、華淸宮に幸す。	753	
	1414	6	甲午	○東大寺に幸し、二万燈を燃す、○眞備歸朝、學算等を傳ふ、○唐僧鑑眞(律宗の祖)畵師を從へ歸化す、淸河唐に留て不歸		13	○安祿山入朝す。	754	
	1415	7	乙未	○帝疾す、大赦して平愈を祈る、○敕して年を改め歲とす。		14	○祿山反す、○顏眞卿兵を起して賊を討す。	755	○ペピン、ゼ、ショート、アストルフスを破り、法王ステフェン三世を攻む(法王領地の創立)。
	1416	8	丙申	○五月、太上皇(至尊剃髮の始)崩す、壽五十六、○道祖王を皇太子と爲す。	肅宗	至德	○祿山、京師を陷る、帝、蜀に走る、○顏杲卿戰死す、○楊貴妃か誅す。	756	○コルドヴァのオミヤード王國の創立、至千三十一年。
	1417	天平寶字	丁酉	○國內に孝經を備へしむ、○萬葉集撰者橘諸兄薨す、敕撰集は萬葉集を嚆矢となす、○仲麿紫微內相となる、○皇太子を廢し、大炊王を以て皇太子となす、○大學公田を置く、桓武帝增して勸學田と稱す。		2	○祿山、其子、安慶緒に殺さる、○帝、上皇と西京に還る。	757	
	1418	2	戊戌	○騎田を罷き、武藝を習はしむ、○國司六年毎に代らしむ、○北陸、山陽、山陰、南海の諸國に命し、兵船を造らしめ、成功三年を期す、本邦に於て船舶に位を授くること此年に始まる、○八月、使を香椎廟に遣し、新羅を伐つを告く、太宰府に敕して海防を嚴にす ○八月、位を皇太子大炊に讓る。		乾元	○宦者李輔國を以て大僕射を累ねしむ、○史思明反す。	758	

1419	淳仁	3 癸亥	○正月、渤海の使入朝、上皇の喪を弔す、○二月高元度、內藏全成等を遣り唐に聘す、○六月、太宰府に敕して、行軍式を造る、○鑑眞招提寺を建つ、○十月、渤海の使船對馬に漂着す。	肅宗	2	○燕順天 ○史思明、安慶緒を殺し、洛陽に還り、燕王と稱す、○李光弼、史思明を討て大に之を敗る。	759	
1420		4 庚子	○正月、渤海使入貢喪を弔す、○常平倉を置く、○押勝(仲麿)に大師を授く、○九月、新羅朝貢す、之を却く、新羅を征す、新羅人を武藏に置く、○万年通寶、太平元寶、開基勝寶錢を鑄る。		上元	○李輔國、上皇を西內に遷す。	760	
1421		5 辛丑	○都を近江保良に遷す、○八月、高元度等、唐より還る。		2	○史朝義、史思明を殺す。	761	
1422		6 壬寅	○上皇、道鏡を愛す、○戒壇を藥師寺等に築く、○二月、太宰府に綿襖冑を作らしむ、○孝謙帝と和せず奈良に還り、落飾す、○十一月、使を伊勢、筑紫にやり新羅を伐つことを告く。		寶應	○雍王适を以て天下兵馬の元帥となし、史朝義を討て大に之を破る、○帝崩す、李輔國、皇后張氏を弑す。	762	○アル、マンソール、バクダッド府を立つ、其後幾もなく、回々教主府廳となる。
1423		7 癸卯	○正月、渤海朝貢、位を授け物を玉ふ、○道鏡、少僧都となる、○新羅調貢、伐羅の議止む、○夏、大旱、五穀熟せず、民餓死す。	代宗	廣德	○吐蕃入寇、長安に入る、郭子儀、擊て之を却く。	763	
1424		8 甲辰	○押勝叛死す、○帝、淡路に遷さる、廢帝、○以後九十四年間、大衍曆を用ふ、○七月、新羅人博多に來る。		2	○五紀曆を行ふ、○青苗錢を課す、○李光弼卒す。	764	
1425	稱德(重祚女帝)	天平神護 乙巳	○道鏡、太政大臣禪師となる、○神功開寶錢を鑄る、○詔して河內國の絹戶を停む、○詔して太宰大貳、佐伯今毛人をして城を筑前の怡土に造らしむ、石を疊て壁となす。		永泰	○回紇吐蕃入寇す、○裴諝を以て左司郎中となす。	765	
1426		2 丙午	○僧道鏡、法王となる。		大曆	○顏眞卿を貶す。	766	
1427		神護景雲 丁未	○大學に釋奠す、○伊治城を築く。		2	○郭子儀入朝す、○李泌を衡山に徵す。	767	○土耳其人、小亞細亞を侵す。
1428		2 戊申	○貞婦、孝子を賞す、○神社、丹塗の始(春日社)、○新羅人百九十三人歸化す。		3	○帝、僧尼千人を度す、又忠國禪師に入內せしむ。	768	○ペピン、ゼ、ショート歿す、其子チャールス(シャールマン)及びカーロマン立つ、王國分裂す。
1429		3 己酉	○淸麻呂を大隅に流す、○坂東八國の民、陸奧に移り農桑す、○新羅遣使物を貢す。		4	○杜鴻漸卒す、○裴冕卒す。	769	

1430	光仁	寶龜 庚戌	○淸麻呂を召し還し、道鏡を下野に貶す、○藤原永手、帝を策立す、○仲麻呂唐に死す、○版刻の始(無垢淨光經)。	代宗	5	○杜子美卒す、○魚朝恩、誅に伏す。	770	
1431		2 辛亥	○大嘗會を行ふ、藤原永手薨す、○吉備眞備致仕す。		6		771	○カーロマン死し、シャールマン、フランクを統一す。
1432		3 壬子	○道鏡卒す、○皇后、太子罪あり廢せらる、○渤海使方物を獻す、○九月、渤海の使船、風に逢て能登に漂着す。		7	○回紇、朱雀門を犯す。	772	○シャールマン、サクソン人と戰を始む。
1433		4 癸丑	○穀價を定む、○渤海使來る、筑前より朝する例に違ふ、之を責め却く、○皇子山部王を立て丶皇太子と爲す。		8	○吐蕃入寇す。	773	
1434		5 甲寅	○奧蝦夷入寇す、駿河麻呂擊て之を平く、○太宰府に敕して新羅の漂民を送還す、○三月、新羅朝貢す、表文例に違ふ之を却く。		9	○盧龍節度使朱泚入朝す。	774	○シャールマン、ロンバード王國を滅し、以太利王となる。
1435		6 乙卯	○吉備大臣薨す、片假名の發明者にて、四朝に歷仕し、文教を補裨せり、○陸奧、田租課役を復す。		10	○田承嗣反す、諸道兵を發し、之を討す。	775	
1436		7 丙辰	○天下大蝗す、○遣唐判官、海上三狩等、耽羅に漂着す、○十二月、渤海遣使來朝、判官高淑等風に逢ふて溺死す。		11	○田承嗣の罪を赦す。	776	
1437		8 丁巳	○遣唐使、小野石根發す風にあひて沒す。		12	○顏眞卿、刑部尚書となる、○元載を誅す。	777	
1438		9 戊午	○十一月、遣唐使大伴繼人等、天草に漂着す、津守國麻呂等、甑島に漂着す		13		778	○シャールマン、西班牙を攻擊す。
1439		10 己未	○藤原魚名內大臣に任す、○六月、遣唐副使唐より至る、○九月、渤海朝貢す、冬新羅朝貢す、○藤原百川薨す。		14	○五月、帝崩す。	779	
1440		11 庚申	○奧蝦夷反き、紀廣純を殺す、小黑麻呂之を討つ、○新羅使、譯官以上に位を授く。		建中	○奉天城を築く、○始て兩稅法を作る。	780	○イリー子、其子コンスタンテン六世の名を籍り、東羅馬の政權を握る。

續紀

皇紀	天皇	年號・干支	日本	支那	年	支那記事	西暦	西洋
1441	桓武	天應 辛酉	○關東諸國の穀一万石を奥の軍に送る、秋蝦夷平定、○帝崩す、○六月、清直、唐より還る。	德宗	2	○田悅、邢洺に寇す、○六月、郭子儀卒す。	781	
1442		延暦 壬戌	○氷上川繼反す、伊豆に流さる。		3	○朱滔、田悅、武俊、李納皆自ら王と稱す、○冀、魏、趙、齊王を稱す。	782	
1443		2 癸亥	○私に道場を立て寺堂を造るを禁す、○僧行賀、唐より歸朝。		4	○涇原兵京師を過き亂を作す、帝、奉天に如く、○朱泚反し長安に據る、○始て稅間架除陌錢の法を行ふ。	783	
1444		3 甲子	○越國の篤志者、三宅笠雄麿を賞す、○都を山城、長岡に移す、後宇多に移る。		興元	○楚武成一、○顏眞卿殺さる、○朱滔死す。	784	
1445		4 乙丑	○始て學料を賜ふ(菅原清公)、○不比等薨す、○淡海三船薨す、三船嘗て神武以來列聖の諡を定む、○家持卒す、○安殿王を以て皇太子となす。		貞元	○懷光自殺す。	785	○シャールマン、サキソンの將ヴイッチキンドを降す。
1446		5 丙寅	○梵釋寺を建つ、○太政官院成り、百官始て朝位に就く、○七月、渤海使李元泰等蝦夷に漂着す。		2	○陳仙奇、李希烈を殺し以て降る、○吐蕃を破る。	786	○カリフ、ハーロン、アル、ラシッド回々教主となる。
1447		6 丁卯	○交野に幸す、○渤海朝貢す、水手多く死す、因て船を玉ふ、○藤繩を遣り、交野に郊祀す。		3	○吐蕃、原州に築く。	787	○ニースの第二次會議(第七次の敎會々議)。
1448		7 戊辰	○最澄、比叡山延暦寺を創む、○紀古佐美を大將軍となし、蝦夷を討て敗る。		4	○諸道稅外錢帛を以て大盈運に輸す、○回紇、回鶻と改む。	788	○シャールマン、ババリアを征服し、佛國に屬せしむ。
1449		8 己巳	○美濃、伊勢、越前三關を廢す。		5	○吐蕃を擊て嶲州を復す、○鄴侯李泌卒す。	789	○ノルマン人、英國に初て侵入す。
1450		9 庚午	○また鑄錢司を置く、○駿、信、以東の諸國に革甲二千領つゝを作り、軍粮十四万石を調せしむ。○畿内大に飢ゆ。		6	○吐蕃、安西を陷る。	790	
1451		10 辛未	○田村麿、蝦夷を討つ、○太宰府に鐵冑二千九百餘枚を作らしむ。		7	○回鶻、吐蕃を破る、○陸贄を以て兵部侍郎と	791	○シャールマン、アヴァース權力を破る。
1452		11 壬申	○呉音を禁し、漢音を習はしむ、○葬禮の奢靡を禁す、		8	○洪水溺死三万餘、	792	
1453		12 癸酉	○攝津職を攻めて國となす、○隧子階を定む。		9	○始て茶に稅す、○雲南王上表、○西平王、李晟卒す。	793	○イリーネ、シャールマンに嫁せんとす、臣下服せす之を廢す。
1454		13 甲戌	○平安城に遷都す、大極殿構造唐制に擬し、建築極めて壯麗、始て碧色施釉瓦あり、○山背を改て山城となす。		10	○雲南吐蕃を破て捷を献す。	794	○シャールマン大に匈奴を破る。
1455		14 乙亥	○越前を割き加賀を置く、○弟麿凱旋、○南海道に新道を作る、○諸國の地圖を作る。		11	○司徒侍中北平馬燧卒す。	795	
1456		15 丙子	○四月、渤海朝貢す、王の即位を告く、五月、璽書信物を玉ふ、○十月、送使[illegible]垂渤海より還る、○鞍馬寺、東寺を建つ、○右大臣繼繩薨す。		12	○裴延齡卒し、中外賀し、帝悼む。	796	
1457		16 丁丑	○續日本紀成る、○田村麿を征夷大將軍となす。		13	○宦者を以て宮市使となす。	797	
1458		17 戊寅	○五月、使を渤海にやり、土物を賜ひ、貢期を救定す、○京畿の夜祭に男女の會飲を禁す。		14	○陽城を貶して、道州刺史となす。	798	
1459		18 己卯	○清麻呂薨す、○崑崙人漂着、綿種傳來す、○正月、渤海の使朝賀を受く、○四月、璽書信物を玉ふ、九月、又方物を献す、○七月、天竺人參河に漂着す、綿種を齎す之を西南諸州に植ゆ。		15	○澄觀に國師號を賜ふ。	799	
1460		19 庚辰	○富士山燒く。		16	○張建封卒す。	800	○シャールマン、西羅馬帝の位に即く。
1461		20 辛巳	○東夷入寇、進て駿河に至る、田村將軍之を卸く。		17	○成德節度使王武俊卒す。	801	
1462		21 壬午	○膽澤城成り、鎭守府を移す、○夷酋降る、○函根路を開く、○最澄入唐す。		18	○吐蕃を破る。	802	○シャールマン、ラシッドを接待す。

皇紀	天皇	年號・干支	日本	帝	支那年號	支那	西暦	西洋
1463	桓武	22 癸未	○大僧都行賀寂す、○遣唐使を發す、志波城を築く。		19	○韓愈貶せられ、山陽の令となる。	803	○サラセン人、小亞細亞に侵入し、サイプラスを掠奪す。
1464	桓武	23 甲申	○空海入唐、○三月、藤原葛野麿等唐に聘す。		20	○太子誦疾あり。	804	
1465	桓武	24 乙酉	○陸奥の兵役を停む、○調錦國十一ヶ國。	順宗	永貞	○始て日暦を撰ばしむ。	805	
1466	平城	大同 丙戌	○觀察使を六道に置く、○秋、空海歸朝、眞言密教行はる、始て八宗あり、○會津磐梯山破裂して、猪苗代湖を生す、○桓武帝崩す、壽七十。	憲宗	元和	○元稹、白居易、出て仕ふ。	806	○シャールマン帝國を三子に分與す。
1467	平城	2 丁亥	○近衛府中衛府を改め左近衛府、右近衛府となす、○伊豫内親王に死を玉ふ。	憲宗	2	○白居易、翰林學士となる。	807	
1468	平城	3 戊子	○古語拾遺成る、○畫師百濟河成左近衛となる、○大同類聚方成る。	憲宗	3	○賢良方正の士を擧く、○沙陀來降す。	808	
1469	平城	4 己丑	○十月、渤海朝貢す、○帝、位を皇太弟に禪る。	憲宗	4	○吐蕃、和を乞ふ、之を許す。	809	
1470	嵯峨	弘仁 庚寅	○觀察使を罷め參議を復す、○始て有智子内親王を加茂齋院となす、○仲成反す、○九月、渤海朝貢、天皇の登極を賀す、從官高多佛留て返らず、渤海語學の師となる。	憲宗	5	○李絳を以て中書舍人と爲す。	810	
1471	嵯峨	2 辛卯	○正月、渤海使を召見し射禮を觀る、林東人を以て送使となす、○大伴太弟となる、○田村麻呂薨す、○東夷又起る。	憲宗	6	○李絳、相となる。	811	
1472	嵯峨	3 壬辰	○冬嗣、左大將に任す、陸奥鎮守府を永世官とし、東夷始て衰ふ、○諸國夷俘長を置く。	憲宗	7	○魏博の節度使田季安卒す、○遂王宥を立て皇太子と爲し、名を恒と更む。	812	
1473	嵯峨	4 癸巳	○冬嗣、南圓堂を建つ、○疾病の奴僕を道に棄るを禁す、○三月、新羅使肥前に來り、土民に殺さる、九月對馬に令して新羅譯語一人を置く、歸化新羅人を美濃に編す。	憲宗	8	○回鶻、吐蕃を擊つ、○權德輿、罷る。	813	○ブルガリア王、クルム、コンスタンチノープルを[illegible]す。

皇紀	天皇	年號・干支	日本	帝	支那年號	支那	西暦	西洋
1474	嵯峨	5 甲午		憲宗	9	○李吉甫卒す、○彰義の節度使呉少陽卒す。	814	○シャールマン歿し、其子ルイ繼ぐ。
1475	嵯峨	6 乙未	○近江に幸す、○諸國に茶を植ゑしむ、○夫人橘氏を立て、皇后となす、○万多親王、姓氏錄を上る。	憲宗	10	○韓弘淮西諸軍の都統と爲る、○呉元濟反す、兵を發し之を討つ、○劉禹錫、連州の刺史と爲る。	815	
1476	嵯峨	7 丙申	○空海高野山を開く(平假名創作者)。	憲宗	11	○王承宗を討つ、○柳公綽京兆尹となる。	816	○東羅馬天災荐りに至り、國力疲弊す。
1477	嵯峨	8 丁酉	○新羅人歸化す。	憲宗	12	○十月、李愬夜蔡州を襲ひ、呉元濟を擒にし、京師に檻送す、○十一月、李愬に爵晋國公を賜ふ。	817	○ルイ其國を三子に分つ。
1478	嵯峨	9 戊戌	○十一月、富壽神寶錢を鑄る、○藤原園人卒す、○十一月、渤海朝貢す、○十二月新羅の樂師數を定む。	憲宗	13	○麟德殿を修め、龍首池を浚へ、承暉殿を起す、○李師道三州を献す。	818	
1479	嵯峨	10 己亥	○僧官を定む。	憲宗	14	○劉悟、李師道を執へ之を斬る、○韓愈佛骨の表を上る、○中使を遣はし、佛骨を迎へ、京師に至り、韓愈を貶し、潮州の刺史となす、○柳泌、誅に伏す。	819	
1480	嵯峨	11 庚子	○冬嗣、弘仁格式、内裡式を勅撰す、○弘仁の末に菅原清公文章院を建つ、私立學校の始、後大江氏と之を管す、○遠駿の歸化新羅人、亂をなす之を擊平す、○唐人李少貞、出羽に漂ふ。	憲宗	15	○柳公權、翰林學士となる、○帝、暴に中和殿に崩す。	820	
1481	嵯峨	12 辛丑	○刑法斷例十條を定む、○十一月、綿を渤海朝貢使に玉ふ、○藤原冬嗣勸學院を造る。	穆宗	長慶	○李直臣、誅に伏す、○兩李朋黨相軋る四十年。	821	
1482	嵯峨	13 壬寅	○最澄(傳教)寂す、○新羅人歸化す、○渤海使文矩等打毬す、帝物を賜て賭とす。	穆宗	2	○宣明暦を行ふ、○元稹を以て同平章事となす。	822	
1483	嵯峨	14 癸卯	○十一月、渤海朝貢、契丹犬を献す、○帝位を大伴王に禪る。	穆宗	3	○韓愈、吏部侍郎となる、○宦官の專權極る。	823	
1484		天長 甲辰	○僧義眞を以て天台座主となす、○大旱、○平城帝崩す、壽五十一。	穆宗	4	○正月、帝崩す、太子湛、即位す。	824	

後紀

皇紀	天皇	年	干支	日本
1485	淳和	2	乙巳	○渤海朝貢す、○冬嗣、施藥院使を置く。
1486	淳和	3	丙午	○五月、恒世親王薨す、○左大臣冬嗣薨す、○上總、常陸、下野三國守を改めて大守と稱す。
1487	淳和	4	丁未	○正子內親王を立てゝ皇后となす、○吉良岑安世等、經國集を撰ぶ。
1488	淳和	5	戊申	○正月、渤海朝貢す、京に入るを許さす、絹綿を賜ひ、遣はし歸す、○正月、春繼、萩原王を射殺す、仍て之を執へ伊豆に放つ、○大中臣春繼薨す。
1489	淳和	6	己酉	○良峰安世、水車を作り、田に灌かしむ、○良峰安世薨す。
1490	淳和	7	庚戌	○十月、新撰格式成る、○撿非違使廳を置き、文屋秋津を別當とす、○萬多親王薨す。
1491	淳和	8	辛亥	○秘府略千卷成る。
1492	淳和	9	壬子	○小野篁、太宰少貳となる。
1493	淳和	10	癸丑	○二月、帝位を皇太子に傳へ、還て西院に居る、○令義解成る。
1494	仁明	承和	甲寅	○始て白馬節會を行ふ、○帝の世より、天皇の御名は、二字に定る、○二月、新羅人來る、筑紫人射て之を傷く、療して糧を給し遣はし歸す。
1495	仁明	2	乙卯	○正月、承和昌寶を鑄る、○大村直福、右近衛侍醫となる、○空海寂す、○新羅邊を窺ふ、戍を壹岐に置く。
149[illegible]	仁明	3	丙辰	○[illegible]等を唐に遣す、風に遭ひ果さず、○東寺長者の始（實惠）。
1497	仁明	4	丁巳	○奥州に弩師をおく、○右大臣藤原夏野薨す、○十一月、盜、闕を犯す。
1498	仁明	5	戊午	○七月、常嗣等、唐に赴く、○藤原三守を以て右大臣となす、○群書治要を殿中に講す、○篁、隱岐に流さる。
1499	仁明	6	己未	○皇妹芳子內親王薨す、○畿內にそばを植ゑしむ、○藤原貞敏、唐の琵琶曲を修め歸朝す。
1500	仁明	7	庚申	○勸業の詔を發す、○盜賊蜂起、○三月十七日、淳和帝崩す、壽五十五、○三守薨す、○源常、右大臣となる、○流人小野篁、伴有仁等を召還す、○十二月、新羅張寶高、私に使を遣し、物を献す、之を却く。
1501	仁明	8	辛酉	○藤原緒嗣、日本後紀を上る、○渤海使來る。
1502	仁明	9	壬戌	○四月、渤海朝貢す、○此年新羅人來り邊を窺ふ、○七月、伴健岑逸勢反す、捕へて伊豆、隱岐に流す、○皇太子恒貞を廢し、道康王を立てゝ皇太子となす、○七月十五日、嵯峨上皇崩す、壽五十七、○東國に令して三史を寫し進めしむ、書籍猶ほ乏し、○阿保親王薨す。
1503	仁明	10	癸亥	○文室宮田麿反す、○緒嗣致仕す、○八月、筑紫に防人をおき、新羅に備ふ。
1504	仁明	11	甲子	○左大臣藤原緒嗣薨す、○源常右大臣、橘氏公左大臣となる。
1505	仁明	12	乙丑	○伶人、尾張連濱主に御衣を賜ふ、○新羅我か漂民を送る。
1506	仁明	13	丙寅	○畿內に勅して所在の皇胤を錄す。

帝	年	支那
敬宗	寶曆	○驪山溫湯に幸す、○競渡船を造る、○李德裕、丹扆六箴を献す。
敬宗	2	○裴度を以て司空同平章事となす、○幽州亂る、節度使朱克融を殺して其の子を立つ、○十二月、宦官劉克明等、帝を弑し、絳王悟を立つ、王守澄、克明を討し、絳王悟を殺し、江王涵を立つ。
文宗	太和	
文宗	2	○三月、親ら制を策し、人を擧く、○韋處厚卒す。
文宗	3	○宦官の紗綾を衣るを禁ず、○李同捷降る。
文宗	4	○牛僧孺を同平章事となす、○興元軍李絳を殺す、討て之を平く。
文宗	5	○吐蕃將降る、納れず。
文宗	6	○群臣、尊號を上る、受けず、○魯王永を立てゝ皇太子となす。
文宗	7	○進士に詩賦を試るを停む。
文宗	8	○幽州亂る、○楊志誠、誅に伏す、○王庭湊卒す、○復進士に詩賦を試む、○帝、曰く、河北の賊を去るは易く、朝中の朋黨を去る難し。
文宗	9	○宦官陳弘志、誅に伏す、○王守澄を殺す、○仇士良、[illegible]を加ふ。
文宗	開成	[illegible]
文宗	2	○柳公權、諫議大夫となる。
文宗	3	○祥瑞を言ふを禁す、○十月、太子永卒す。
文宗	4	○司徒中書令晉公裴度卒す。
文宗	5	○帝崩す、太弟瀍、太子を殺して即位す。
武宗	會昌	○河東に詔し回鶻に備へしむ、○盧龍軍、史元忠を殺して之を平く。
武宗	2	○劉從諫卒す、其子稹留後と自稱す、諸道に詔し、兵を發して之を討す、○回鶻寇す。
武宗	3	○仇士良致仕す。
武宗	4	○帝、神仙を好む、○河東亂る。
武宗	5	○佛寺四万餘を毀ち、僧尼廿六万餘を還俗せしむ。
武宗	6	○京都に八寺をおき僧を度す、○帝崩す、光王忱入て即位す、○趙歸眞等、誅に伏す。

西暦	西洋
825	
826	○アンスガール、北狄（ノーマンス）を改宗せしむ、至八百六十五年。
827	○ウェセックス王、エグバード七王を征服して、英吉蘭を統一す、○サラセン人、シヽリーを征服す、至八百七十八年。
828	
829	
830	
831	
832	
833	
834	
835	
83[illegible]	
837	
838	
839	
840	○佛王ルイ死し其三子ロテーア、ルイ、ゼ、ジャーマン及びチャールス、ゼ、バード續ぐ。
341	○フォンテェチーの戰、ロテーア、ルイ及びチャールスと戰て敗らる、○土耳其軍バクダットを伐つ。
842	○コンスタンチノープルの會議（偶像禮拜を許す）。
843	○ヴェルダン條約成り、査列曼の帝國三分す、即ちロテーアは以太利、ライン河以西の地及びアルプス地方を領し、ルイは獨逸を、チャールスは佛蘭西を得。
844	
845	○北狄（ノーマンス）パリを掠む。
846	○サラセン人、羅馬へ侵入す。

文徳 実録　　水鏡 續後紀

年	年號	天皇	日本	支那	支那記事	西暦	西洋
1507	14 丁卯	仁明	○有智子内親王薨す、○慈覺(圓仁)唐より歸る、悉曇聲音學の祖とす、○橘氏公薨す。	宣宗 大中	○廢寺を復す、○白居易卒す。	847	
1508	嘉祥 戊辰	仁明	○長年大寶錢を鑄る、○藤原良房、右大臣となる、○良貞王薨す。	2	○太皇后、郭氏暴かに興慶宮に崩す。	848	
1509	2 己巳	仁明	○渤海朝貢、○飢民を賑し、囚徒を放つ、○唐商舶、太宰府に來る。	3	○李徳裕卒す、○河湟を復す。	849	
1510	3 庚午	仁明	○學館院を建て同族の子弟を教育す、○三月二十一日、仁明帝崩す、壽四十一。	4	○吐蕃河西を掠む、○黄檗禪師寂す。	850	
1511	仁壽 辛未	文徳	○皇太子を立つ、生れて僅に九月、藤原氏の外孫なり。	5	○魏謩を以て同平章事となす。	851	○オックレーの戰、エッセルウルフ、ノルマン人を討て之に勝つ、○サラセン人、サルヂニア及び、コルシカ島を掠む。
1512	2 壬申	文徳	○篁卒す、嘗て下野足利に讀書すと云ふ、○嵯峨天皇の太后薨す、○十一月、惟仁王を以て皇太子となす。	6	○雞山、群盜寇す、○復私に僧尼を度するを禁す。	852	
1513	3 癸酉	文徳	○葛原親王(平氏の祖)薨す、○良房の第に幸す、○使を遣はし唐に聘す、寶器、音樂を贈る、○疱瘡流行す。	7	○杖笞法を定む。	853	
1514	齊衡 甲戌	文徳	○陸奥亂る、討て之を平く、○左大臣源常薨ず。	8		854	
1515	2 乙亥	文徳	○輿地の兵備を嚴にす、○詔して國史を修めしむ。	9		855	
1516	3 丙子	文徳	○五世王の服色は諸臣に准せしむ。	10	○李燠、京兆尹となる、○裴休罷、宣武節度使となる。	856	○ノルマン人、和蘭の海岸を掠む。
1517	天安 丁丑	文徳	○大衍暦を廢し、五紀暦を用ゆ、○相坂、大石、龍花、三關をおく、○對馬亂る。	11	○帝、神仙の說を好む。	857	
1518	2 戊寅	文徳	○漏刻をおき、時を正す、○智證歸朝、○八月二十七日、天皇崩す、壽三十二。	12	○[illegible]を以て建州の刺史となす。	858	
1519	貞觀 己卯	清和	○帝歲九、幼主の始、臣下攝政の始(良房)、○饒益神寶を鑄る、○八幡宮を男山に建つ、○正月、渤海入貢す、天皇諒闇入京を許さす。	13	○八月、帝崩す、鄆王漼即位す。	859	
1520	2 庚辰	清和（良房）	○春日雄繼天皇に孝經を授く、○新に釋奠式を修む。	懿宗 咸通	○浙東の賊裘甫亂を作す、王式を以て浙東觀察使となし、諸道の兵を發し、討て之を破る、○畢誠、同平章事となる。	860	
1521	3 辛巳	清和（良房）	○奈良大佛修理、○去年勅し、閏十月の小を改めて大となす、是に至り、宣明暦を用ふ、以後八百二十三年改暦なし。	2	○南蠻、邕州を陷る。	861	
1522	4 壬午	清和（良房）	○海賊公行、備前の貢を奪ふ、捕へて之を殺す、○十一月、新羅人、丹後に漂着す、糧を賜ひ之を還す。	3	○南詔、安南に寇す、○戒壇を置き、僧尼を度す。	862	○ヴァランジァンの首長、ルーリック、ノヴゴロッドに露西亞の基を開く、至一千五百九十五年。
1523	5 癸未	清和（良房）	○仁明紀を編む、○源定、源弘卒す、○新羅人、石見の海岸に漂着す、○越中越後の地大に震ふ。	4	○南詔、交趾を陷る、○吳德應を以て、館驛使となす。	863	
1524	6 甲申	清和（良房）	○正月朔日、天皇元服す、○上、太政大臣良房の家に幸す、○新羅人、石見に漂着す、○五月、富士山燒く。	5	○南詔を防ぎ克たず、○路巖を以て同平章事となす。	864	○ブルガリア王ボゴリス基督教を奉す。
1525	7 乙酉	清和（良房）	○太宰府、對馬の銀をほる。	6		865	○始て海軍を以てヴァランジァン人、コンスタンチノープルを攻む。
1526	8 丙戌	清和（良房）	○應天門火あり、○唐の商張言等、太宰府に至る、○八月、伴善雄、伊豆に流さる	7	○南詔を破り、交趾を復す。	866	○アルフォンソ、アスチュリアス國の王位に即く。
1527	9 丁亥	清和（良房）	○官人の威により、强て人馬を雇ひ、或は、貢荷を切落して行旅を妨ぐを嚴禁す、○右大臣良相薨す、○東西京始めて常平倉を置く。	8		867	○君士坦丁の法教師長ホチウス宗教會議を催し遂に法王を破門す。
1528	10 戊子	清和（良房）	○左大臣源信薨す、○藤原良繩卒す。	9	○桂州戍卒亂る、宿徐州陷る。	868	

皇紀	年號	天皇	攝政	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1529	11 己丑	清和	良房	○二月、貞明親王、皇太子となる、○五月、新羅の賊船博多に來る、○七月十四日、肥後、大風雨、潮水漲溢し六郡を漂沒し、其間田園數百里陷て海となる、○洛東祇園立つ、○貞觀格式、續日本後紀成る。	10	○南詔入寇、嘉黎雅州を陷る、○龐勛自ら天册將軍と稱す。	869	○第八次の教會々議、コンスタンチノーブルに開かる。
1530	12 庚寅	清和	良房	○貞觀永寶錢を鑄る、○二月、沿海を修備し諸祀に禱る、○十一月、太宰少貳藤原元利麿新羅に通し露はる。	11	○南詔進て成都を攻む。	870	○モラビア國王スヴァトプルクの治世(至八百九十四年)。
1531	13 辛卯	清和	良房	○准三宮隨身兵杖の始(良房)、○帝、紫宸殿に御して政を視る、○氏宗等、貞觀格式を上る。	12		871	○英國アルフレッド大王の治世(至九百十年)。
1532	14 壬辰	清和	良房	○二月、藤原氏宗薨す、○渤海使來り虎豹皮等を献す、○良房疾あり、次て薨す。	13	○國子司業韋殷裕を殺す。	872	
1533	15 癸巳	清和		○惟喬親王薨す、○五月、渤海崔宗佐等薩摩に漂着す。	14	○正月、使を遣して、佛骨を迎ふ、四月到る、○七月、帝崩す、晉王儼即位す、時に年十二。	873	
1534	16 甲午	清和		○貞觀寺を建つ、○六月、渤海船石見に漂着す、○八月、新羅人對馬に漂着す。	乾符	○正月、嵓路に死を賜ふ、○劉瞻卒す、○十二月、濮人王仙芝亂を作す、○南詔西川に寇す。	874	○北狄(ノースメン)アイスランドに殖民す。
1535	17 乙未	清和		○冷泉院火く、○出羽渡島荒狄反す。	2	○蕭禹貶せらる、○官者田令孜を以て中尉となす、○黃巢起る。	875	
1536	18 丙申	清和		○大極殿火く、○十一月、帝位を貞明親王に讓る。	3	○成都羅城を築く、○鄉村に弓刀と鼓を備へ、盜を防かしむ。	876	
1537	元慶元 丁酉	陽成	基經	○帝歲十、外舅基經攝政、○正月、渤海朝貢す、時に非さるを以て之を卻け、物を給ひ遣はし歸す、○唐商崔鐸等、我か商民を送て來る、○大江音人薨す。	4	○王郢敗死す。	877	
1538	2 戊戌	陽成	基經	○秋田の夷亂る、保則、春風等之を討つ。	5	○正月、大同軍亂る、○二月、段文楚を殺し李克用を推して留後となす、○黃巢衝天大將軍と稱す。	878	○アルフレッド大王、エザングトンに於てデーン人を討ち之を破る、○サラセン人、シラキユースを取り、シシリーの主となる。
1539	3 己亥	陽成	基經	○藤原基經、文德實錄を上る、○清和上皇剃髮す。	6	○高駢をして、黃巢を擊たしむ、大に之を破る、○劉巨容大に黃[illegible]す。	879	○シスジュレーン、バーガンジー王國の建立。

三代實錄

皇紀	年號	天皇	攝政	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1540	4 庚子	陽成	基經	○[illegible]○十二月四日、清和上皇崩す、壽三十一、上皇を上粟田山に火葬す。	廣明	○[illegible]ひ、帝、興元に奔る、左拾遺侯昌業を殺す、黃巢僭號す。	880	
1541	5 辛丑	陽成	基經	○行平、始て獎學院をおく、○恒貞親王、淳和院を學校とす。	中和	○朱溫、鄧州を陷る、○黃巢、鳳翔に寇す、討て之を破る、○李克用を赦し、之を召す、○鄭畋等兵を合し、黃巢を長安に伐つ、克たず、○李昌言、亂をなす、鄭畋行在に赴く、○南詔願付、○帝、成都に幸す。	881	
1542	6 壬寅	陽成	基經	○正月、天皇元服す、○基經三后に准す。	2	○朱溫、華州を以て降る、○朱溫降る名を全忠と賜ふ、○王鐸、諸道の兵を以て長安に逼る。	882	
1543	7 癸卯	陽成	基經	○正月、渤海朝貢す、○盜、筑後守御酉を殺す。	3	○李克用、長安を復す。	883	
1544	8 甲辰	陽成	基經	○基經、帝を廢す、臣下の廢立を行ふ始とす、○高瀨舟三艘を造る。	4	○李克用汴州に至る、朱全忠之を襲ふ、克用還走す、○尚讓、黃巢を瑕邱に破る、賊黨、巢を斬て以て降る、○李克用の爵を進め、隴西郡王となす。	884	○チャールス、ゼ、ファット、シャールマンの帝國を統一す。
1545	仁和元 乙巳	光孝	基經	○基經万機を關白す、これ關白の始にして、以後藤原氏攝政を辭すれば、關白となるを例とす、○十月、太宰府に勅して私に唐物を買ふを禁す、○基經の男、時平元服す、○帝、冠を加ふ。	光啓	○秦宗權、僭號す、時溥に詔して之を討す。	885	○北狄(ノースメン)パリを圍む、○八百八十六年の末年に至り之を擊退す。
1546	2 丙午	光孝	基經	○敕して邊防を嚴にす。	2	○冬十月、朱玫襄王熅を立て、帝と稱す、○十二月、王行瑜、長安に還り、朱玫を斬る、熅河中に奔る、王重榮之を殺す、○田令孜、帝を劫して寶雞に如く。	886	
1547	3 丁未	光孝	基經	○帝、大原野を陽成上皇に獻し、遊獵地となす、○八月廿六日、帝崩す、壽五十八。	3	○二月、田令孜を端州に流す、○李茂貞、隴州を平く、李昌符誅に伏す、○帝、鳳翔に至る、○秦彥、高駢を殺す。	887	○チャールス、ゼ、ファット黜けらる。
1548	4 戊申	光孝	基經	○八月、仁和寺を建つ、御室門跡の始、○九月、巨勢金岡に勅し、中夏古賢の像を御所南廂の障子に畫かしむ、○十月、右大臣源多薨す。	文德	○帝、長安に還る、三月、壽王傑を立て、皇太弟となす、○帝崩す、太弟立つ。	888	○瑞西、バーガンデーの一部となる、○カーロヴヰンジアン家朝廷全く分裂す。
1549	寛平元 己酉	宇多		○一月一日、四方拜を行ふ、四方拜の始、○帝、易經を善淵愛成に受く、○寛平大寶錢を鑄る、○平姓を高望王に賜ふ。	龍紀	○秦宗權、誅せらる。	889	
1550	2 庚戌	宇多		○始て正月七種の粥を献す。	大順	○克用叛す、荊州を拔き雲州を攻む。	890	○アルフレッド王、英國を分て三部とす、○那威人グリーンランドを發見す。

大鏡

後一條 / 頼通 / 仁宗

日本紀元	年號・干支	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1683	3 癸亥	○盜、麗景殿を火く。	天聖	○寇準卒す、○劉太后制を稱す。	1023	
1684	萬壽 甲子	○洛中盜多し、○始て天滿宮に幸す。	2	○皇后郭氏を立つ。	1024	○ヘンリー二世死し、コンラット二世、其後を受け日耳曼王となる(フランコニア朝の始)。
1685	2 乙丑	○赤班瘡流行す。	3	○王欽若卒す。	1025	○カニュート大王、耶蘇教に改宗す、○音樂の符號創作。
1686	3 丙寅	○太皇大后を號して上東門院と云ふ、○敦良親王の妃、藤原嬉子、親仁親王を生む。	4	○銅人經を作る、○契丹回鶻を伐つ。	1026	
1687	4 丁卯	○御堂關白道長薨す、○赤染衛門、榮花物語を著し其全盛を記す、○行成(世尊寺流祖)卒す、○皇太后、妍子崩す、○京都火あり又盜多し。	5		1027	○コンラット二世、シュレスウッグをデーン人に讓る。
1688	長元 戊辰	○平忠常、下總に反し、安房守惟忠を殺す、○尾張國に命し猿頭硯二十口、瓶二十口を進めしむ、○耽羅人北國に漂着す。	6	○張知白卒す、○李徳明其子をして回鶻を襲はしむ。	1028	○カニュート、諾威に侵入す。
1689	2 己巳	○平直方、忠常を伐つ克たす。	7	○魯宗道卒す、○復た諸科を擧く、○張士遜罷めらる。	1029	
1690	3 庚午	○直方、忠常を平くる能はす、則ち源頼信に敕して之を伐たしむ、○清仁親王薨す。	8		1030	
1691	4 辛未	○頼信、頼義、忠常を平け威を東國に布く。	9	【契丹景福】 ○孔道輔、契丹に使す。	1031	○サラセン帝國分裂、○コルドヴアのオミヤード敎王(カリフ)朝の終り。
1692	5 壬申	○富士山火く、○宇佐宮倒る、○大旱。	明道	【契丹重煕】 ○眞宗の妃李氏卒す、○徳明を封して夏王となす尋て卒す。 【高麗徳宗】	1032	○アルレタン王統の滅亡。
1693	6 癸酉	○盜、[illegible]關に入る。	2	○藉田に耕す、○劉太后崩す、帝始て政を聽く。	1033	○ナヴァーレの王サンチョ、ゼ、グレート、カスチルを[illegible]

後一條 / 後朱雀 / 頼通 / 仁宗

日本紀元	年號・干支	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1694	7 甲戌	[illegible]月、高麗人大隅に漂流す、○中宮禎子、尊仁親王を生む、是を後三條帝となす。	景祐	[illegible]曹氏を立てゝ皇后となす。	1034	[illegible]建つ。
1695	8 乙亥	○高陽院にて歌合會あり。	2	【高麗靖宗】 ○明年、蘇子瞻生る、○二月、通英、延義二閣を作る、○十二月、郭太后暴卒す。	1035	○カニュート死す、其子ハロルド、ヘーヤフート及びハーヂカニュート英國の君となる、○アラゴン、ナヴァールより分離し獨立國となる。
1696	9 丙子	○四月十七日、帝崩す、壽二十九、○七月、高麗の漂民を送り還す、○九月、中宮威子薨す。	3	○致仕の官俸を給す、○歐陽修等を貶す。	1036	○アラビヤの醫師にして哲學者なるアヴヰセンナ死す。
1697	長暦 丁丑	○京都盜多し、○群僧行旅を殺す、○頼通の女、嫄子を立てゝ中宮となす、○皇子親仁を立てゝ太子となす、○頼通關白故の如し、○攝津國始て銅を貢く。	4		1037	○ハロールド遂に英國の王となる。
1698	2 戊寅	○帝、上東門院に謁す。	寶元	【西夏延祚】 ○沂公王曾卒す、○趙元昊大夏帝と稱す。	1038	○セルジユク民族、波斯に入り國を立つ。
1699	3 己卯	○延暦寺の僧、嗷訴して亂を作す、之を捕へ獄に下す、○叡山の僧徒、頼通の第を襲ふ、山僧漸く武威を用ふ、○禁内火あり。	2	○河東の民に募り、粟を邊に實つ、○宋庠、參知政事となる。	1039	○コンラッド二世死し、其子ヘンリー三世繼て日耳曼王となる、○マクベッス、ダンカンを殺してスコットランドの王となる。
1700	長久 庚辰	○京極院火け、神鏡毀損す、○上東門院に還る。	康定	○元昊入寇す。	1040	○ハーヂカニュート英國王となる。
1701	2 辛巳	○新宮成る、○大納言公任薨す。	慶暦	○元昊入寇す、○山宗、万年暦を行ふ。	1041	○ノルマン人、アプリアの大部分を領有す。
1702	3 壬午	○内裡火く、○師房の女、女御となる。	2	○元昊入寇す、○契丹と平く、○太名府を北京となす。	1042	○ハーヂカニュート死す、エドワード、ゼ、コンフェッサー立つ(英國に於ける丁抹王統の終り)。
1703	4 癸未	○大旱、仁海僧正、雨を祈りて驗あり、輦車を許さる、○一條院火く。	3	○元昊和を乞ふ。	1043	
1704	寛徳 甲申	○上東門院にて病む、一万僧を集めて供養す、○藤原通房薨す、○興福寺火く、○七月、宋商來る。	4	○元昊を冊して夏國主となす、○宗室を封す、○四月、大學を作る。	1044	

皇紀	天皇	年號	干支	攝關	日本	帝	支那年號	支那	西暦	西洋
1705		2	乙酉		〇正月十八日、帝崩す、壽三十七。	仁宗	5	〇黄山谷生る、〇杜衍范仲淹を罷む。	1045	
1706	後冷泉	永承	丙戌	頼通	〇正月、小野宮右大臣實資薨す、〇太政官朝所火く、〇七月、後一條院の皇女章子を立てゝ中宮となす、〇八月、筑前の人宋に往き私に貿易をなす、事覺はれ法に處せらる。		6	〇丁度、參知政事となる。	1046	〇ヘンリー三世、ストリに會議を開き、法王候補者を斥け自らクレメント二世を撰ひて法王たらしむ。
1707		2	丁亥		〇清原守武、私に宋に往き貿易するに坐し佐渡に流さる、〇宋商來り貿易す、〇頼通の男教通を右大臣に任し、弟頼宗を內大臣に任す。		7	〇大旱。〇高麗文宗	1047	
1708		3	戊子		〇源頼信薨す、〇五月、太宰府新羅暦を献す、〇八月、宋商來る之を追還す、〇十一月、內裡火く、〇太宰府、宋暦を献す。		8	〇衛士亂を作す、〇夏、元昊卒す、子立つ。	1048	
1709		4	己丑		〇佛舍利を諸國の神社に奉納す、〇宋の張守隆歸化す、〇春日祠に幸す、〇高麗人漂到す、之を送り還す。		皇祐	〇西夏延嗣寧國 〇儂智高反す。	1049	
1710		5	庚寅		〇春、太宰府の安樂寺火く、〇頼通の女寛子を皇后となす。		2	〇西夏天祐垂聖 〇契丹、夏を伐て敗る。	1050	
1711		6	辛卯		〇阿部頼時、陸奥を亂す、〇冷泉院成る即ち之に徙る。		3	〇珍物の貢獻を禁す。	1051	
1712		7	壬辰		〇秋、長谷寺火く、〇十一月、松尾、平野兩祠に幸す。		4	〇范仲淹卒す、〇智高、賓州を陷る。	1052	
1713		天喜	癸巳		〇住吉祠火く、〇藤原茂子、貞仁親王を生む、之を白河帝となす。		5	〇西夏福聖承道 〇智高を伐ち、之を平く。	1053	
1714		2	甲午		〇賀陽院、京極院火く。		至和	〇貴妃張氏卒す、〇京師大疫。	1054	〇希臘教會、羅甸教會と全く分離す。
1715		3	乙未		〇一條院を造る、〇法成寺火く。		2	〇契丹清寧 〇六塔河を修む。	1055	〇セルジュク民族の、トグルル、ベク、バグダッドの回教主領內に國を立つ。
1716		4	丙申		〇頼義、再任を奏請し、安部頼時を討つ。		嘉祐	〇包拯、開封府に知たり。	1056	〇日耳曼王ヘンリー四世立つ、其母アグチス攝政す。
1717		5	丁酉		〇義家、貞任と戰ふ、〇頼時誅に伏す、貞任衣川關を出てゝ掠奪を逞くす。		2	〇杜衍卒す、〇諸州に詔して廣惠倉を置く。〇西夏成都	1057	〇コムチニ家、始て東羅馬帝位に昇る。
1718		康平	戊戌		〇禁內火あり大極殿に及ふ、天德四年、內裡の炎上より九十九年間に十數回罹災。		3	〇張昇、樞密副使となる。	1058	
1719		2	己亥		〇一條院火く、〇七月、宋商を越前に安置す。		4	〇五代史成る。	1059	〇ニコラス二世、法王は僧官の會に於て撰擧するを命す、〇法王はロバートギスカードが、アプリヤ及びカラブリアの侯たるを承認す。
1720		3	庚子		〇頼通父子兄弟四人大臣たり、〇七月、對馬に命し、高麗の漂民を送り還す、〇賀陽院成る。		5	〇新唐書成る、〇王安石を徵し度支判官となす。	1060	
1721		4	辛丑		〇頼通を太政大臣に任す。		6	〇司馬光を諫院に知たらしむ。	1061	〇ノルマン人、シヽリー島を征す。
1722		5	壬寅		〇頼義、光頼、武則等と貞任を誅し、亂平く。		7	〇八月、宗實を立てゝ皇子となし名を曙と賜ふ。	1062	〇コロンの大僧正、アンノ幼主、ヘンリー四世を捕へ政權を握る。
1723		6	癸卯		〇頼義、義家以下の軍功を賞す。		8	〇西夏拱化 〇富弼、樞密使となる、〇三月、帝崩す。	1063	
1724		7	甲辰		〇頼義、京師に歸る、〇源頼資、佐渡に流さる、〇淸水寺火く。	英宗	治平	〇帝、始て政を親らす、〇詔して經筵を開く。	1064	
1725		治暦	乙巳		〇右大臣頼宗薨す、〇宋人漂ひ到る、糧を給し遣はし歸す。		2	〇文彥博、樞密使となる。	1065	
1726		2	丙午		〇五月、宋商靈藥及ひ鸚鵡を献す。		3	〇契丹咸雍 〇子頊を立て、皇太子となす、〇契丹、復た國號を遼と改む、〇資治通鑑成る、〇夏人邊に寇す。	1066	〇ハロールド二世立つ、〇ヘースチングスの戰、八月十四日、ノルマンヂー公ウヰリアム、英國に侵入しハロールドを破り英國の主となる。

榮花物語

皇紀	年號	天皇	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1749	3 己巳	堀河（白河法皇）	○上皇、叡山に止宿し又彦根山に幸す、○天皇元服を加ふ、○商民高麗に之き貿易す。	4（哲宗）	○呂公著卒す。	1089	
1750	4 庚午		○冬、師實致仕關白となる、○上皇、熊野山に幸す、○清水寺に幸す。	5	○文彦博致仕す、○蘇子由、御史中丞となる。	1090	○モロッコのアルモラヴヰデス、西班牙に於ける回々教徒の領地の大部分を征服す(一〇九〇—一一〇二)。
1751	5 辛未		○義家、弟義綱と隙あり、朝廷、其兵士の京師に入るを禁す、○高野山に幸す、○篤子を立てゝ中宮となす。	6	○西夏天祐民安	1091	
1752	6 壬申		○南都の僧、加茂邑を焚く、○上皇、金峰山に幸す、○六月商遼に航せんとし事に會て果さす。	7	○遼壽隆 ○皇后、孟氏を立つ。	1092	○マレックシャー死し、セルジュク帝國分裂す。
1753	7 癸酉		○上皇、春日、大原二社に幸す、○叡山の僧鬪ふ、○源義綱出羽の賊を討つ、○七月、對馬の民、高麗を侵す。	8	○太皇大后高氏崩す、○帝、政を親らす、○范純仁、右僕射となる。	1093	
1754	嘉保 甲戌		○陽明門院薨す、○三月、關白師實やめ、師通代る、○匡房、通俊中納言となる、○前太宰權中納言伊房、遼と貿易するに坐し官位を奪はる、○十月、天皇痘を病む。	紹聖	○重れて神宗實錄を修む、○蘇子瞻を貶す、○蔡京、戸部尚書となる。	1094	
1755	2 乙亥		○延暦寺僧の嗷訴、○義家、內裡に弦を鳴らす、○上皇、始て院の別當を置き兵曹を設け北面士を置く。	2	○保甲法を復す。 ○高麗獻宗	1095	○法王ウルバン二世、ピアセンザ及びクラーモントに會議を開き、聖地恢復の爲め十字軍を起すことを宣告す、○カスチル及び、レオンの主アルフォンゾ、ポーチュガルを起し、バーガンディー侯、ヘンリーの有となす。
1756	永長 丙子		○上皇落飾して法皇と號す、○忠盛生る、○秋八月、郁芳門院崩す。	3	○韓忠彦、罷めらる、○皇后孟氏を廢す、○夏人入寇す。	1096	○第一次十字軍、ゴットフレー、バルドウヰン、ロバルト等、十字軍に將として聖地に向て進軍す。
1757	承德 丁丑		○良忍來迎殿を建つ、○源經信卒す。	4	○文彦博卒す。	1097	○十字軍、ニケーアを取りドリユームに於てイコニユーム王を破る。
1758	2 戊寅		○匡房、太宰權師に任せらる、西國へは赴任せさるなり、○鳥羽宮を造る。	元符	○秦の傳國璽を咸陽に得、○劉氏を立てゝ皇后となす。	1098	○那威王、諸島を併す、○十字軍、アンチオクを取る、○土耳古人來り、アンチオクを圍む克たず。
1759	康和 己卯		○法親王の始(仁和寺覺行)、○六月、關白師通薨す、○法皇始て、院別當執事をおき、院宣を以て天下に令す、文[illegible]	2	○西夏永安	1099	○ボヘモンド、アンチオクの君となる、○第一次十字軍の終り、第七月十五日、十字軍、ゼリユーサレム[illegible]

皇紀	年號	天皇	日本	支那年號	支那	西暦	西洋
1760	2 庚辰	堀河（白河法皇）	○大內成る還御す、○源頼治を佐渡に流す。	3（哲宗）	○[illegible]博、司馬光等三十三人の官を追復す。	1100	○ヘンリー一世、英國王となる[illegible]
1761	3 辛巳		○正月、太政大臣師實薨す、○源義親、鎮西に横行す、敕して之を討つ。	建中靖國（徽宗）	○遼延禧乾統 ○故相范純仁卒す。	1101	○ノルマンデー公、ロバート兄ヘンリー一世と戰て、英國に侵入す。
1762	4 壬午		○法皇、尊勝寺を建つ、○法皇五十の賀、○閏五月、宮中の男女和歌を善する者をして書を作り其優劣を判す、之を艷書合と云ふ、○秋八月、小野皇太后歡子崩す、○義親を隱岐に流す。	崇寧	○西夏貞觀 ○司馬光等四十四人の官爵を追貶す。	1102	
1763	5 癸未		○宗仁親王を立てゝ皇太子となす、○春、鳥羽宮に幸す。	2	○秋七月、蔡京を以て尚書右僕射となす。	1103	
1764	長治 甲申		○三月、上皇尊勝寺に幸す、○內裡に法華經を講す。	3	○王安石を祀り、孟軻の次位とす。	1104	
1765	2 乙酉		○延暦寺の僧、闕に詣り數々訴ふ、○右大臣忠實關白となる、○宋の泉州の商來り貿易を請ふ。	4	○夏人入寇す、○黃山谷卒す。	1105	
1766	嘉承 丙戌			5	○蔡京免せらる。	1106	○ヘンリー一世、ロバートを討ち、ノルマンデーを平く、○ヘンリー五世、日耳曼帝位に即く。
1767	2 丁亥		○七月十九日、帝崩す、壽三十、○十二月、源義親反し、平正盛之を討平す。	大觀	○蔡京の官を復す。	1107	
1768	天仁 戊子	鳥羽（白河法皇）	○帝時に五歲、○忠實攝政、○義家卒す、○春二月、盜源善忠を殺す、○源義綱を佐渡に流す。	2	○大赦。	1108	○ルイ六世、父フィリップ一世に嗣ぎ佛王となる。
1769	2 己丑		○爲義に敕し義綱を擊つ。	3	○蔡京免せらる。	1109	
1770	天永 庚寅		○法勝寺にて大藏經供養、○興福寺、東大寺と爭ふ。	4	○遼天慶 ○張商英相となる。	1110	

皇紀	年號	天皇	執政	日本	宋	宋事	西暦	西洋
1837	治承 丁酉	高倉	後白河（清盛）	○京都火あり、内裡燒失す、○五月、延暦寺の座主、明雲を伊豆に流す、山徒院宣を奉せす、明雲を奪還す、○六月成經、康頼、俊寛等を流し、成親、西光を斬る	孝宗 4	○朱熹註成る、○李顯忠卒す。	1177	○フレデリック及び、法王アレキサンダー三世、ヴェニスに會し、和睦す。
1838	2 戊戌			○藤原成經、平康頼を召還す、○叡山の僧鬪ふ、○平德子、言仁王を生む。	5		1178	
1839	3 己亥			○重盛薨す、○十一月地大に震ふ、清盛、法皇を鳥羽に幽し、關白基房、及び太政大臣師長を執へ、之を流す、○基通を以て關白となす。	6		1179	○第三次、ラテランの會議（第十一次教會々議）。
1840	4 庚子			○二月讓位、○五月、源頼政、高倉王を奉し、平氏を討つを謀り克はらず、○六月、都を福原に遷す、十一月又復す、○新院、嚴島に幸す、○頼朝、義仲兵を擧く	7	○張栻胡詮卒す。	1180	○フィリップ、オーガスタス、佛の王位に登る。
1841	養和 辛丑	安德	後白河	○正月十四日、高倉帝崩す、壽二十一、○皇嘉門院崩す、○帝三歳即位、○閏二月、清盛薨す、○義仲、城資永を破る。	8	○呂祖謙卒す。	1181	○ヘンリー、ゼ、ライオン、エルフルトに至り、フレデリックに面し謝罪の意を表す。
1842	壽永 壬寅			○義仲、北陸を征服す、○宋の佛工來り、大佛を鑄る、○法皇俊成に勅して千載集を撰はしむ。	9	○朱熹を以て江西の提刑となす、固辭す。	1182	○丁抹王クニュート六世。
1843	2 癸卯			○五月、平惟盛、源義仲を砺並山に討て大敗す、○六月通盛、義仲を伐て篠原に敗績す、○七月、義仲京に入い、平族帝を奉して讃岐に奔る、○八月、義仲、征夷大將軍となる、○十二月、義仲亂を作す、法皇を幽し天台坐主等數百人を殺す、○法皇專政、○御器を受けずして踐祚するの始（後鳥羽）、○邊民、宋の秀州に漂着す。	10	○朱熹、續資治通鑑を上る、○道學を禁す。	1183	○コンスタンスの和約、フレデリック、バルバロッサ、ロムバード同盟市と和し、其獨立を許す。
1844	元暦 甲辰	後鳥羽	後白河法皇（義仲）	○正月、頼朝に敕して、義仲を討つ、義仲、粟津に敗死す、○二月範頼、義經、平氏を一の谷に破る、○水島の戰、○頼朝問註所を鎌倉に開く。	11		1184	
1845	文治 乙巳			○二月義經、平氏を屋島に破り、○三月、平氏を壇浦に亡す、神器海に入る、○四月、神器京に入る、○對馬守藤原親光高麗にあり、是歳頼朝之を迎ふ、○大江廣元、守護地頭の制を設く、○政權頼朝に歸す、○十一月義經出奔す	12		1185	○コンスタンチノーブルのコムネニー朝の終り、○東羅馬帝國、アンゲラス家の朝。
1846	2 丙午			○五月、行家殺さる、○義經、秀衡に投す、○六月、北條時忠、源有綱、有相を伐ち之を殺す。	13		1186	○フレデリック、バルバロッサの子ヘンリー、シ、リーの女コンスタンスと結婚す、○バルガロー、ワラチア王國の起り。
1847	3 丁未			○頼朝、東大寺を再建せんとす、○頼朝、閑院の内裡を作る、○七月、安藝の海を捜り、寶劒を求む、○後千載集を撰す、○秀衡卒す、○榮西入宋す、○始て京都守護を置く。	14	○小學章句成る、○高宗崩す。	1187	○サラー、エッヂン、ゼリユーサレムを征服す。

扶桑略記

皇紀	年號	天皇	執政	日本	宋	宋事	西暦	西洋
1848	4 戊申	後鳥羽	後白河法皇	○法皇、頼朝に勅し六條殿を造らしむ。	15	○復た補闕拾遺の官を置く、○王淮罷めらる。	1188	
1849	5 己酉			○衣川合戰、泰衡、義經を殺す、○頼朝、陸羽を平定す、○平泉寺の藥師成る、○上西門院崩す、○頼朝入京す。	16	○朱熹、大學章句或問成る、○帝、位を太子惇に傳ふ。	1189	○第三次の十字軍、日耳曼王フレデリック一世、英王リチャード一世、及び佛王フィリップ二世、之に將たり、アクルを征服す。
1850	建久 庚戌			○頼朝上洛、大將に叙せられ六十六國總追捕使となる、○二月、奥人大河兼任、亂を作す之を討平す、○邊民、宋に漂着す、宋主之を送り還す、○天皇元服を加ふ。	光宗 紹熙（金明昌）	○道學を譏ることを禁す、○留正、左丞相となる。	1190	○フレデリック、バルバロッサ、カリカドナス河に溺死し、其子ヘンリー六世、日耳曼帝となる。
1851	2 辛亥			○榮西歸朝、頼家爲に建仁寺を造る、抹茶起る、○兼實、關白たり、○公文所を改め、政所と云ふ。	2	○帝、疾あり、○會元暦を行ふ。	1191	○英王、佛王兵を合してアクルを攻め之を陷る。
1852	3 壬子		頼朝	○後白河法皇崩す、壽六十六、○頼朝征夷大將軍となり幕府を開く、○幕府工人を京都、奈良より召す、○刺客忠光囚へらる。	3	○帝、疾猶ほ治らず。	1192	○英王リチャード、サラー、エッヂン休戰を約し、其歸途、オーストリアに幽囚せらる。
1853	4 癸丑			○頼朝、富士野に狩す、○曾我兄弟、復讐す、○東海道の驛路を監し、駿河以西旅人の夜行を警備せしむ、○八月、範頼殺さる。	4	○始て重華宮に朝す、○朱熹潭州に知たり。	1193	○リチャードの兄ジョン、ラックランド、英國王位を奪はんとを謀る。
1854	5 甲寅			○盜、内裡を燒かんとし誅せらる、○勅して榮西の禪宗を禁す。	5（西夏天慶）	○孝宗崩す、○朱熹、煥章閣待制兼侍講たり。	1194	○シ、リー嶋、ヘンリー六世の有となる、○リチャード、其臣下の爲に幽囚を免せらる、○リチャード、フィリップ、オーガスタスを破る。
1855	6 乙卯			○水鏡山槐記著者忠親薨す、○刺客景清、囚へらる、○東大寺成る、佛工康慶、定慶等なり。	寧宗 慶元		1195	○アラルコスの戰、ムール人、カスチル王、アルフォンゾ八世を敗る。
1856	7 丙辰			○平知忠、盛嗣卒す、○兼實の關白を罷め、基通を關白とす。	2（金承安）	○朱熹の官爵を削る、○儀禮經傳通解成る。	1196	
1857	8 丁巳			○帝の世、信濃前司行長、平家物語を作る、○帝、最も蹴鞠に達す。	3	○留正を貶す、○僞學を籍す。	1197	○日耳曼王ヘンリー六世崩す。
1858	9 戊午			○稻毛重成、相模川に架橋す、○西行寂す、○皇子爲仁を立てゝ皇太子となし位を禪る。	4		1198	○スワビア侯フィリップ及びブランスウィック侯オットー共に擁立せられて日耳曼帝位を爭ふ、○法王インノーセント三世、新十字軍を起さんとして遊說す、○ムールの哲學者アヴェロース死す。

皇紀	年號	干支	日本	支那	支那事項	西暦	西洋
1925	2	乙丑	○爲家、續古今集を撰ぶ、○信實薨す、年八十九、歌畫の達人、○僧普寧宋に歸る。	咸淳	○賈似道を封して魏國公となす。	1265	○シモン議會に人民より代議士を出すことを許す、○シモン、エヴェシャムの戰に於て戰死す。
1926	3	丙寅	○時宗、宗尊將軍を廢し、惟康を立つ、甫めて三歳、○僧曉元入宋	2	○江萬里罪せらる。	1266	○アンジューのチャールス、兩シ、リーを征服し、又ベネヴェント近邊の戰にてマンフレッドを破る。
1927	4	丁卯	○東鑑成る、○紹明宋より歸朝す、○藤公相薨す。	3	○顔、思、曾、孟を以て孔廟に配す、○蒙古、阿求入寇す。	1267	○グェルフ黨、フロレンスに於てギベリン黨を破る。
1928	5	戊辰	○元使來る報せす、○使を大廟諸社に遣はし、蒙古の難を告ぐ、○慧雲宋より歸朝す、○八月、世仁王を立てゝ皇太子となす。	4	○義役法を行ふ、◎蒙古、阿求襄陽を圍む。	1268	○コンラヂン、兩シ、リーを回復せんとし、アンジューのチャールス爲に破られ遂に殺さる。
1929	6	己巳	○元使、對馬人二人を虜し去る、○春、蒙古の使來り、答書を求む之を拒む、○五月、高麗の漂民を送還す、○九月、高麗國書を致す報せす、○蒙古、俘を還す。	5	○張世傑、襄陽を救ふて敗る、○蒙古、高麗を討つ。	1269	
1930	7	庚午	○時茂卒す、○元の僧子曇來る。	6	○文天祥を罷む、賈似道の譖なり。	1270	○第七次の十字軍、佛王ルイ九世之を起す、王チュニスの戰に死す、○フィリップ三世佛王となる。
1931	8	辛未	○九月、元使、太宰府に來る、時宗逐ひかへす、○高麗、蒙古の來寇を告く、西陲に敕し警備す。	7	○蒙古入寇、○蒙古、國を建て元と改む。	1271	○マルコ、ポーロ漫遊を初む、○法王グレゴリー十世。
1932	9	壬申	○後嵯峨院崩す、壽五十三、爾後兩統交立の遺詔あり、○時宗兄を弑す、○本願寺立つ、○高麗又元の爲に書を致す。	8	○元、襄陽を圍て五年に及ぶ。	1272	○プリンス、エドワード聖地を放棄す、十字軍の終り、○エドワード一世英王となる。
1933	10	癸酉	○時村卒す、○元使又來る、○日蓮佐渡より歸る。	9	○元、眞金を以て太子となす、○宋人多く、元に降る、○樊城陷る、○襄陽陷る。	1273	○ハプスブルクのルドルフ一世、日耳曼帝となる。
1934	11	甲戌	○正月、位を禪る、帝甫めて八歳○宗尊親王薨す、○十月元兵、對馬に寇し、宋資國死戰す、隣交絶ゆ、○藤原忠家攝政す尋て罷められ家經代る。	10	○七月、帝崩す、○十二月、元、大擧して入寇す。	1274	○第二次のリオン會議(第十四次教會々議)、○トーマス、アクイナス死す。
1935	建治	乙亥	○四月、元杜世忠來り報を求む、時宗之を斬り西海を警む、○上皇政を聽く、○僧一遍、時宗を開く、○興福寺神[illegible]	德祐	○正月、元、大擧入寇、諸道多く降る。	1275	[illegible]

天皇：龜山　將軍：惟康親王　支那：度宗、恭宗

皇紀	年號	干支	日本	支那	支那事項	西暦	西洋
1936	2	丙子	[illegible]す。	景炎	[illegible]	1276	[illegible]シヤ等が奪ふ。
1937	3	丁丑	○六月、宋にある我商舶、難をさけて逃げ歸る。	2	○廣東陷る、○帝、舟に遷る。	1277	
1938	弘安	戊寅	○延暦寺、石清水神輿を動かす、○蘭溪寂す、禪師號の始、○圓爾寂す、○續拾遺和歌集成る。	祥興	○帝崩し、衛王即位す、○文天祥に少保を加ふ。	1278	○マルクフェルドの戰、日耳曼王ルドルフ一世、ボヘミヤ王オットカーを破り、之を殺す。
1939	2	己卯	○六月、時宗、又元使周福等を斬る、○時宗兵を筑紫に遣し元寇に備ふ。	2	○南宋亡ふ、張世傑等之に死す、文天祥屈せず、○九主百五十二年、兩宋合三百二十年。	1279	
1940	3	庚辰	○大に西海の武備を修め、勅使は諸社に祈り、東兵禁闕を守る、○國師號の始。	至元17	○張弘範卒す、○世祖、正統を承く。	1280	○蒙古のクブライカン、支那を征服して帝となる、(元の世祖)。
1941	4	辛巳	○五月、元兵十萬來て九州に寇す、擊て之を鏖にす、生て還る者僅に三人、○延暦寺、神輿を動し、御籤をきるに至る。	18	○道書を焚く、○日本に寇して大敗す。	1281	
1942	5	壬午	○時宗、圓覺寺を建てゝ祖元を開山とす、○日蓮寂す。	19	○文天祥殺さる、○海運を始む。	1282	○海嘯の爲にゾイデル、ゼー生す、○パラモーに於ける佛人の虐殺、○シ、リー、アンジューのチャールスの羈絆を脱し、アラゴンのペドロ三世の支配に屬す。
1943	6	癸未	○正月、延暦寺の僧徒、禁闕を犯す。	20	○時授暦を印す、○高麗王に命して日本を擊たしむ、○燕南、河東の租を停む。	1283	○英王エドワード一世、ウォールスを征す、○チュートンの騎士、五十年間戰ひて後、普魯西の征服を完了す。
1944	7	甲申	○時宗卒し、貞時執權、年十四、○十月、貞時、時國を殺す。	21	○宋の宗室及大臣の仕ふる者を内地に遷す。	1284	○メロリア海戰、ゼノア人、ピザ人を破る。
1945	8	乙酉	○貞時、安達泰盛を殺す ○元主、再擧を計り、終に罷む、元、終に交際なし。	22	○盧世榮誅に伏す、○太子眞金卒す。	1285	○フィリップ、ゼ、フェーア佛王となる。
1946	9	丙戌	○宇治十三重塔立つ、○祖元寂す。	23	○江南の人才を訪ふ。	1286	

天皇：後宇多　將軍：惟康親王　執權：時宗　支那：端宗、衛王、世祖(元)

1969	2 己酉	花園	守邦親王	貞時	○延曆寺の僧徒日吉神輿を奉して入京す。	2	武宗	○始て錢を鑄る、○諸蠻亂る。	1309	○法王クレメント五世、居所を羅馬よりアビニヨンに移す。
1970	3 庚戌				○時敦、貞房に代る。	3		○李孟を以て平章政事となす。	1310	○日耳曼帝、ヘンリー七世、以太利を征す、○ヘンリーの子、ジョン、ボヘミアに於てルキセムブルグ朝を創む。
1971	應長 辛亥				○貞時、師時卒し、宗宣、熈時事を行ふ、高時九歲、○宇治橋火く。	4		○大學衍義を天下に賜ふ、○帝崩す。	1311	○ヴインの會議(第十五次の教會々議)。
1972	正和 壬子			高時	○宗宣卒し、熈時權を執り、圓喜時顯、漸く威あり、○玉葉和歌集成る。	皇慶	仁宗	○諸王に農時出獵を禁す。	1312	○ヘンリー七世、フローレンスを攻め敗北す。
1973	2 癸丑					2		○始て詔して、科擧を行ふ。	1313	○ヘンリー七世、以太利に死す。
1974	3 甲寅					延祐		○詔して遺逸を求む、○詔して、官民の車服の制を定む。	1314	○第七月二十四日、バンノックバーンの戰、ロバート、ブルース、エドワード二世の軍を破る、○モーレーの燒死、○ルイ、十世フィリップ四世の後を繼く。
1975	4 乙卯				○熈時卒し、基時、貞顯、兩執權たり。	2		○民の疾苦を巡問せしむ。	1315	○モルガルテンの戰、瑞西共和國の兵、オーストリア侯レオポルドを破る、○瑞西の建國。
1976	5 丙辰				○金澤顯時、文庫を建つ、○高時初て執權。	3		○趙孟頫、翰林學士承旨となる。	1316	○佛王フィリップ五世即位す。
1977	文保 丁巳				○伏見法皇崩す、壽五十三。	4			1317	
1978	2 戊午				○二月、帝讓位す。	5		○金字佛經を寫す。	1318	
1979	元應 己未				○續千載集成る、○八月、藤原嬉子を以て中宮となす。	6			1319	
1980	2 庚申	後醍醐			○内管領高資威あり、○圓旨元光、宋に入る。	7		○正月、帝崩す。	1320	○ダンテ歿す。
1981	元亨 辛酉				○記錄所を置き、帝親政す、○安藤堯勢始て北條氏に反く、○元僧楚俊來る。	至治	英宗	○觀音保を殺す。	1321	○マスター、エカート、コルンに在り、至二十七年。
1982	2 壬戌				○詔して五經三史を講せしむ、○師錬(虎關)元亨釋書を上る、僧史の始なり、上木の時、官田を給す、○奥人亂をなす、高時兵を遣り討て克たす、○大旱。	2		○拜住、右丞相となる。	1322	○チヤーレス四世、佛王となる、○ムルドルソの戰、ルイ、ゼ、バヴァリアン、オーストリアのフレデリックを破り之を擒にす。
1983	3 癸亥				○高時門犬の遊、○元亨中、唐津米量燒始る。	3		○八月、御史大夫鐵失、帝を弑す、○金字の藏經を勅寫す。	1323	
1984	正中 甲子				○資朝、俊基、賴兼、國長等に詔し、北條氏を滅するを謀る、○高時賴兼國長を殺す、○後宇多帝崩す、壽五十八。	泰定	晉宗	○吳澄、書史を献す。	1324	○法王ジョン二十二世、ルイ、ゼ、バヴァリアンを破門す。
1985	2 乙丑				○續後拾遺集成る、○帝、誓書を高時に賜ふ、○資朝、俊基鎌倉に送らる、○疎石南禪寺に入る。	2			1325	○アセテック、メキシコ府を建つ。
1986	嘉曆 丙寅				○高時、剃髮、守時、維貞を兩執權とし親ら實權を執る、○太子邦良薨す、○惟康王薨す。	3			1326	○エドワード二世の后イサベラ英國に侵入し王を虜にす。
1937	2 丁卯				○元僧正澄來る。	4		○皇子、佛戒を受く、○帝、上都に崩す。	1327	○エドワード二世、國會に於て王位を剝がる、其子エドワード三世立つ、○ルイ、ゼ、バヴァリアン以太利に侵入し法王を廢せんとして成らす。
1988	3 戊辰				○尊雲法親王、天台座主となる、○久明王薨す。	致和 天曆	明宗	○燕帖木兒逆を謀る。	1328	○エドワード三世、蘇格蘭の獨立を認可す、○佛王チヤーレス四世死し、カーペシアン朝の終り、○フィリップ、オスヴァーロー佛王となる、至八十九年。
1989	元德 己巳				○梅友元より歸朝、元主號を贈る。	2	文宗	○張養浩卒す。	1329	○トルコ新軍隊を用ゆ、至八百二十六年。
1990	2 庚午				○帝、僧徒と征東を議し成らす、○僧圓觀文觀を流す。	至順		○經世大典を編せしむ。	1330	○土耳其帝、オルクハン、ニケアを取る、○歐洲北部、紙を造る。

皇紀	南朝	北朝	干支	天皇	將軍	日本	支那帝	年	支那	西暦	西洋
2013	8	2	癸巳	後村上・後光嚴	尊氏	○義詮、新帝を奉して美濃に奔り、次て又、京師を復す、○時氏、降を請ふ。	順宗	13	○張士誠の兵起る、周と僭號す。	1353	○羅馬最終の民政官、リエンシー殺さる、○ヴェニスアン人、ゼノア人と戰ふて勝利す。
2014	9	3	甲午			○親房薨す、○直冬降を請ふ、時氏、直冬を迎ひ、伯耆に起る、○邊民高麗船を奪ふ。		14	○龍舟を內苑に制す、○張士誠、楊州を攻む、○朱元璋、太平路を敗る。	1354	○ファリエリ反す、○テル歿す、○サピンザ灣の戰、パガニノ、ドリアヴェニスの艦隊を破る、○土耳其軍ガリオポリを圍む、土耳領地を歐州に開くの始め。
2015	10	4	乙未			○懷良親王、豐肥を征服す、○直冬、尊氏、京師に戰ふ、○邊民高麗船を奪ふ。		15	○明太祖、兵を起す、○哈麻脫脫を殺す、○劉福通、宋と僭號す。	1355	○ヴェニスに於てマリノ、ファリーリの結黨。
2016	11	延文	丙申			○良基連歌菟玖波集を撰ふ、○[illegible]信卒す、嘉永亂記の著あり、○尊圓親王（和風靑蓮院流祖）薨す。		16	○明兵、集慶路を取る、○方國珍、降る、○朱元璋、金陵に克つ。	1356	○第九月十九日、ポアチエーの戰、英國黑太子、エドワード佛兵を破り、其王ジョン二世を擒にす、○日耳曼のゴルデンブルの發布。
2017	12	2	丁酉			○光嚴、崇光兩帝、直仁王、京に歸る、○この頃、預所兼好、淨辨、慶雲を和歌四天王と稱す、○義興、矢口渡に死す、○熙成を立て〻皇太子となす。		17	○明寧國を取る、○明王珍、成都に反す。	1357	
2018	13	3	戊戌		義詮	○四月、尊氏病死す、○帝、觀心寺に往く、○邊民、高麗を焚掠す、○十二月、菊池武光、良懷親王を奉し、大友時氏を討て克つ、○義詮、方動を犯す。		18	○明兵勝つ。	1358	○ジャクエリーの戰、佛國農民の一揆。
2019	14	4	己亥			○爲定、新千載集成る、○邊民全羅道、追捕副使と戰ふ。		19	○明太祖、衢處州を取る、○陳友諒、漢王と稱す。	1359	
2020	15	5	庚子			○二月、北軍南方諸城を陷る、○義長降を乞ふ、○邊民、新羅を焚掠す。		20	（漢天定）○陳友諒、帝を稱す、○天完亡ふ。	1360	○プレティニーの和約、英國佛國と和す。
2021	16	康安	辛丑			○南軍、三たび京を取る、○武光勝つ、○畠山道誓、足利氏に反す、○清氏降を請ふ、○邊民、東萊蔚州に入り、漕船を取る。		21	○明の太祖、漢を伐つ。	1361	○土耳其帝、アムラス一世、アドリアノープルを陷る、○バーガンデーの最初のヂューク家の滅亡。
2022	17	貞治	壬寅			○武光、氏經を破る、○正平中、大內弘世、周防に機業を起し、絹錦、綾等出つ、○北帝、京に還る、○彗星見はる。		22	○二月、明王、江西諸路を取る。	1362	○英國にて佛の刑律書を英譯す。
2023	18	2	癸卯			○春、高麗の俘虜を還す、○武光、大友氏時を斬る、○清氏死す。		23	（夏天統○吳張士誠）○明王珍、夏帝と稱す。	1363	○オーストリア家に依てチロルを獲る。
2024	19	3	甲辰	後村上・後光嚴	義詮	○藤原[illegible]新拾遺集を[illegible]、○大內弘世等北朝に[illegible]侵す、○武光卒す、○論語集解刻成る、○邊民高麗を降る、○山名時氏、並に仁木義長反す、○光嚴帝崩す、壽九十二。		24	○明の太祖、國を吳と稱す、○漢主、陳理明に降る。	1364	○佛王チャールス五世即位す、其將ヅ、グェスクリン英兵を破る。
2025	20	4	乙巳					25	○明、寶慶路を取る、○三月、元太子大に兵を發し孛羅帖木兒を討て之を破る。	1365	○ヅ、グェスクリン兵を擧け其兄を討つ、○ウヰイナ大學校建つ。
2026	21	5	丙午			○高麗禁寇を請ふ、○五月、邊民高麗の喬桐を屠る。		26	（夏開熙）○明太祖、遺書を求む、○宋亡ふ。	1366	○ナヘーラーの戰、英國黑太子カスチル王、ペトロを援て、トラスタマラのヘンリーを破り、ペトロの王位を復す、○タメルレン（蒙古帝國の再興者）バルクを取る。
2027	22	6	丁未			○鎌倉管領基氏卒し、氏滿代る、○二月、高麗使を北朝に遣はし海寇を禁し、舊好を修んと請ふ、之を許す、○十二月、義詮薨す。		27	○周漢亡ぶ、○明に降り元亡ぶ、世宗より十主八十九年、鐵木眞より十四主百六十二年。	1367	○黑太子エドワード、トランスタメールの、ヘンリーを廢す。
2028	23	應安	戊申	後龜山・後光嚴	義滿	○義滿就職、年十一歲、賴之執事たり、○明主、好を通す、路阻みて通せす、○弘安後、高麗始て好を通す、懷良親王之に答ふ、○天皇崩す、壽四十一。	(明)太祖	洪武	○吳國號を改め明と云ふ、○徐達、常遇春大に元兵を破る、元主出奔す。	1363	○ペトロ、トランスタメールのヘンリーと戰て死す。
2029	24	2	己酉			○正月、正儀、北軍に降る、○山徒神輿を動かし南禪寺を破らんとす、○明主邊禁を訴ふ、○伊豫人、河野通直伊豫を復す。		2	○詔して、元史を修む、○高麗王朝貢す、○十月、天下に詔して皆學を立てしむ。	1369	○アクエテンの戰。
2030	建德	3	庚戌			○和田正武、正儀を攻む、○脇屋上杉の戰、○邊民高麗山東浙東を襲ふ。		3	○元主、應昌に殂す、○高麗始て洪武の年號を用ふ、○大に功臣を封す。	1370	○ポーランド王カシミル、ゼ、グレート死す、（パイアスト朝の終り）○葡萄牙王ルイ一世、千三百八十二年迄ポーランドの王位を兼ぬ。
2031	2	4	辛亥			○北朝、今川了俊を筑紫探題となす、○時氏卒す、○泉涌寺を天子の葬所とする始、○駕籠は義滿時代に始る、○武政、使を明に遣し、日本國王の名を用ゆ、○邊民明を犯す、明主之を禁せんことを乞ふ、○則祐死す。		4	○夏の明昇、明に降り、夏亡ふ。	1371	○ダヴヰット、ブルース死す、○スチュワート家、蘇格蘭の王位を得。
2032	文中	5	壬子	後龜山・後圓融		○菊地武政、了俊を攻む克たす、○義滿、判始として繩八の神領を寄附す、○邊民安[illegible]感州を侵す、○又明を侵す。		5	○琉球來貢す、○天下一統す、○沙漠を征す、○漢、夏の主を高麗に徙す。	1372	
2033	2	6	癸丑			○正儀、天野の行宮を犯す、○八月、帝位を讓る、○細川滿春來り犯す、○明使始て將軍に謁す、○邊民漢陽を攻む。		6	○天下の賢才を求む、○明律を定む。	1373	
2034	3	7	甲寅			○四月、舟師高麗に入る、○義滿親征菊池氏を降す、○[illegible]原寂す、○後光嚴帝崩す、○九月、武政の兵盡く北朝に降る、○邊民明の膠州に入る。		7	○和寇を京師に送る、○海備を修む。	1374	○ペトラーチ歿す。

南朝 後龜山　北朝 後圓融・後小松　將軍 義滿　明 太祖

2035	天授	永和	乙卯	○海內略定る、○菊池武朝、今川貞世と水島に戰て之を破る、○高麗禁寇を請ふ。	8	○洪武正韵成る、○劉基卒す。	1375	○ボッカチヨ歿す。
2036	2	2	丙辰	○直冬、北軍に降る、○汝霖絕海歸朝す、絕海文名あり、嘗て明の太祖に謁す、○懷良親王、好を明國に通す、○邊民、高麗を侵す。	9	○宋濂、翰林承旨となる。	1376	○黑太子エドワード歿す、スワビア市同盟成る(日耳曼)。
2037	3	3	丁巳	○朝鮮使了俊に逢て去る、○八月 征西將軍懷良親王大內義弘と戰て敗績す、○寶朝、以後の渡唐者、陶工景正の外悉く僧侶なり。	10	○宦官を制し、讀書、識字を許さす。	1377	○羅馬再び法王權を回復す、○英王エドワード三世歿す、○法王羅馬に還る、○英王リチャード二世即位す。
2038	4	4	戊午	○正時、正勝兵を擧く、○武朝、了俊を破る、○篠竹田昌慶、明より歸る、○銅人形傳はる、○邊民、高麗を侵す、○室町花亭を營む	11	○大社、大稷を祭る。	1378	○羅馬教の分裂、至四百四十三年、○アルバン六世、法王となる、○ウェンセスラス日耳曼帝となる。
2039	5	康曆	己未	○紀伊の諸軍敗る、○憲春諫死す、○賴之退隱、義持之に代り管領となる、○邊民 順天府を侵す、○和田正武卒す、○氏滿反す。	12	○汪廣洋殺さる。	1379	○ゼノア人、ヴェニスの艦隊を敗る。
2040	6	2	庚申	○明主禁寇を請ふ、○小山義政兵を起す、鹿苑院を建つ、○八月邊民鎭浦口を侵す、○光明上皇崩す 壽六十。	13	○胡惟庸、叛死す、○宋濂卒す。	1380	○カルタの發明、○タメルレン、コラッサンを攻め取る、○佛王チャーレス六世即位す。
2041	弘和	永德	辛酉	○宗良親王、新葉和歌集を上る、○正儀歸順す、○南朝、僅に吉野を領す、○明、閉戰を以て恐嚇し、禁寇を請ふ、○上、花亭に幸す。	14	○雲南を定む、○河南の五渓蠻、亂る。	1381	○チャーレス、ゼ、リットル、子ープルのジョンナ一世を破る、○ワット、タイラー反す、○英國にて始て金銀兌換律を定む。
2042	2	2	壬戌	○山名氏清、六分一殿の稱あり、○義滿、左大臣、院別當執事を兼ぬ、○和田正娍卒す、○正儀、氏清と戰ひ死す、○四月、帝位を讓る、○北朝新帝時に年六歲、○邊民高麗を擊つ、○氏清、河內を定む。	15	○雜英卒す、○華夷譯語成る、○皇后馬氏崩す。	1382	○ゲントの人民、其主伯爵ルイ二世と戰て、之を敗る、○ハンガリー及びポーランド王ルイ、ゼ、グレート死す、○チャーレス、オフ、デュラッゾとアンジョウのルイ一世とネープルの王位を爭ふ。
2043	3	3	癸亥	○義滿、淳和、奬學兩院別當を兼ね、氏の長者に補し、准三宮に任せらる、○相國寺を建つ、○小山義政、足利氏滿と戰て敗死す、○明、始て琉球に冊封使を發す、○邊民 汝州を陷る。	16	○新羅、占城、琉球等五十九國の勘合を賜ふ、○天下の學校をして歲貢せしむ。	1383	○英人カレーの防戰に始て大砲を用ゆ。
2044	元中	至德	甲子	○新後拾遺集を撰ふ、○二月、邊民鎭浦に入る、○僧加瑤明の惟庸に謀を通す、事覺はれ罪に抵す、○七月新田義則、足利氏滿と古河に戰て敗死す。	17	○大成樂器を製す、○李文忠卒す。	1384	○英國宗教改革者ヴィクリッフ死す、○バーガンデーのフィリップ、フランダー、アルトア等を得。
2045	2	2	乙丑	○賴之、寶冠寺を建つ、○後龜山帝の世、堺浦に表慶途始る、○七月邊民耽津龍巖島を攻む。	18	○民の遊食、衣錦を許さす、○觀星臺を築く、○徐達卒す	1385	○リチャード二世、スコットランドに侵入す、○ポルチュガル王ジョン、ゼ、グレート即位す。

南朝 後龜山　北朝 後小松　將軍 義滿　明 太祖

2046	3	3	丙寅	○鎌倉京都五山の班列を定む、○外國通信の事務は永く五山僧徒の手に成る、○鹿苑園を創む、	19	[illegible]士を擧く、○養老令を行ふ、	1386	○第七月九日、ゼムパッハの戰、墺國太公レオポルト瑞西同盟を伐て敗死す、○ハイデルベルヒの大學建つ、
2047	4	嘉慶	丁卯	○良基薨す、撰著多し、○甲胄工明珍宗安、この頃に名あり、○冬、邊民光州に入る。	20	○商稅の詔あり。	1387	○シギスマンド、ハンガリー王となる。
2048	5	2	戊辰	○僧義堂寂す、文藻に名あり、○邊民兵船八十艘鎭浦より光州を侵す。	21	○故の元の四大王來降す、○有司に詔して、奸を匿す者を罪す。	1388	○カルコルの同盟丁、瑞、那の諸國同盟す、○オッターバンの戰、イングランド人、スコットランド人の戰。
2049	6	康應	己巳	○元中年間、羅及び綾紗を織るは、京、堺、山口の三所のみ、○義滿西海に遊ぶ、○二月、高麗對馬に寇す、○十月、高麗と戰ひ利あらす。	22	○元人其主脫古思帖木兒を弑す。	1389	○コソヴォの戰、土耳古帝、アムラス一世の軍、サーヴィアの兵を破る、○ボニフェース九世法王となる。
2050	7	明德	庚午	○楠氏、山名、畠山と戰ひ敗績す、○賴元管領となる、○六月、邊民楊廣道を襲ふ。	23	○李善長殺さる。	1390	○スコットランド王ロバート三世即位す。
2051	8	2	辛未	○滿幸、仙洞領を押領し改易せらる、○山名氏清、滿幸叛死す、○邊民府尙道を襲ふ。	24	○子十人を封し、王となす、○渾天儀を鑄る、○經書を左方大學に頒つ。	1391	
2052	9	3	壬申	○二月畠山義深、千劒破城を陷る、○十月、○南帝、神器を後小松帝に傳へ兩朝合一す、○琉球中山王其子姪を明に遊學せしむ、○十一月、高麗使を遣し、寇を禁せんことを請ふ、○細川賴之卒す。	25	○皇太子標卒す、○高麗王氏亡び、臣李成桂之に代り、國號を朝鮮と稱す、○沐英卒す。	1392	○葡萄牙人始て喜望峰に至る。
2053	4		癸酉	○朝威振はす、足利氏榮ふ、○牧牛會あり、義滿の開明制に倣ふて造る、○應永の初に至りても、南人尙元中の號を用ゆ、○後圓融帝崩す、壽三十六、○九月、斯波義將を以て管領となす。	26	○鄭濟、左庶子となる。	1393	
2054	應永		甲戌	○義滿軍職を義持(九歲)に讓り次て太政大臣となる、○長尾景久、學校を政所より足利に移す、○經嗣關白となる。	27	○勅して、關羽廟を建つ、○傅友德に死を賜ふ。	1394	○クレメント七世死す、ベ子ディクト十三世嗣く。
2055	2		乙亥	○義滿落飾す、○四辻善哉致仕す、河海鈔の著あり、後原語を註する者多し、○世人、義滿を公方と呼ぶ、○義滿の第に幸す。	28	○馮勝殺さる。	1395	○ウェンセスラス帝、ミランを以て、ギオヴァンニ、ガリーゾ、ヴォスコンチの世襲領たらしむ。
2056	3		丙子	○三管四職六頭をおく、武田、吉良、澁川、小笠原、今川、伊勢は六頭にて、騎射古實の法をなす。	29	○韓觀右軍の都督となる、○御史王沐を殺す。	1396	○第九月二十八日、ニコポリスの戰、バジヤセット一世、ハンガリー王シギスマンドを破る。

皇紀	年號	天皇	將軍	日本	明	支那	西暦	西洋
2145	17 乙巳	後土御門	義尙	○義政落飾、○德政を行ふ、○兩畠山各兵を収む。	憲宗 21	○彭華、翰林學士となる。	1485	○ハンガリー王マッシアス、コルヴィナス、ウィンナを取る、○第八月廿二日ボスウォースの戰、リチャード三世リッチモンド伯ヘンリー七世の爲に殺さる、（薔薇戰爭の終り）。
2146	18 丙午	後土御門	義尙	○德政を行ふ、○政元管領となる、○上杉定正、其將道灌を殺す、○八月、義政僧等堅を以て朝鮮に大藏經を求む。	22	○高轂卒す、陣選卒す。	1486	○ヘンリー七世、ヨーク家の、エリザベスと結婚し、ヨーク、ランカスター兩家合一す、○ベーソロミュー、デイアス亞非利加の南岸を航し喜望峰を發見す。
2147	長享 丁未	後土御門	義尙	○政忠關白たり、○里見義實卒す、○兩上杉の亂、○伊勢長氏、始て今川氏に仕ふ、○將軍佐々木高賴を伐つ、陣中閑あれば、春秋、孝經を講す。	23	○大學衍義補成る、○帝崩す。	1487	○ランバート、シムチル英國王位を得んとを謀る。
2148	2 戊申	後土御門	義尙	○冬良關白となる、○義尙、名を義凞と更む、○加越一向宗亂を作す。	孝宗 弘治	○儒臣日に侍講す、○憲宗實錄成る。	1488	○チャーレス八世の妹アン子、ボージュウ、オルレアン公、ルイの援軍を破る、○スコットランド王ゼームス三世、貴族と戰て敗死す。
2149	延德 己酉	後土御門	義尙	○將軍義凞陣中に薨す、年二十五、○義視上洛す、○德政を行ふ、○九月、等堅佛經を獲て歸朝す。	2	○楊守陳卒す。	1489	
2150	2 庚戌	後土御門	義植	○義政薨す、○足利義植將軍となる。	3	○預備倉を設く。	1490	
2151	3 辛亥	後土御門	義植	○義視薨す、○政知其子茶々に殺さる、長氏、茶々を破り其地を取る。	4	○弟五人を封して王となす。	1491	○チャーレス八世ブリタニー女公アンと結婚し、佛國ブリタニー合一す。
2152	明應 壬子	後土御門	義植	○八月、將軍義植、六角高賴を近江に伐つ克たす。	5	○劉吉罷めらる、○中鹽法を更む、○子厚照を立てゝ皇太子となす。	1492	○フェルヂナンド、イサベラ、グラナダに入る、猶太人國外に放逐せらる、○ヘンリー七世、佛國に侵入す、○フレキサンダー六世、法王となる、○コロンブス、キユーバ島を發見す。
2153	2 癸丑	後土御門	義植	○二月、藤原尙通を以て關白となす、○四月、義植、畠山義豐を討ち克たすして周防に奔る、○政長戰死す、○政元將軍を廢立し、義植越中に奔る。	6		1493	○コロンブス、西班牙に歸り再び航海を始む、○チャーレス八世、マキシミリアンと、センリスにて條約す、○日耳曼帝フレデリック三世崩す、○ポートリコを發見す。
2154	3 甲寅	後土御門		○三浦義同時高を弑す、○義植、未た職を免せされさも、朝廷義澄を怖れて將軍に任す、故に二將軍あり、○細川政元管領す。	7		1494	○佛、伊戰爭始る、（至五百二十八年）、○ジャマイカを發見す。
2155	4 乙卯	後土御門		○長氏小田原城を取り之に據る、○雪村寂す（或云、元龜三年常陸に在りさ）、○大内政弘卒す、○大坂本願寺建つ	8	○邱濬卒す。	1495	○チャーレス八世、子ープルスを征服す、法王アレキサンダー[illegible]

皇紀	年號	天皇	將軍	日本	明	支那	西暦	西洋
2156	5 丙辰	後土御門	義澄	[illegible]	孝宗 9	[illegible]	1496	[illegible]
2157	6 丁巳	後土御門	義澄	○成氏卒す、○帝の世に門入堆朱堆黑を始む、○冬良復た關白となる。	10	○大明會典を修む。	1497	○カボット、北アメリカの大陸を發見す、○ヴァス、コダ、ガマ、喜望峰を廻り、印度洋に航す、○パーキン、ワーベック、コルンウォールに兵を擧く。
2158	7 戊午	後土御門	義澄	○東海道地大に震ふ、濱名湖口壞る、○義植、越前に至る。	11	○太子出閣、學を講す。	1498	○第三次の航海にてコロンブス南亞米利加を發見す、○佛王ルイ十二世。
2159	8 己未	後土御門	義澄	○正月、將軍、一切經版を朝鮮に求む、○茶道立花の名人珠光歿す、○十月、又僧正龍を遣り佛經を求む、○義植、周防に奔る。	12	○孔廟に天災火あり。	1499	○マキシミリアン瑞西を伐て利あらす、○佛人、ミランを伐て利あり。
2160	9 庚申	後土御門	義澄	○天皇崩す、壽五十九、朝廷に葬禮の資なく空しく柩を黑戸におくと四十餘日。	13	○律令を更定す。	1500	○葡萄牙人、ブラヂルの海岸を發見す。
2161	文龜 辛酉	後柏原	義澄	○義植の官爵を削る、管領政元の奏請に依る、○義植、兵を九州に募る、○大内義興を討つ。	14	○倪岳卒す。	1501	○イスメール、ジャー、ペルシアを一統して、其王となる、○ルイ十二世、及びアラゴンのフェルヂナンド、子ープルスを征す、○コロンブス、ヒスパニオラ統治者の命に依り捕へられ、西班牙に送らる。
2162	2 壬戌	後柏原	義澄	○連歌の翹楚宗祇寂す、年八十二、○政元、賊を討て之を平く。	15	○項忠卒す、○何喬新卒す。	1502	○フランス西班牙と戰を以太利に起す、○コロンブス、第四次の航海をなす、○ウォッテンベルヒの大學建つ。
2163	3 癸亥	後柏原	義澄	○三月、將軍、象牙を朝鮮に求む、○三月、僧周靑をして、勘合符を朝鮮に求めしむ。	16	○劉大夏、致仕を乞ふ許さす。	1503	○法王、アレキサンダー六世死す、○セーザー、ボルヂア、ロームより追放せらる、○西班牙王、子ープルスを得、○スコットランド王ゼームス四世、マーガレット、チュードルと結婚す。
2164	永正 甲子	後柏原	義澄	○京師賊起り、市民之を宮垣中に避く、○十月、顯定、朝良を川越に圍む、○天下大に饑ゆ。	17	○吳寬卒す、○太皇太后周氏崩す。	1504	○カスチルの女王、イサベラ死す。
2165	2 乙丑	後柏原	義澄	○肥後亂る、○早雲の威、關東に振ふ、○三月、顯定、朝良と和を結ふ。	18	○帝崩す。	1505	○バシル四世、露王となる。
2166	3 丙寅	後柏原	義澄	○加賀一向宗亂をなす、○長尾爲景、其主上杉房能を弑す、○雪舟寂す、○九月、邊民又た朝鮮に寇す。	武宗 正德	○兵部尙書劉大夏を立つ、○皇后夏氏を立つ。	1506	○コロンブス歿す、○葡萄牙人、マダガスカル島を發見す、○ヒリップ一世死す、○ジュリアス二世セントピーターを再建す。

天皇	皇紀	年號	將軍	日本	支那帝	支那年	支那	西暦	西洋
後水尾	2277	3 丁巳	秀忠	○六月、將軍上洛す、明商薩摩に至る、諭して長崎に至らしむ、○朝鮮來聘す、○家康を日光山に改葬す。	神宗	45	○吳道南罷む。	1617	○ストルボヴァの和睦、露國、瑞典國と和す、○コンシニー殺さる。
	2278	4 戊午		○淺草寺建つ、○釜山日本館成る、○この頃、遺書多く世に出づ、○石の水盤の始(日光)、○十月、船本顯定を安南に遣はし、我商民を鎭む。		46	○清太祖天命 ○韃靼入寇す、○天下田賦を加ふ。	1618	○日耳曼、三十年戰爭始る、○日耳曼人ボヘミア丁抹、瑞典、佛蘭西諸國と戰ふ、○普魯亞、ブランデンブルグと聯合す、○蒸汽機關の發明。
	2279	5 己未		○五月、福島正則、國除せらる、○南洋群島を巡視す、○和蘭商船の貢物を卻く、○七月、德川頼宣を紀伊に封す、○藤原惺窩卒す。		47	○清、遼東を略す、○師を塞に出し敗績す。	1619	○和蘭バタヴィアに東印度和蘭領地の政廳を設く、○奴隸制度ヴァージニアに入る、○フェルヂナンド二世、日耳曼帝となる。
	2280	6 庚申		○後藤光乘歿す、○八月、支倉歸朝す、○耶蘇教始て蝦夷に入る、○呂宋に日本町あり。	光宗	泰昌	○正月、清軍、朝鮮に入寇す、○七月、帝崩す、○九月朔、泰昌帝崩す。	1620	○第十一月、新教徒、ホワイト、マウンティンに戰て破らる(プラグの戰)、○ヴァルテリナの虐殺、新教徒殺さる、○ベーコンのノヴーム、オルガヌーム出版せらる、○マッサチユーセッツに初めて殖民地開かる。
	2281	7 辛酉		○江戸大火、○英人通商を辭す、○暹羅人、山田長政の珍貨を獻す、○和蘭館を平戸に置く、○宗智順を朝鮮に聘す、○元和中、濱田彌兵衛、眼鏡を作り、藤七之を受く。	熹宗	天啓	○清人、入寇す、○清軍に尙問崖に敗らる、○神宗、光宗實錄を上る。	1621	○英國高等法官ベーコン失敗す、○エヴァンゼリカル(正教説)組織解散、○西班牙王フィリップ四世、○顯微鏡發明、○西班牙、子サーランドの戰再興す。
	2282	8 壬戌		○本多正純を出羽に放つ、○二月、錢價を定む、○墓碑に戒名、歿月を記するは慶長以後に行はる、○日光廟に詣す、○五月、宗智順歸る。		2	○清太祖西堡平を敗る、○清人入寇す。	1622	○ウヰムフェンの戰、カソリック同盟の長、チリー、バデン、デュルラッハ公を破る、○和蘭西印度會社、ニユー子ザーランドを取る、○ニコルスブルクの和約、フェルヂナンド二世、カブリールベスレンと和す。
	2283	9 癸亥	家光	○松平忠直を豐後に流す、○家光入朝、征夷大將軍に任す、○東埔塞船筑後に漂着す、○天主教會長、仙台を去り、害に逢ふ、益々宗教を嚴禁し、火刑、斬首、磔刑あり、○景勝卒す。		3	○清軍、瀋陽を陷れ、遼陽に都す。	1623	○和蘭殖民政略を行ふ、○ウルバン八世、法王となる。
	2284	寛永 甲子		○五月、安南、寶枕、香木等を獻す、○九月、朝鮮人、來聘す、○始て關を相州三崎に置く、○西班牙船來る、之を卻く、○秀忠の女中宮となる。		4	○清太祖、東京城を築き、之に居る、○萬爆を殺す。	1624	○リセリユー佛相となる、○蘭人、始て臺灣に據る、○ロンドン會社の解散。
	2285	2 乙丑		○輝元卒す、○日光廟に謁す。		5	○天下の講學書院を毀つ、○魏仲賢、揚漣、左光斗、魏大中等を殺す。	1625	○丁抹のクリスチアン四世、日耳曼の新教徒を助け兵を擧ぐ、○チャーレス一世、英王となる、○フレデリックヘンリー、子ザーランド王となる。
	2286	3 丙寅		○秀忠上洛、太政大臣となる、○二條城に幸す、○山田長政、戰艦圖を淺間社に獻す、○高砂德兵衛、東印度に至り貿易す、○長崎鎭台を置き、邪教を禁す、○安治卒す、○家光寛永寺を上野に創む。		6	○三朝要典を作る、○高攀龍、周順昌等を殺す。	1626	○ベーコン歿す、○チャーレス一世、第二次國會を解散す、○モンソンの條約、佛蘇西、西班牙と和す、○ワーレンスタイン、日耳曼軍を統轄す(三十年戰爭の中)。
	2287	4 丁卯		○小倉商船瓜哇に到り、伽羅を購ふ、○森田長助、暹羅に往き、其國語を傳ふ、○秋、東埔塞人、來聘し方物を貢し、舊好を修む、○津田又左衛門、佛像を齎し、暹羅より歸る、○寛永寺立つ、○[illegible]法令を定む、○諸國大水。		7	○太清宗天聰 ○清、錦州に寇す、又朝鮮を伐つ、魏仲賢等、誅す。	1627	○ラ、ローセ圍まる、○ユーゲノー教徒に對して戰ひ起る。

天皇	皇紀	年號	將軍	日本	支那帝	支那年	支那	西暦	西洋
	2288	5 戊辰	家光	○濱田彌兵衛、臺灣に往き蘭人を懲す、○日光廟に詣す、○加茂祠を建つ、○八月、豐島信滿、井上正就を殺す。	思宗	崇禎	○[illegible]つ、○海寇鄭芝龍降る、○陝西饑う流賊大に起る、○三朝要典を毀つ。	1628	○英國[illegible]權利請願を批准す、○[illegible]、○ワーレンスタイン、ストラルスンドを圍て功なし、○ラ、ロセール落陷す。
	2289	6 己巳		○松花堂歿す、○踏繪の令を發す、○暹羅使來る、○日光廟に詣す、○帝位を興子内親王に讓る、新帝、時に七歲、德川氏の出なり、○使を朝鮮に遣はす、○暹羅人來聘す。		2	○逆案を定む、○清大擧入寇、燕京を陷る。	1629	○第五月二十二日、リユーベックの和約、日耳曼王フェルヂナンド二世、丁抹王クリスチアン四世と和す、○北米マッサチユーセッツ殖民組合の設立、○チャーレス一世第三次の國會を解散す、○クリスチアン、日耳曼に降る、○第三月二十九日、宗教復舊布告、○英人クエベックを取る。
明正(女帝)	2290	7 庚午		○家光即位の資を獻す例となる、○道春、弘文院を建つ、○芝龍成功を携へ去る、○洋書の輸入を禁す、○天主教徒を呂宋に放つ、○鋼屋某、勇を暹羅に振ふ、○松倉重成、呂宋を取らんことを謀る、○十月、藤堂高虎卒す、○天池丸を芝海に泛ぶ。		3	○嘉淮延安を掠む、○流賊、府谷を陷る、○慈烺を立てゝ皇太子となす。	1630	○瑞典王グスタヴァス二世、日耳曼に入る、○ラチスボンの條約、○ボストン府建つ、○ケプラーの亂。
	2291	8 辛未		○島原人吉岡、木村、呂宋より歸る、○安宅丸を作る、○嘉明卒す、○德川義直地球儀を幕府に獻す。		4	○李自成亂をなす、○山東州縣陷る、○清兵大淩城を圍む。	1631	○第九月十七日、ライプジックの戰、瑞典王グスタヴァス二世、日耳曼兵を破る、○グスタヴァス、アドルファス、ライン河に進軍す、○ウヰリアムクレーボン、ケント嶋に殖民す。
	2292	9 壬申		○正月、秀忠薨す、○八代燒始る、○走水に關をおく、○加藤忠廣の所領を沒收す、○春、宗義成、秀忠の薨を朝鮮に告く、秋朝鮮使を以て之を弔す、○林信勝孔子廟を上野忍岡に建て先聖殿と曰ふ。		5	○流賊蜂起して、治る能はず。	1632	○第十一月十六日、リユーツェンの戰、グスタヴァス二世、日耳曼兵と戰て勝ち軍中に崩す。
	2293	10 癸酉		○正月、地大に震ふ、○大目付を置く、○二月、家光軍賦制を定む、○若寄年を置く、○德川忠長自盡す。		6	○清の大海榜式卒す、○滿漢文に通し、書札を命ぜし人、○流賊畿南河北を犯す。	1633	○瑞曼二國同盟、○ロード、カンターベリーの大僧正となる。
	2294	11 甲戌		○大老職をおく、○朱印船を停止す、○長崎の内外人を區別す、○法三條を長崎に布く、○左甚五郎歿す、○明僧如定來り、石橋、攻玉、眼鏡造法を傳ふ、○朝鮮より馬術師を召す、○西城災あり、○家光入朝す。		7	○清兵旅順を取る、○流賊[illegible]州を陷る。	1634	○二月十五日、ワーレンスタイン暗殺せらる、○英人、コンチクチカットに移住す、○第八月二十七日、ノェルドリンゲンの戰、日耳曼軍大勝。
	2295	12 乙亥		○家光武家制度及び諸侯會同の期を定む、○大砲百餘門を鑄る、○交趾、占城等の互市を停む、○清船長崎に限る、○寺社奉行を置く。		8	○流賊光州を陷る、○曾文詔戰死す、○流賊鳳翔茨陵を陷る。	1635	○フェルヂナンド二世、サキソニー侯と、プラグに於て和す、○ロープ、ドヴェガ死す。
	2296	13 丙子		○寛永錢を鑄る、○政宗卒す、○評定所を建つ、○商舶の外航を禁し、大橋船を禁す、○南蠻人を媽港に放つ、○朝鮮聘使日光に詣る、○傳教師を長崎に誅す。		9	○清崇德、國を清と號す、○人畜十八万清に虜せらる、○流賊李自成陝に入る。	1636	○第十月四日、ウヰットストック戰、○瑞典の將バナール官軍を破る。
	2297	14 丁丑		○嶋原賊起る、○書畫名家光悦歿す、○斥候臺を長崎に築く、○葡船南嶋に漂着す、○伯耆の民朝鮮に漂着す、○傳教師を薩摩に捕ふ、○耶教を禁し貿易を停む。		10	○清帝朝鮮を親征して之を降す。	1637	○ジョン、ハムデン製艦準備賦金令を拒む、○日耳曼王フェルヂナンド三世。
	2298	15 戊寅		○嶋原の賊平く、○烏丸光廣薨す、○長崎に貿易官舍をおく、○蘭人出島に居を許す、○朝鮮來聘、○烽火臺を長崎に置く。		11	○盧象昇、戰死す、○清入寇、五十城を降し、民四十六万、白金百餘万を取り去る。	1638	○土耳其王、バクダット府民を虐殺す、○新瑞阿殖民、○蘇人、ナショナルコベナントを出版す、○ハーバート大學の建立。

皇紀	天皇	年號	將軍	日本	支那	支那記事	西暦	西洋
2299	明正(女帝)	16 己卯	家光	○江戸城火あり、傳教師を誅す、○江戸、築地の海濱を砲場地と定む、○大砲を演習す、○呂宋人六十一名を誅す、○媽港葡萄牙人の來るを禁す。	思宗 12	○獻忠反す。	1639	○蘇人、コベナントに反對して兵を擧く、○和蘭の艦隊、西班牙海軍を破る。
2300	明正(女帝)	17 庚辰	家光	○日光に詣す、○葡船來り貿易を請ふ、之を誅す、隣國に命し長崎を守らしむ、○船手頭に命し、沿海を巡視せしむ。	思宗 13	○副將、金風戰死す、○張獻忠、四川諸州縣を陷る。	1640	○第四月―五月、英王チャーレス一世の短期國會、○葡萄牙再び獨立す、○第十一月、英國、長期國會を開く。
2301	明正(女帝)	18 辛巳	家光	○日光廟成る、朝鮮王の匾額を求む、○平戸の蘭人を長崎に移し、通事譯官をおく、○始て走水奉行をおく、○諸家系圖を撰ふ。	思宗 14	○淸、塔山、杏山を降す、○李自成、河南を陷れ、福王、常洵を弑す。	1641	○珈琲、英國に入る、○アイルランド一揆起る、○デカートの哲學書出版せらる。
2302	明正(女帝)	19 壬午	家光	○重て教禁を嚴にす、○蘭船、甲比丹、望遠鏡等を獻す、○天下大に飢ゆ、○日光廟に詣す、○朝鮮、圖書を贈り、貿易船をます。	思宗 15	○始て淸に和を議す、○左良玉、兵潰ゆ、○李蜀を攻む、○李自成、封城を陷る。	1642	○英國王黨、國會黨の爭亂、○第十月二十三日、エッヂヒルの戰、○オルレアン公(ルイ十三世の兄弟)リセリユーに對し陰謀を企つ、○第十二月、リセリユー死す、○ガリレオ死す、○和蘭人タスマニア及ニウ、ヂーランドを發見す。
2303	明正(女帝)	20 癸未	家光	○東京久藏、東京語を、中原漢六印度語を傳ふ、○葡萄牙人を江戸に幽す、○天海寂す、○蘭船陸奥に、葡萄牙人筑前に漂着す、○吉田安齋、媽港に行き醫を學ぶ、○栗崎道喜醫を呂宋に學ぶ、○諸家系圖編纂成る號して寛永諸家圖傳と云ふ。	思宗 16	○明年、李、京城を陷る、帝經死す、○李自成、承天を陷れ、潼關を破る。	1643	○第九月二十日、第一次ニューベリーの戰、○タットリンゲンの戰、○ルイ十四世、○新インクランド殖民徒黨を結ぶ、○トーリセリ、晴雨計を發明す。
2304	後光明	正保 甲申	家光	○琉球來貢す、○耶蘇教徒を誅す、○異船長崎を侵す、之を擊沈す。	思宗 17	○淸世祖順治 ○李永昌 ○自成西に走り西安と僭號す、淸帝、燕京に即位す。	1644	○第七月二日、マールストンムールの戰、王黨破らる、○第十月廿七日、第二回のニューベリー戰、○ロージャー、ウヰリアム、ロード島殖民の特許を得。
2305	後光明	2 乙酉	家光	○五條石橋成る、○淸の逸然來り、畵法を傳ふ、○康道を以て攝政となす、○伊勢日光例幣使を創む、○家綱元服す。	福王 弘光	○南京、淸に落され、王降る、淸、薙髮令を下す。	1645	○第二月廿四日、ジャンコーの戰、瑞典の將、トルステンソン大に日耳曼兵を破る、○露王アレキシス、○第六月十四日、子ースビーの戰、クロムウェルの兵、大に官軍を破る。
2306	後光明	3 丙戌	家光	○釜山館を修む、○朝鮮、我漂民を送還す、○新陰流、柳生宗矩殁す、○算者、林吉左衛門死刑にせらる、○鄭芝龍援を乞ふ、○切支丹邸を作る、○西海を巡警す、○大砲を卒禮野に演す、○八月、守澄法親王を東叡山座主となす。	唐王 隆武	○五月、淸兵福建城を陷る。	1646	○空氣砲の發明、○五月五日、英王チャーレス一世、自ら蘇國に降る。
2307	後光明	4 丁亥	家光	○伊万里の陶工德右衛門、淸人に釉彩色法を習ふ、○二月、小堀政一(遠州流茶式の祖)卒す、○諸藩、留守を長崎に置く、○葡船修好を乞ふ、○徒士の水泳を見る、○和蘭來聘す、○南蠻入來る、擊て之を却く。	永明王 永暦	○自成、淸に亡ぼさる、○王、金州に之く、○鄭成功、國姓爺と號す。	1647	○チャーレス幽せらる。
2308	後光明	慶安 戊子	家光	○東京舩に擬して試造す、○安宅丸を作る、○燈臺を浦賀及三崎に置く、○蘭人の入貢を停む、○日光に詣す。	永明王 2	○成功、潼州を拔く。	1648	○英國第二次の內亂、蘇人、英王チャーレス一世を援けてクロムウエルを伐つ、○子ザーランド、合衆共和國、西班牙並に日耳曼より獨立の承認を得、○ウエストファリアの條約(第十月廿四日)三十年戰爭の終り、○露人ベーリング海峽を發見す。
2309	後光明	2 己丑	家光	○近衛應山薨す、○琉球入貢す、○宗義成使をして朝鮮に吊す、○淸船薩摩に漂着す、○藤樹、三宅亡羊殁す、○諸侯に命し外に備ふ。	永明王 3	○成功、淸を攻む、○河騰蛟死す。	1649	○第一月三十日、英王チャーレス一世殺さる、一時共和となる。
2310	後光明	3 庚寅	家光	○蘭人の入貢を許す、○蘭人に命し、大砲を演習せしむ、○この頃、九谷燒、樂山燒、京都天鵞絨織始る、○北條正房、和蘭兵法を上る、○江戸大地震。	永明王 4	○成功福建を攻む、淸全州を破る。	1650	○オットー、フォンゲーリック排氣鐘を發明す、○第九月三日、ダンバーの戰、クロムウェル、蘇人を破る、○デカールト殁す。
2311	後光明	4 辛卯	家綱	○四月、家光薨す、○七月、家綱征夷大將軍となる、○朝鮮將軍の繼職を賀す、○由井正雪反す。	永明王 5	○成功平海より至る、○孫可望、嚴記恒を殺す。	1651	○第九月三日、ウォーセスターの戰、クロムウェル、大に英王チャーレス二世の兵を敗る、○英國航海法を定む。
2312	後光明	承應 壬辰	家綱	○當時耶徒の歸正を赦さず、悉く之を刑す、前後死するもの三十萬人、○懸賞宗徒を捜む、○淸僧澄一歸化す、○十二月、酒井忠淸大老となる。	永明王 6	○王、安寧に奔る。(錢選列朝詩集)	1652	○英、和蘭と海戰す、○珈琲店の始、倫敦、○十一月、グードウヰン、サンヅ附近の戰、マーテン、トロムプ、ブレークを破る。
2313	後光明	2 癸巳	家綱	○砲臺を平戸長崎に築く、○松永貞德殁す、○玉川上水成る、○皇宮火く、○琉球入貢す、○對馬の民、朝鮮に漂着す、○蘭人來聘す。	永明王 7	○成功海澄に防く、○鄭芝龍、淸に降る。	1653	○英國長期議會解散、○ベーヤボンス國會、召集せらる、○第二月、ポートランド島の戰、ブレーク、和蘭人を破る、○クロムウェル英のプロテクトルとなる。
2314	後光明	3 甲午	家綱	○天皇崩す、壽二十二、○懸賞して、耶徒を捕ふ、○明僧隱元歸化し、黄檗宗を唱ふ。	永明王 8	○王、雲南に奔る、○淸兵兩廣を下す。	1654	○英國ポーランドと和す、○チャーレス、ガスタヴァス瑞典王となる、○露西亞、ポーランドと兵を搆ふ。
2315	後西院	明暦 乙未	家綱	○承應、萬治の間、伊万里志田窯開く、○韓使入貢、日光廟を拜し匾額を獻す、○蘭人來聘す、○叉教徒を捕ふ、○醫板坂卜齋卒す。	永明王 9	○成功、臺灣に歸る。	1655	○英國、西班牙と戰ふてジャマイカ島を征服す、○瑞典王、チャーレス十世、ポーランドを蹂躙す。
2316	後西院	2 丙申	家綱	○耶教禁制札を揭く、○沿海の守備を設く。	永明王 10	○成功、閩安鎭を破る。	1656	○第七月廿八日―三十日、ワルソーの戰ポール人大敗す、○シイロン島に於ける葡萄牙國の權力滅ふ。
2317	後西院	3 丁酉	家綱	○林道春、醫古林見宜殁す、○吉田重賢、弓術を日置彈正に受く、○合衆國へ漂到せる者あり、○江戸大火あり、死者十萬八千余人。	永明王 11	○成功、臺灣に歸る。	1657	○オリヴァー、クロムウェル王號を卻く、○オーストリア、ポーランドと同盟して瑞典に敵す、○フェルヂナンド三世殁す、○丁抹瑞典と戰ふ。
2318	後西院	萬治 戊戌	家綱	○鄭成功兄弟、援を乞ふ、應せす、○大村の耶徒を處刑す、○伊勢兩宮火く、○宗氏、書を以て釜山舘を移すを求む、○葡萄牙人來聘す。	永明王 12	○成功、福建に戰ふ、○吳三桂雲南を下す。	1658	○クロムウェル殁す、○西班牙兵、英、佛兵にダンスに於て破らる、○レオポルド一世、日耳曼王となる。
2319	後西院	2 己亥	家綱	○明樸萬福寺成る、○江戸兩國橋成る、○耶教禁令を頒つ、○明人、朱舜水、陳元贇歸化、拳法は元贇に起る、○義眞、叉使を朝鮮に遣す、○六月、井伊直孝卒す、○伊勢神宮成る。	永明王 13	○王、永昌に奔り、成功、瓜州を擊つ。	1659	○佛國西班牙とピレニースに於ての和議、佛英、子ザーランドと和す、○コーペンヘーゲンの圍み解け、フレデリック、ウヰリアム、瑞典人を破る。
2320	後西院	3 庚子	家綱	○豐後耶徒を刑に處す、○本所深川を開く、○江戸萬治中宮士名燒始る、○大阪城火く。	永明王 14	○緬人、明王を淸に献す、○淸、兩島を攻て破らる。	1660	○英國君主政治となる、○瑞典王、チャーレス十一世、賠償條令を發す、○オリヴァの條約、瑞典、ポーランドと和す、○ロンドン、ローヤル、ソサイチー起る。

靈元 / 東山　綱吉　聖祖

皇紀	年號	干支	日本	聖祖	清	西暦	西洋
2343	3	癸亥	○庶人は短刀一口の外さすを禁す、○西洋の奇玩を買ふを禁す、○耶徒を誅す、○無人島を檢す、○冬經、攝政たり、○朝仁を皇太子となす、○宗氏館を朝鮮に建つ。	22	○國軒等降り臺灣淸に歸す。	1683	○ポーランド王、土耳其兵を逐ふ、○パスカル生る、○ウ井リアム、ラッセル、及びアルガーノン、シドニー死刑に處せらる、○第七月、土耳其人、ウ井ンナを圍む、○佛人コルベル死す。
2344	貞享	甲子	○書籍版行の禁、○貞享暦を頒つ、本邦にて推步せし暦の始とす、○保井算哲の撰、○忌服令を頒つ、○木庵寂す、○蘭人來聘す、○朝鮮人漂着す、○稻葉正休、大老堀田正俊を殺す。	23	○帝東巡す、○薩布素西比利亞を伐つ、○兵を遣し臺灣澎湖二島を守る。	1684	○フィラデルフィヤを開く、○佛軍、ゼノアを擊つ、○ライプニッツ、微分を發明す、○コルチイユ死す。
2345	2	乙丑	○兵學山鹿流祖 山鹿素行、琴曲八橋流祖 八橋檢校歿す、○媽港人、我漂民を送り來る、○蘭人を召し醫理を質問す、○福州厦門の商船始て長崎に來る、○後西院崩す、壽四十九。	24	○帝塞外を巡幸す。	1685	○第十月二十二日、佛國ナント條例を廢し、新教徒を虐待す、○海賊ペルー海岸を刧掠す、○アーガイル伯、及モンムス、英國に亂を起し共に刑せらる。
2346	3	丙寅	○武德大成記成る、○天皇崩す、○朝鮮、琉球互市の歳額を定む。	25	○淫祠を禁す。	1696	○曼、和、西、瑞同盟し、佛と戰ふ、○印度カルカッタ市建つ、○サー、エドマンド、アンドロス、ニウ、イングランドの知事となる。
2347	4	丁卯	○林鳳岡を弘文院學士とす、○清舶の禁書を舶載するを檢す、○改宗人名を錄す、○六月、殺生の刑を設く、○十一月、大甞會を行ふ。	26	○淸露の條約。	1687	○呼電器發明、○ハンガリーの王位、世襲となる、○ニウトン、重力規則を公にす。
2348	元祿	戊辰	○東大寺大佛殿を造る、○大阪堂島を開く、○清の商館を長崎に造り、一年七十艘を定額とす、又遠見番所を設く、○幕府釋奠す、○葡萄牙人漂着す。	27	○武昌變あり之を平ぐ、○劉首昂卒す。	1688	○佛のパラチナート戰始る、○ゼームス二世、赦罪條令を發布す、○佛王ルイ十四世、アヴ井ニョンを取る、○英國革命、○第十一月五日、オーレンジのウ井リアム、英國民の招きに應し英國に入る、○第十二月十一日、英王ゼームス二世、佛國に出奔す。
2349	2	己巳	○北村季吟を歌學方とす、○朝鮮人參を貿易するを禁す、○清人、朝鮮人漂到す、○安南復通商を乞ふ許さす。	28	○魯西亞と黑龍江國境を定む。	1689	○第二月十三日、英國民、王位をウ井リアム及メリーに捧け、並に國民權利宣告書を呈す、○アレキサンダー八世、法王となる、○米國にウ井リアム王、戰を始む。
2350	3	庚午	○聖堂を湯島臺に建立す、○蘭人ケンペル長崎に來り、日本紀事を著す、○清の貿易船を增す、○薩人廣東に漂着す、○近松、大阪にて著作す。	29	○噶爾丹を征す、○大淸會典成る。	1690	○第七月一日、ボーイン河の戰、ウ井リアム三世、ゼームス二世を破る、○ヴ井クトルアマデュース二世、同盟を結て佛に抗す、○ウ井リアム三世の艦隊ビッチーヘッドに於て佛人に破らる。
2351	4	辛未	○昌平校開け文教起る、○了介、光起(三筆の一)歿す、○吉田自庵官醫となる、○林家束髮、○日蓮宗悲田派を禁す。	30	○蒙古人降を乞ふ。	1691	○愛蘭、アクリムの戰、アイルランド人破らる、○サランカメンの戰、土耳其人、バーデンのルイに破らる、○法王インノーセント十二世。
2352	5	壬申	○德川光圀楠正成の碑を湊川に建つ、○この頃鍼醫杉山和一名あり、又友禪染始る、又漆術大に進步す、○清我漂民を送り還す、○讃州人、浙江に漂着す、○安南漂民を送り還す。	31	○詔して朝鮮の貢を免す。	1692	○第二月十三日、グレンコーの虐殺、○第五月十九日、ラ、ホーグの海戰、佛艦隊、和蘭艦隊を破る、○マッサチューセッツ英人の屬地となる。
2353	6	癸酉	○大阪西本願寺立つ、○シャム人、我漂民を送り還す、○安南漂民を送るを謝す。	32		1693	○佛水師提督トルウ井ル、セントヴ井ンセント岬に於て英艦隊を破る

東山　綱吉　聖祖

皇紀	年號	干支	日本	聖祖	清	西暦	西洋
235[illegible]	7	甲戌	…興、○大坂漂民の露國に移住して還らさるあり、○江都火く、○暹羅船、長門の漂民を送る。	33	…報せす。	169[illegible]	…國銀行を建つ。…
2355	8	乙亥	○彩色印刷の始、○元字金銀を鑄る、○書家佐々木志頭津磨歿す、○將軍犬小屋を建つ、○清船禁書を載せ來る、命して之を焚く、○漂着清船を送り還す、○朝鮮人出雲に漂着す。	34	○大儒黃梨州卒す。	1695	○曼、露、波、維同盟、土耳其と戰ふ、○第十月二十二日、ルイ十四世ナントの布告を廢す(ユーグノー大虐殺を來す)。
2356	9	丙子	○殖產家宮崎安貞の農業全書成る、○醫名護屋玄(丹水)歿す、○日本輿地圖を校正せしむ、○明正上皇崩す、○朝鮮人蝦夷に漂着す、○三月、諸國大に饑る。	35	○噶爾丹を伐つ。	1696	○サヴォイ人佛と和を結ふ、○ペートル大帝、アゾヴを取る。
2357	10	丁丑	○二朱金の始、○大日本史紀成る、○元祿中蠶種商人に帶刀を免す。	36	○噶爾丹自殺す、○朔漠を全く、討平す、○府双忠祠を建つ。	1697	○第九月二十一日、リスウ井イクの和約、佛國ポーランド西班牙英國と和す、○瑞典王、チャーレス十二世即位す、○第九月十一日、ゼンタの戰、サヴォイのレオポルド一世の軍、土耳其軍を破る。
2358	11	戊寅	○柳澤保明左少將となる、○江戶永代橋を架す、○清船五島に漂着す、○九月、寛永寺中堂成る、○川村瑞軒召され祿を給はる。	37	○露人黑龍江に寇す。	1498	○英人蒸汽機を造る、○ルイ十四世、西班牙國分取に關しウ井リアム三世と條約す、○カルカッタに英國の商會を設く。
2359	12	己卯	○元祿中、青磁三田燒始る、○清船禁書を載せ來る。	38	○帝、河工を巡閱し抗州に至る。	1699	○ラシーン卒す、○カーロウィッツの和約、土耳其オーストリア、ポーランド、ヴェニスと和す、○佛人ルイシアナに殖民す。
2360	13	庚辰	○六月、川村瑞軒卒す、○生類賣買の禁、香取宮を營む、○十月、草梁舘を修む、○十二月、德川光圀薨す。	39		1700	○十一月一日、西班牙のハップスブルグ朝の最終王チャーレス二世歿す、○ドライデン卒す、○第十一月三十日、ナルヴァの戰、チャーレス十二世、ペートル大帝の軍を破る。
2361	14	辛巳	○藩翰譜成る、○契沖寂す、○祇園南海、年十七、半日に百律を賦す、○三月、淺野長矩、吉良義央を城中に傷く、長矩に死を賜ひ國を除く。	40	○索爾哈濟に幸す、名將楊貴古卒す。	1701	○西班牙王位繼承の亂始る、○ポートランド、英國大同盟してルイ十四世、フィリップ五世に抗す、○普魯西王國となる、○ゼームス二世歿す、○英國殖民條令を置く、○ヒリップ五世、マドリッドに入る。
2362	15	壬午	○十二月、烟草を種ゆるを禁す、○淺野長矩遺臣、大石良雄等四十七人、吉良義央を其邸に殺す。	41		1702	○チャーレス十二世、ワルソーに入る、○オーレンジ公死す、○女王アンの戰、○佛人アラバマに殖民地を開く。
2363	16	癸未	○關東の地大に震ふ、已にして江戶大火、○山陵を修む、○良雄等に死を賜ふ。	42	○南河を巡視す、○王灝卒す、○湖南紅苗反す。	1703	○ヴ井ルラー、ライン河を渡りて、マキシミリアン、エマニュールの軍に合す、○ルーク、ジブラルターを取る、○ペートル大帝、セントペートルスブルグ市を建つ。
2364	寶永	甲申	○寶字銀を鑄る、○初代團十郎歿す、○蘭人來聘す、○新大和川を疏す、○濱御殿を建つ、○北村季吟卒す。	43	○佩文韵府成る。	1704	○ボストン府に新聞起る、○ハンガリーの一揆ウ井ンナ附近に侵入す、○八月、ホークスタットの戰、マーボロー及び、ユーゼン太子佛人を破る、○デーヤーフィルドの虐殺、○チャーレス十二世、オーガスタス二世を破りポーランドの王位を奪ふ。

中御門 ・ 吉宗 ・ 世宗

皇紀	年號	日本	清	清事	西暦	西洋
2387	12 丁未	○徂徠幕命にて三五中錄を校正す、○都下一府の藁葺を禁し瓦拜借金を許す。	5	○西域を擊破す。	1727	○アイサック、ニウトン歿す、○西班牙人ジブラルターを圍む功なし。
2388	13 戊申	○日光廟に詣す、○經考文成る、○いろは、消防組をおく、○支那俗語學者岡島冠山死、○足利學校を修復す、○假名交り水滸傳刻成る、○荻生徂徠歿す。	6	○執中成憲を刪定す。	1728	○露人支那と貿易す、○ソアソンに於て諸强國會合す、○ベーリング、大平洋と大西洋とを連絡する海峽を發見す。
2389	14 己酉	○薩人東察加に漂到し二人露に歸化す、○交趾人象を獻す、○四月天一坊を誅す。	7	○準噶爾を伐つ、○平盧苗を平ぐ。	1729	○英佛西の和議、○南北カロライナ英に歸す、○セヴィール條約、西班牙、大貌列顚及佛國と約す、○北カロライナ英國に歸す。
2390	15 庚戌	○官刻普救類方を諸國へ頒布す、○蘭人の馬術を試む、○京師火あり。	8	○闕里文廟を修む、○烏蒙蠻を擊つ。	1730	○英機械を用ゐて紡績す、○露國のペートル二世アンを嗣者とす、○法王クレメント十二世即位す。
2391	16 辛亥	○沈南蘋長崎に來り畫法を傳ふ、○江都大火、○吹上に砲演す、○節儉の令を出す。	9	○大將軍傅爾丹、策令と戰ひ敗る、○雍正錢を鑄る。	1731	○英人咖啡を米國に植ゆ、○デフォー死す、○新教徒サルツブルグより追放せらる。
2392	17 壬子	○大砲を鑄造す、○西國大蝗大に饑え關東米を出す、○靈元上皇崩す、壽七十九、○清船肥前に漂着す。	10	○入寇の蒙古軍を破る、○陶履仁義田を置く、○臺灣大甲番亂をなす之を平ぐ。	1732	○ワシントン生る、○オーグルソープ移住民を帥ゐて英國よりジョールヂアに殖民す。
2393	18 癸丑	○金工横谷宗珉歿、○建部彦次郎、中根某曆算全書を校上す、○皇宮を營む、○南諸道大に餓え、米價騰貴す。	11	○黔苗を擊ち之を破る。	1733	○ポーランド王、オーガスタス二世死す、ポーランド王位繼承の亂起る、○オークルソープ、サヴァンナを發見す。
2394	19 甲寅	○鳩巢歿す、○貞丈伊勢家流の書を獻す、○清船の數を減す、○諸國の物產を探さしむ。	12	○普思蠻を擊ち之を破る、○世祖實錄を重修す。	1734	○英露貿易條約成る、澳國佛及サーヂニアに敵して北部以太利に出師す、○ドン、カーロス兩シシリーに勝つ、○佛軍フィリップスブルグ城を攻め之を拔く。
2395	20 乙卯	○長崎の工人始て清の堆朱沈傳色蒔繪青貝漆器法を金ふ、○將軍和蘭人の御馬を見る、○朝鮮人永良部島に漂着す、○天皇位を皇太子に傳ふ、○養生所を小石川に置く、○金銀諸幣を改鑄す。	13	○準噶爾と和す、○生苗の亂、○開化寺塔成る、○帝崩し太子弘曆立つ。	1735	○英始て石版を用ふ、○ドンカーロス、シシリーを征服し王となり、チヤーレス三世と稱す(ブールボン朝)。
2396	元文 丙辰	○荷田春滿伊藤東涯歿、○朝鮮漂民を送還す、○鎌倉に砲演す、○和蘭人來聘す、○服忌令を補ふ。	乾隆	○言路を開き人材を擧く、○春秋稟纂等の諸書成る、○貴州苗を擊ち之を平ぐ。	1736	○露、土耳其と戰ふて、アゾヴを取る、○波斯のサッファヴェーン朝の終り。
2397	2 丁巳	○佐々木某に命し大砲を鑄る、○鳥羽にて文錢を鑄る、○中御門上皇崩す、壽三十七。	2	○神功碑を立つ、○米穀の輸出を禁す、	1737	○日耳曼土耳其との亂起る、○タスカニーのメディシ朝の終り、○ゲ[illegible]

櫻町 ・ 吉宗 ・ 家重 ・ 高宗

皇紀	年號	日本	清	清事	西暦	西洋
2398	3 戊午	○大嘗會再興、○朝鮮の使者至る、	3	[illegible]す、○[illegible]、○乾隆錢を鑄る。	1738	和[illegible]約、○ナヂル王アフガニスタンを征服す。
2399	4 己未	○清舶の數を減す、○青木文藏幕府の蘭學員となる、○露船安房に來る、○鐵錢を鑄る、○朝鮮人漂着す。	4	○貢士を試む、制策治體に通ずるを取る。	1739	○英國西班牙に宣戰を布告す、○波斯王蒙古の大部を取る、○ベルグレードの和約、澳、土耳其と和す。
2400	5 庚申	○元文中、近江濵縮緬、伊勢萬古燒、薩摩カスリ、木綿始る。	5	○湖南廣西亂る、○明史を頒布す。	1740	○波蘭、葡萄牙と戰ふ、○フレデリック二世、普王となる、○マリアテレサ女王となる、澳國君位相續戰爭起る、○第一次のシレシア戰爭。
2401	寛保 辛酉	○武德編年集成成る、○この前後三年青木文藏に命し近國の舊記古書を搜訪せしむ、○薩人清國に漂到す、○蘭人來聘す。	6	○重て泰山神廟碑を立つ、○先賢先儒の廟を立つ。	1741	○第四月十日、モールウヰツ戰、フレデリック大王澳兵を破る、○露女帝、エリサベスの即位、○露、瑞典と戰ふ、○ヴァーノン、ニウグラナダを征す、○ニウハムプシア、マサチユーセッツ分離す。
1402	2 壬戌	○清の船舶薩摩の漂民を送り還す、○東北大水大に堤塘を修む。	7	○策して貢士を試む。	1742	○チヤーレス、アルバート日耳曼帝に選擧せらる、○ウォルポール內閣倒れウォルミントン內閣起る、○第六、七月、ブレスロー及ひ、ベルリンの和約澳國普國と和す。
2403	3 癸亥	○清船の額數を減す、○東蒲寨船薩摩に漂着す。	8		1743	○第六月廿七日、デッチンゲンの戰、英兵佛兵を破る、○アーボの和約、瑞典露國と和す。
2404	延享 甲子	○文藏、甘藷を東國に植ゆ、○長崎譯官洋書を讀むを乞ふ、○神田に天文臺を築く、○砂糖を製す、○詔して幣を七廟に奉す、○文藏をして蘭學を講せしむ。	9	○時憲曆を疏刻す、○三教堂を設くるを禁す。	1744	○チープルスのチヤーレス三世、澳國に抗しヴェレトリーに於て戰勝す、○アンソン地球を周行す、○第二次のシレシア戰爭、○北米、ジョージ王の亂、英佛戰ふ。
2405	2 乙丑	○長崎譯官に洋文を讀むを許す、洋學一切を禁してより百八年、○家重征夷大將軍となる、○江都火く。	10	○準部亂る、○海洋私販を禁す、○大學士伯鄂爾泰卒す。	1745	○日耳曼王チヤレース七世卒す、マリアテレサの夫フランシス ステフエン、日耳曼王フランシス一世となる、○英國ジヤコビン黨の亂、○第十二月廿五日、ドレスデンの和約、澳、サキソニー普と第二次シレシア戰の終、○叛民チヤーレス、エドワードの爲に兵を率く、○スウヰフト歿す、○第五月十一日、フオンテヌアーの戰、佛國、英澳二國の兵を破る。
2406	3 丙寅	○二月、巡察使を諸國に遣り風俗を觀せしむ。	11		1746	○フランクリン電氣試驗、至五二年、○西班牙王フェルヂナンド六世、○第一月、チヤーレス、エドワード、ファルキルクの戰に勝つ、四月、カロデンに於てカムバーランド公に破らる。
2407	4 丁卯	○天皇位を皇太子に傳ふ、○丹羽貞機續庶物類纂を著はす、○大宰春臺小川笠翁歿、○吉宗薨。	12	○大淸會典の勅撰、○金川を征す。	1747	○波斯の革命、○ゲノア、澳人及ひ、サーヂニア人に攻めらる、○露女帝、エリサベス、マリアテレサを援けんとして兵を率く、○英國佛人と海戰して勝つ。
2408	寛延 戊辰	○大岡忠相を列侯とす、○朝鮮琉球入貢、○蘭人來聘し家重襲職を賀す。	13	○金川軍敗る、○大淸一統表の勅修、○帝東巡す。	1748	○第十月十八日、エークス、ラ、シヤペルの和議、澳國王位の爭終る、○トムソン死す。

皇紀	年號	天皇・將軍	日本	清 高宗	清	西暦	西洋
2431	8 卯辛	後桃園・家治	○筑前の漂民南海より歸る、○露舶阿波に漂着す、○杉田玄白解体新書を譯す、洋書飜譯及醫科的解剖の始、○田沼正意權を弄す。	36	○土爾扈特來歸す、○河を浚ふ、○帝萬壽節を行ふ。	1771	○露將ドルゴルーキー、クリミヤを占領す、○グスタヴァス三世、瑞典王となる、○グレー及スモレット死す。
2432	安永 辰壬		○舶載の貨幣にて南鐐判を作る、之を二銖銀と云ふ、○京都の革工始て明製に倣ひ印花革を造る、○熊代繩江歿す、○江都火く、○清商の密賣を禁す。	37	○金川を征す、○萬壽進獻を停む。	1772	○瑞典國の革命、○波蘭分割の始、○ウォーレン、ヘスチングス、ベンガルの最等上院長となる。
2433	2 巳癸		○古方家吉益東洞歿、○薩人池山某浙江に漂着す。	38	○金川を伐つ、○四庫全書成る。	1773	○クック第二回航海、○米人英の茶をボストン港中に投入す、○クレメント十四世、ジェスイト教派を禁す。
2434	3 午甲		○六月、大風、○大川橋を架す。	39	○刑部尚書錢陳羣卒す、○王倫山東に叛く。	1774	○英國ボストン港を封鎖す、○第九月五日、第一次のコンチネンタル、コングレスをフィラデルフィアに開く、○ゴールドスミス卒す、○ルイ十六世佛王となる、○露土、平和條約を結ぶ、○ヘスチングス印度大守となる、○プリーストレー酸素を發見す。
2435	4 未乙		○清國太宰純校古文孝經を飜刻す、○我民清國に漂着す。	40	○明李盡節諸臣別を分て謚を定む、○金川を平ぐ。	1775	○米國革命英米の戰始る、○第四月十九日、レキシングトンの戰、○第六月十七日、バンカーヒルの戰、○パイアス六世法王となる、○ワシントン元帥に撰ばる、○第二次のコンチネンタル、コングレスをフィラデルフィアに開く。
2436	5 申丙		○大雅堂歿す、○家治日光廟に詣す、○蘭人來聘す。	41	○城を鳥魯木齊に築く。	1776	○第三月十七日、大將ホウ、ボストン府を掃蕩す、○第七月四日、北米獨立を宣言す、○第八月廿七日、ロング島の戰、英軍米軍を破る、○第十一月十六日、英軍ワシントン府を取る。
2437	6 酉丁		○清商崔景山人頭錢を齎し來る。	42		1777	○第一月三日、ワシントン、プリンストンに於て戰勝す、○第九月十一日、ブランデーワインの戰、ワシントン敗北す、○第九月二十六日、英兵フィラデルフィアに入る、○サラトガの戰(十月七日)。
2438	7 戌戊		○伊豆大島の三原山噴火す。	43	○暹羅兵を起し緬甸を征す、○石槐花塔を修む。	1778	○第一月、佛國合衆國の獨立を認可す、○第二月六日、佛國合衆國と平和通商を結ぶ、○バヴァリア王位相續の爭ひ起る、○第七月十日、英佛の交戰、○ニウサンス、ヴォールスに殖民す、○ルーソー及ボルテーア死す。
2439	8 亥己		○大隅薩摩地震ひ、櫻島噴火死亡人一萬六千、牛馬二千餘、○和漢學者富士谷成章歿す、○家基薨す、○天皇崩す、壽二十二。	44	○黄河水決す。	1779	○第三月三日、ブリール、クリークの戰、英軍勝つ、○○西佛の艦隊、ジブラルター海峽を封鎖せんとす、○第六月十九日、英、西の戰、○クック歿す、○テッシエンの條約、バヴァリア王位相續戰爭終る。
2440	9 子庚		○安永以後墓碑方材多し、○清舶安房に漂着す、之を送り還す、○菅傘廢し涼傘起る。	45	○李湖を以て廣東巡撫となす、○十八省通志成る、○甘肅の回々亂をなす。	1780	○始めて、局外中立國海上安全條約の施行、○第五月十二日、リンコルン降る、○第十月、キングスマウンテインの戰、英兵敗北す、○マリアテレサ死す。
2441	天明 丑辛		○大槻玄澤書を著し蘭學を唱ふ。	46	○蘭列回教の賊叛す、○阿桂討て之を平ぐ、○萬壽節を行ふ。	1781	○第一月十七日、コウペンスの戰、米兵、英兵を破る、○第十月九日、英將コーンウヲリス、ヨークタウンに於てワシントンに降る、○西班牙人、ジブラルターを砲擊す、○天王星の發見、○レッシング死す。

皇紀	年號	天皇・將軍	日本	清 高宗	清	西暦	西洋
2442	2 寅壬	光格・家治	○群書類聚成る、○天文臺を江戸淺草に作る、○十二月、我民露國に漂着す。	47	○歴代名臣の奏疏を集む、○逆蕃蘇四十三平く。	1782	○[illegible] ○第九月十三日、ジブラルター大砲擊、佛國西班牙の砲隊に攻めらる、○第十一月三十日、フランクリン等英國との和睦條約に調印す。
2443	3 卯癸		○玄澤蘭學楷梯成る、○鷺卵紙の寸法の一定、○淺間岳火く、○清舶屋久島に漂着す。	48		1783	○第九月三日、ベルサイユ和約、英佛合衆國西班牙相和す、○英國合衆國の獨立を承認す、○クリミヤ露國に合す。
2444	4 辰甲		○仙臺角錢を鑄る、○貞丈歿す、○この頃金嵯、篁墩、鵬齋、錦城儒名あり、○天下大に飢ゆ、○佐野政言、田沼意知を斬る。	49	○濟協火災多し、歴代の帝王祀典を行ふ、○甘肅亂る。	1784	○英國和蘭と和す、○フレデリック大王丁抹の政を攝す。
2445	5 巳乙		○萬國圖説、紅毛雜話成る、○島津氏琉球の飢饉を賑はす、○細川重賢卒す、○旱飢。	50	○明の諸陵を修復す、○湖州大旱地陷ること數十尺。	1785	○英國蒸氣を以て布を織る、○蘭人サガレンを發見す、○ラペルース太平洋探險大航海をなす。
2446	6 午丙		○印幡沼を疏す、○田沼意次の封を收む、○江戸萬古燒の始、○九月將軍家治(俊明公)薨す、○江都大水、○松前藩に命し北海を巡視せしむ、○露艦蝦夷に來る、北防を嚴にす。	51	○安南阮惠亂をなす。	1786	○マッサチューセッツに反徒起る、○普王フレデリック大王歿し、フレデリック、ウィリアム二世立つ、○ウヲーレン、ヘスチングス彈劾せらる。
2447	7 未丁	家齊	○松平定信老中たり、○海國兵談始て沿海防禦策を論す、○六月、天下大に饑う、○米價騰貴金一兩に一斗八升、○家齊征夷將軍に任せらる、○安南人長崎に漂着す。	52	○臺灣の民、林爽文反す、○將軍海蘭察等之を平ぐ。	1787	○露帝カザリン二世、土耳其と戰ふ、○フィラデルフィア州會に於て合衆國憲法制定せらる。
2448	8 申戊		○京都大火、燒亡十九萬千余戸、○清船長崎に漂着す、○小堀政彌の封を收む。	53	○安南を征撫す、○祁門大水。	1788	○バッフォン歿す、○ヘスチングス糾問せらる、○チャーレス四世西班牙王となる、○瑞典露國と戰を宣告す。
2449	寛政 酉己		○司馬江漢銅版を始む、又油繪の中興たり、○異學を禁す、○旗本へ貸付金六ヶ年以前の分棄捐せしむ、○和蘭使節の入覲の儀を省く、○豫備倉を設く、○露人北蝦夷に來る。	54		1789	○ワシントン大統領となる、○佛國革命の始め、○賣奴廢止案英國議會に上る、○第十月五日、佛國三頭議會をベルサイユに召集す、○第七月十七日、巴里亂民起り國獄を毀つ。
2450	2 戌庚		○婦人の裝飾品を制限す、○栗山錦峯等聖堂の制を改む、○蘭人を五年一聘に改め、貿易額を減す、○皇宮を營む、○琉球入貢す、○清我漂民を送り來る。	55	○廓爾喀を征す、○帝萬壽節。	1790	○フランクリン歿す、○合衆國政廳をニウヨークよりフィラデルフィアに移す、○フィンランド灣の戰、瑞典王グスタヴァス三世露艦隊を破る、○第七月十四日佛國々民共同會議を巴里に開く、ルイ十六世憲法を裁可す。
2451	3 亥辛		○多紀の醫學舘を改めて官設とす、○沿海諸侯に航海を練習せしむ、○畫師栗田口直芳歿す、○八月、東國大風、○露船紀伊に漂着す、○北邊を巡視せしむ。	56	○十三經を石刊す。	1791	○佛國憲法を發布す、○第四月二日、佛の政治家ミラボー死す、○第六月二十日佛王ルイ十六世、巴里を逃れ途に捕はる、○澳國、土耳其と和す、○ガルヴァニ動物電氣を發見す。
2452	4 子壬		○海國兵談の毀版、○林子平禁固せらる、○肥前溫岳火く、○高保己一和學所を創む、○露船蝦夷に來る、諭して長崎に至らしむ。	57	○西藏廓爾喀平く、七月十月、地大に震ふ。	1792	○佛國々民令起る、○巴里の騷擾、○第三月、佛國斬首臺を用ゆ、○佛人王政を廢し共和政を起す、○フィラデルフィアに造幣局を建つ、○第八月十日、巴里市會議員自ら立て一揆自治員となる、○第九月二十二日、佛人革命曆を定め此日を以て佛國共和國元年とす、○ワシントン再ひ大統領となる、○露西亞土耳古と和す、○瑞典王グスタヴァス三世死す。

天皇	皇紀	年	干支	將軍	日本	清帝	清年	清	西暦	西洋
	2475	12	乙亥	家齊	○和蘭貢使等對譯辭書を撰ぶ、○海邊測量圖成る、○畿內東海大水、○英人我漂民を救ふ、○朝鮮饑う米一萬苞を以て之に賜ふ。	仁宗	20	○川西番苗亂をなす。	1815	○ナポレオン、エルバ島を逃れ巴里に入る(三月廿日)、○歐洲諸強國連合して佛國に反抗運動を始む、○ウインナ會の決議調印せられ歐洲の政治組織一新す(六月九日)、○第六月十八日、ウヲータールーの大戰、ナポレオン大敗す、○ナポレオン帝位を辭しルイ十八世再ひパリに入る、○ナポレオン、セント、ヘレナ島に上陸す、○第九月、露、普、澳三國神聖同盟を結ぶ。
	2476	13	丙子	家齊	○國友能當、蘭法に倣ひ氣砲を造る、○大槻玄澤蘭學凡論成る、西洋文法書の始、○清我漂民を送り還す、○清舶下田に漂着す。	仁宗	21	○十三經校勘記成る、○亞片三千二百函を焚く。	1816	○フェルヂナンド四世、子ープルス、シヽリーを合して兩シヽリー王國を創立しフェルヂナンド一世と改稱す、○アーゼンチン西班牙に反き獨立す。
仁孝	2477	14	丁丑	家齊	○清舶五島に漂着す。	仁宗	22		1817	○合衆國大統領ゼームス、モンロー職に就く、○ボリヴァー、ヴェネズーラに高等法院を設く。
仁孝	2478	文政	戊寅	家齊	○英艦浦賀に來る、○大嘗會、○二分金を鑄る、○蘭人來聘す。	仁宗	23	○大學士劉權之卒す。	1818	○土耳其人汽船を用ゆ、○エイク、ラ、シヤペールの會合、○諸邦の兵佛國を引拂ふ、○チリー獨立、○ボンの大學立つ。
仁孝	2479	2	己卯	家齊	○畿內近國地震ふ、○金銀を改鑄す、○清の漂民を送り還す、清人壹岐に朝鮮伯耆に漂着す。	仁宗	24		1819	○カールスバードの會合、○コッツェブー暗殺せらる、○獨逸ツォールフェラインの始め、○ニューグラナダ、ヴェネズーラ合してコロムビア共和國を建つ。
仁孝	2880	3	庚辰	家齊	○高橋作左衛門滿州の書を譯して献す、○市川寛齋歿、○浦賀砲臺を浦賀鎭臺に委す、○南部の民暹羅に漂着す、○清船漂着、○西國大水。	仁宗	25		1820	○葡萄牙革命起る、○シヽリー一揆黨起る、○ジョージ四世即位す、○傳道者瓜哇に至る、○伊太利にカルボナリー黨起る。
仁孝	2481	4	辛巳	家齊	○伊能忠敬實測圖成る、○南部津輕兵の北戍を止む、○畵師狙仙歿、○正月清船熊野に十二月對馬に漂着す、○城島砲臺を撤す。	宣宗	道光	○閩浙總督董教曾卒す、○阿片海盜盡く平く。	1821	○第五月五日、ナポレオン、ヘレナ島に死す、○メキシコ獨立、○希臘獨立戰爭をなす、○中央亞米利加西班牙の羈絆を脫し獨立す。
仁孝	2482	5	壬午	家齊	○上皇修學院に幸す、○二月德川家齊左大臣となる、○大水、○上杉治憲卒す、○蘭人來聘す、○異船浦賀に來る兵を出し之に備ふ、○富津砲臺を修む、○清船漂着す、○平戸に關を設け清の客商を視察す。	宣宗	2	○張各爾入寇回人內應す、追討七年、○阮元嚴英國兵船を飭す。	1822	○ブラヂル獨立、○西班牙國の立憲黨王黨との爭鬪、○ヴイレーユ佛國の大統領となる。
仁孝	2483	6	癸未	家齊	○山陵志成る、○菅茶山歿、○獨逸人シイボルト長崎に來り醫方を講す、○大風水、○房總砲臺を代官に委す。	宣宗	3	○林則徐、江蘇の按察使となる。	1823	○コロンビヤの獨立、○第五月、佛兵西班牙を侵しマドリッドに入る、○法王レオ第十二世即位す、○中央亞米利加の聯合共和國成る。
仁孝	2484	7	甲申	家齊	○英船薩摩寶島に來寇す、○足立左內露西亞學筌譯成る、○又英船常陸に來る、○上皇東山に幸す、○一朱金を鑄る。	宣宗	4	○英人緬甸を破る。	1824	○英の詩人バイロン歿す、○合衆國大統領撰擧、○英丁條約、○ルイ十八世歿し佛王チヤーレス十世即位す。
仁孝	2435	8	乙酉	家齊	○四月、上總土寇起る、○諸州に令し異船の岸に近つくものを擊たしむ、○倉橋豊國歿、○異船大阪の漂民を送り來る、○五月、英船陸奥に來る、○六月、又來る。	宣宗	5	○甘肅義倉を設く。	1825	○露帝アレキサンドル一世歿しニコラス一世即位す、○葡國ブラヂル獨立を認可す、○ボリヴヰア共和國成る、○ジヨン、クインシーアダムス大統領に選ま[illegible]

天皇	皇紀	年	干支	將軍	日本	清帝	清年	清	西暦	西洋
仁孝	2486	9	丙戌	家齊	○高橋某露書を譯して上る、○靑池林宗、氣海觀瀾輿地志畧を著す、西洋理學書の始、○國史畧成る、○異船上總に來る命して兵備を嚴にせしむ。	宣宗	6	○回酋張格爾叛す。	1826	○[illegible]に叛徒を居る、○ロンドンに大學建つ、○ジェファーソン及アダムス歿す、○ミチー河の大棧橋成、○文典著者モーレー歿す。
仁孝	2487	10	丁亥	家齊	○伊東圭介始て物產學を唱ふ、○茂質歿、○清我漂民を送り來る、○清人土佐に朝鮮人隱岐に漂着す、○我民浙江に漂到す、○又朝鮮人漂着す、○家齊太政大臣となる。	宣宗	7	○阮元、靖逸の夷を鎭む。	1827	○第七月六日、ロンドン條約、英、佛、露相議して希臘の平和に干渉す、○第十月二十日、ナヴァリノの戰、英佛露三國の水軍土耳其の艦隊を破る、○合衆國鐵道の始。
仁孝	2488	11	戊子	家齊	○本居春庭(詞の八衢著者)歿、○越後地震ふ、○九州大風水、○十月、朝鮮人壹岐に十二月、丹後に漂着す、○清我か漂民を送り來る。	宣宗	8	○賊張格爾誅に伏す、○回部を平ぐ。	1828	○第二月、波斯露國と和す、○第四月、露、土の戰、○マルチンヤク內閣成る、○ウルガイ獨立共和國となる。
仁孝	2489	12	己丑	家齊	○松平定信(樂翁)歿す、○犬山燒文政中に起る、○三月、江戸大火、○源定信卒す、○正月、朝鮮人出雲に同月八丈島人呂宋に十一月清舶五島に同月朝鮮人長門に漂着す。	宣宗	9	○喀什噶爾を攻め回莊を焚く。	1829	○英國會カソリック教自由條令を通過す、○安全燈發明、○コレラ病始めて露國に流行す、○露軍アドリアノープルに侵入し土耳其遂に平和條約を結ふ。
仁孝	2490	天保	庚寅	家齊	○足立長春西洋產科を唱ふ、○京都地震ふ、○正月、朝鮮人肥前に八月薩人清國に漂到す、○耶蘇教を唱ふる者を捕へ之を誅す。	宣宗	10	○趙金龍反す、○蔣攸銛卒す。	1830	○マンチェスターの鐵路成る、○白耳義獨立す、○ポーランドの反亂、○英王ウヰリヤム四世、○コロンビア分れて三共和國となる、○第七月、巴里革命起りチヤーレス十世位を退きボルボン朝終る。
仁孝	2491	2	辛卯	家齊	○海產の密賣を禁す、○天地丸を修め品海に浮ぶ、○清人漂着、○異船蝦夷に來る松前兵を出し之に備ふ、○箱舘の商異船に逢ひ物を奪はる、○吏に命し大阪安治川を濬ふ。	宣宗	11	○浩罕使を遣はし貢を納る。	1831	○埃及兵、上の京城に逼る、○白耳義王レオポルド一世、○ウヰリアム、ロイドガリソン、ボストンに於てリベレートル新聞紙を發刊して黑奴解放を主張す、○中部伊太利反亂起る、○モデナ及法皇領內に反亂起る。
仁孝	2492	3	壬辰	家齊	○德川齊昭海防術を講す、○渡邊登海防事務官となる、○二朱金を鑄る、○賴山陽歿す、○六月、陸奥民漂て浙江に到る。	宣宗	12	○泗川亂る、之を討ち趙金龍を斬り、餘黨悉く平く。	1832	○第六月、英國撰擧改正案通過、○ポーランド露領となる、○澳人ボロニヤに入る、○バヴァリアのルイ一世の子チナーソ希臘王となる、○コレラ病西部歐州に蔓延し米國に及ぶ、○チヤムボリオン、ゲーテ、ベンサム、スコット等死す。
仁孝	2493	4	癸巳	家齊	○宇田川榕庵植學啓原を著す、○菱湖歿、○八月、東國大風、○三月、朝鮮の民肥前に十月五島に漂着す、○諸國の物產を調査す。	宣宗	13	○連州人排搖亂をなす、○太子大保吳有光卒す。	1833	○フランクフォールトに革命起る、○西班牙王フェルヂナンド七世歿す、○第七月五日、セントヴヰンセント岬の戰、ドム、ペドロの水軍ドム、ミギユールの軍を破る、○露軍マムード二世を援けてメヘメットアリを討たんとす、○メキシコに於て初めて大統領職を置く。
仁孝	2494	5	甲午	家齊	○朝鮮人漂到す、○德川齊昭蝦夷を開拓し邊に備へんと請ふ、○朝鮮登らす王宮災あり、金一万兩を送り之を賑はす、○二分金を鑄る、○江部火く、○國圖御帳を上らしむ。	宣宗	14		1834	○佛國新聞紙の自由を束縛す、○第四月、英、佛、西班牙及葡萄牙條約を結びドム、ミギユール及びドンカーロスに抗す、○モハメット、シヤー波斯王となる。
仁孝	2495	6	乙未	家齊	○仙石騷動、○當百錢(天保通寶)を鑄る、○朝鮮人漂到す、○清商の密賣を監督せしむ、○違犯清商を獄に下す。	宣宗	15		1835	○セミノルスト第二回の戰爭起る、○テキザス革命を起す、○英國市會條令を施行す、○ニウヨーク大火、○希王オット其撰擧に多數を得。
仁孝	2496	7	丙申	家齊	○眞田幸貫十二支砲を鑄る、○天下大に飢ゆ、○五月、水戸侯砲臺を助川に築く、○天保中より糸織の發明、淡路燒紀州燒の創始、○十月陸奥民廣東に漂着す。	宣宗	16	○英人阿片二万七千函を獻す。	1836	○英國輕氣球を放つ、○マヂソン死す、○第十月三十日、ルイナポレオン、ストラスブルクに於て帝と稱せんとして成らず、○ロンドンに新大學校建つ、○佛國チアー內閣成る。

孝明　今上
家茂　慶喜
穆宗

皇紀	年號	日本	清	記事	西暦	西洋
2519	6 己未	○德川齊昭を幽す、○橫濱を開く、○五國條約を頒つ、○鹽魚生糸を西洋に輸出す、○正義黨誅斬せらる、○虎列剌病流行。	9	○英佛と戰ひ之を敗る、○英佛使臣辱めらる次て同盟軍入寇す、○阿片禁止。	1859	○佛國サーヂニアと合同して澳國と戰ふ、○ロムバーヂー澳國の覊絆を脫す、○合衆國石油井の鑿を初む、○伊太利獨立戰爭、○第十一月十日、ツーリッヒの條約澳佛及びサーヂニア條約。
2520	萬延 庚申	○櫻田の變、○始て西洋に國使を發す、○軍艦奉行木村攝津守等米國より歸朝、○英人始て富士山に上る、○儒者安積艮齋歿す、○金幣を鑄る、○齊昭薨す。	10	○英佛、北京を陷る、○帝亂を熱河に避く、○○天津條約。	1860	○アブラハム、リンコルン合衆國大統領に撰はる、○ゲータの攻擊、○米國南北戰爭、○ガリバルヂー、シヽリー及子ープルスをして澳國の覊絆を脫せしむ。
2521	文久 辛酉	○長崎に精得館立つ、○浪士英館を襲ふ、これより英人兵を橫濱に置き自衛す、○皇妹和宮降嫁、○歐州六國に遣使。	11	○英佛と和す、○佛入安南長髪賊を伐ち上海を屠る。	1861	○第二月十七日、ヴ井クトル、エマニユール二世、伊太利王位に即く是に至りて伊國一統す、○普王ウ井リアム一世、○佛英西班牙の三國メキシコを犯す、○フォン、ビルク普國首相となる、○合衆國內亂(南北戰爭)○葡萄牙王ルイ一世。
2522	2 壬戌	○靑蓮院宮以下の幽屛を解き井伊の黨罰せらる、○痲疹病流行、○處士安藤信正を坂下門に要擊す、○毛利齊親書を幕府に呈し天下の形勢を論す、○蘭國に留學生を遣す、○生麥の變、○幕府軍艦を造る。	同治	○海上賊を襲ふ、○金陵の大戰、○英佛米の兵、官軍を援く。	1862	○第一月十九日、ミル、スプリングの戰、ゼ子ラル、トーマス聯合國軍を破る、○米國リッチモンド大戰、○ビスマルク始めて獨の首相となる、○希臘革命起る。
2523	3 癸亥	○三月家茂入朝す、○鎖港を告く、○文久錢を鑄る○五月、長人米艦を赤間關に砲擊す、○七月、英艦鹿兒島に寇す、○主部守護職を置く、○加茂石淸水に幸す、○山陵を修む、○英國に留學生を遣す、○高山定之尊氏の木像を梟す、○七卿長州に奔る、○大和の變、○英人新聞紙を橫濱に發刊す。	2	○李鴻章劉銘傳等奮戰す、○官軍蘇城を陷る、賊軍衰ふ。	1863	○フーカーポトマック軍の指揮者となる、○日耳曼諸侯伯、フランクフォルト、オン、ゼ、メーンに會し聯邦制を改革せんとす、○ジョージ一世希臘王となる、○ポールス兵を擧けて露國に抗す、○佛國プエブを圍み之を降す、○南米將ジヤクソン歿す、○米奴隷解放令を布く。
2524	元治 甲子	○象山斬らる、○北野祭再興、○將軍上洛、○水戸藩論兩分二黨相爭ふ、○長州を征す、○八月英佛米蘭四國の兵赤間關に寇す。	3	○洪秀全毒を服し死す、○金陵平定、粤賊平く、○漢中城を復す。	1864	○第二月、澳普合して丁抹と戰ふ、○第二次のシユレスウ井ック、ホルスタイン戰爭、○ポーランド一揆掃蕩す、○ペルー西班牙戰爭、○丁抹國の爲にロンドンに大會議を開く、○リンコルン再び合衆國大統領となる。
2525	慶應 乙丑	○英米佛蘭兵艦を帥て兵庫に來り條約す、○將軍親征大坂に至る、○露英佛に留學生を送る、○祇園臨時祭再び起る。	4	○賊山東に入る、○○郡王僧格林沁死す、○○福建嘉應の賊平く。	1865	○リンコルン殺さる、アンドリウ、ジョンソン大統領となる、○第五月、以太利政府廳をチューリンよりフローレンスに移す、○第四月九日、南北戰爭終る、○第八月、澳普の諸王ガスタインに會議す、○第十二月十八日、合衆國議會奴隷禁止の議を可決す。
2526	2 丙寅	○再び長州を伐て克たず、長軍は短袴輕衣專ら銃隊を用ひ、幕軍は甲冑刀槍を用ふ、○幕府使を露國に遣り樺太境界を定む、○家茂(昭德公)薨す、○十二月、慶喜を以て將軍となす。	5	○賊湖北に奔る、○曾國藩捻匪の賊を破る、○李鴻章曾國藩に代る。	1866	
2527	3 丁卯	○孝明天皇崩す、○兵庫を開港場とす、○巴里博覽會に出品す、○攝關以下の舊職を廢し三職を置く、○十月慶喜政權を還し王政復古す、○紙幣を發行す。	6	○劉銘傳日隆河に敗る、○韓人佛人を坑にする。	1867	○第二月四日、北日耳曼聯邦第一次議會ビスマルク議長たり、○第三月二日、合衆國改制令を發布す、○ルキセムブルク問題、○アクト、ユフ、コングレス議會を通過す、○フェニアン愛蘭に一揆を起す、○巴里に萬國博覽會を開く、○第十月、ガリバルヂイ羅馬を征せんことを企つ、○ノーベル、ダイナマイトを發明す。
2258	明治 戊辰	○伏見鳥羽の戰、○一世一元に定む、○慶喜水戸に退く、○八月、帝位に即く、○賊將大鳥圭介等結城城を取る、○詔して湊川祠を建つ、○東叡山の賊を討平す、○江戸を東京と改む、○奧羽を平定、○東京に幸す、○奧羽を割きて七國となす、○北海道を置く、○太政官代を置く、○十一月、箱館戰爭、○刑法を定め磔梟二刑を廢す、○十二月、女御藤原氏を立て、皇后となす。	7	○張賊捻賊平く、○製造局を各所に置く、○蒸汽船を造る、○曾國藩京に至る。	1868	○第二月四日、合衆國の下院大統領アンドリウ、ジョンソンを彈劾す、○第五月廿六日、上院其無罪を可決す、○第四月十三日、マグダラ攻擊アビシニア戰終る、○西班牙の革命、女王出奔す、○第十二月九日、グラッドストン英國首相となる。
2529	2 己巳	○封建を廢し郡縣となす、○招魂社建つ、○關門を廢す、○列藩々籍を奉還す、公卿諸侯の稱を廢し總て華族と稱す、○再び東京に幸し永く帝都となす、○民部官を置く、○五月、官軍箱館を討平す、○始て電信線を架す、○蝦夷平く、○當時全國人口三千三百六十二萬餘人。	8	○好を日本に通す、○左宗棠甘肅の賊を平く、○天津民佛人を殺し教[illegible]	1869	○第二月、合衆國々會第十五改正案を採用す、○第三月四日、グラント合衆國大統領となる、○パシフィック鐵道[illegible]スエズ運河成る[illegible]

今上
穆宗　光緒

皇紀	年號	日本	清	記事	西暦	西洋
2530	3 庚午	○徵兵規則、新律綱領を頒布す、○支那人賣童男女事件、○人力車馬車を用ゆ。	9	○震國伊犂を占領す。	1870	[illegible]ヴ井ルの戰、曼兵佛兵を破る、○第八月十四日、九月二十七日、ストラスブルグの攻圍、曼兵佛兵を圍む、○佛人帝政を廢し共和政を立つ、○第九月一、二日、セダン陷る、ナポレオン三世、力盡き降を普王ウ井リヤム一世に請ふ、○巴里の攻圍、ツール陷る、○西班牙帝イサベラ位を退く、○羅馬伊太利の首都となる。
2531	4 辛未	○大阪造幣廠を開く、○廢藩置縣、○大使を歐米に發す、○散髮廢刀令を出す、○郵便局を設く、○淸國及布哇との條約成る、○圓形新貨幣發行。	10	○日本と條約成る、○香港上海間海底電線成る。	1871	○普王ウ井リアム一世、日耳曼帝となる、○第一月廿八日、巴里陷る、○第二月廿六日、ヴエルサイユ會合、曼帝佛帝と和議を內約す、○第三月廿一日、第一次日耳曼帝國議會、○第八月廿一日、チアー佛國大統領となる、○第十月八ー十日、シカゴ大火、○米艦朝鮮を討つ、○アラバマ條約成る。
2532	5 壬申	○新紙幣發行、○天皇西巡、○瓦斯燈を點す、○一人一名の制、○國立銀行を立つ、○京濱鐵道成る、○徵兵令改正、○祕魯船事件、○博覽會の始、○大陽曆陰曆を廢し頒布。	11	○日本に領事官を置く、○日本領事來る、○曾國藩卒す、文正と諡す。	1872	○西班牙の內亂、○英國バロット議案通過す、○瑞典王オスカル二世、○ボストン府大火、○獨逸政府法皇朝廷と不和になる。
2533	6 癸酉	○皇城火く、○始て證券印紙を發行す、○琉球藩臣東京に駐在す、○外人と婚嫁を許す、○天皇散髮す、○琉球王入朝、○學制改正小學起る、○公園の始、○全國地租を改正す、○六鎭臺を置く。	12	○鐵道電信を設く。	1873	○ウ井ンナ大博覽會、○第一月九日、ナポレオン三世歿す、○第五月廿四日、マクマホン佛國大統領となる、○第六月十日、露國キヴァを征す、○第十一月廿九日、西班牙合衆國の要求を納る。
2534	7 甲戌	○臺灣征伐償金五十萬圓を取り終局、○佐賀江藤新平の亂、○賊岩倉右大臣を傷く。	13	(日本北京公使に來る、日本と臺灣の談判調ふ、○博物院を上海に設く、○十二月、帝痘を患て崩す。	1874	○英國首相グラッドストーン辭職してヂスレリー繼ぐ、○アシャント戰爭終る、○フイジー島英の有となる。
2535	8 乙亥	○八年出版條例出つ、○元老院及び大審院を置く、○地方官會議、○始て洋紙を製す、○英佛二國橫濱の衞兵を撤す、○樺太境界定る、○朝鮮江華島事件、○郵船會社始て上海に渡航、○樺太を魯國に與へ千島と交換す。	光緒	○秘魯國と條約を結ぶ、○鄭成功を忠宣忠烈と追諡す。	1875	○西班牙王位の亂王政を恢復す、○第二月、佛國共和國憲法を制定す、○イスメール、パシヤ、アビシニア人と戰ふ。
2536	9 丙子	○奧羽巡幸、○士民の佩刀を禁す、○神風連の變、○朝鮮と締約、○熊本、秋月、萩に賊起る。	2	○英國と條約を結ぶ、○上海江灣の鐵路成る。	1876	○土國の回教徒佛國領事を殺す、○墨西哥革命亂、○コーカン露の有となる○第五月十二日、コンスタンチノープルの革命、○第五月、バルガリアの虐殺、○英女皇ヴ井クトリア又印度女王と稱す。
2537	10 丁丑	○減租の勅、○學習院成る、○內國勸業博覽會を開く、○木戸公薨す、○勳章の始、○京都大和へ行幸す、○西鄕隆盛反す討て之を平く。	3	○欽差大臣何如璋副使張斯桂日本に赴く、○二十人を英佛二國に留學せしむ、○喀什噶爾兵邊境に侵す。	1877	○佛のガンベッタ獄に下さる、○露土戰爭、○蓄音器の發明、○土耳其國會を開く、○英國トランスヴァール共和國を取る。
2538	11 戊寅	○北陸近畿巡幸、○大久保利通賊の爲に殺さる、○始て士族の功臣を華族に列す、○菊池容齋歿す、○郡區町村編製法を說く。	4	○初度の伊犂談判、○陝西四川大に飢う、○廣西賊起る。	1878	○第一月二十日、露軍アドリアノープルに入る、○第二月十三日、英艦隊マーモラ海に入る、○第三月三日、サン、ステファノの條約、○第六月十三日、第七月十三日、ベルリン條約日耳曼英露三國に會す、○第十一月三日、英兵アフガニスタンに入る、○法皇ピリユ九世歿す、○電話機の發明。
2539	12 己卯	○勤儉の詔を下す、○主上上野へ臨幸せらる、○米國條約改正を承認す、○五月、琉球を廢し沖繩縣を置く、○英國リートン氏ヘンチーシー氏獨逸皇孫米國グラント氏伊國ゼノア公等來遊す、○梟刑を廢す。	5	○甘肅大地震、○叛將李揚財越南に據り屢官軍を惱し廣西省に於て擒にせらる、○循環日報記者王紫詮日本に遊行す、○伊犂版圖に歸す。	1879	○第一月三十日、ユール、グレヴ井ー佛共和國大統領となる、○英國ズール遠征、○智利、ボリヴ井ア及ペルーと戰をなす、○コンスタンチノープルの條約。
2540	13 庚辰	○甲信へ巡幸、○正金銀行を橫濱に建つ、○地方官會議規則の發布、○國會開設の請願、○京都に幸す、○刑法治罪法頒布。	6	○露國との葛藤解けず。	1880	○第二月十七日、露國ウ井ンター宮殿內の變、○アレキサンダー二世弑せられアレキサンダー三世即位す、○第十一月、トランスヴァール英國に反す、○合衆國支那と條約す、○第四月、英國首相グラッドストーン、ペルー、智利と和す。

本朝聖帝表

代	帝	年
一代	神武	一 七六
二代	綏靖	八〇 一一二
三代	安寧	一一三 一五〇
四代	懿德	一五一 一八五
五代	孝昭	一八六 二六八
六代	孝安	二六九 三七〇
七代	孝靈	三七一 四四六
八代	孝元	四四七 五〇三
九代	開化	五〇四 五六三
十代	崇神	五六四 六三一
十一代	垂仁	六三二 七三〇
十二代	景行	七三一 七九〇
十三代	成務	七九一 八五〇
十四代	仲哀	八五二 八六〇
	(神功皇后	八六一 九二九)
十五代	應神	九三〇 九七〇
十六代	仁德	九七三 一〇五九
十七代	履仲	一〇六〇 一〇六五
十八代	反正	一〇六六 一〇七一
十九代	允恭	一〇七二 一一一三
二十代	安康	一一一四 一一一六
二十一代	雄略	一一一七 一一三九
二十二代	清寧	一一四〇 一一四四
二十三代	顯宗	一一四五 一一四七
二十四代	仁賢	一一四八 一一五八
二十五代	武烈	一一五九 一一六六
二十六代	繼體	一一六七 一一九一
二十七代	安閑	一一九四 一一九五
二十八代	宣化	一一九六 一一九九
二十九代	欽明	一二〇〇 一二三一
三十代	敏達	一二三二 一二四五
三十一代	用明	一二四六 一二四七
三十二代	崇峻	一二四八 一二五二
三十三代	推古	一二五三 一二八八
三十四代	舒明	一二八九 一三〇一
三十五代	皇極	一三〇二 一三〇四
三十六代	孝德	一三〇五 一三一四
三十七代	齊明	一三一五 一三二一
三十八代	天智	一三二二 一三三一
三十九代	弘文	一三三二 一三三二
四十代	天武	一三三三 一三四六
四十一代	持統	一三四七 一三五六
四十二代	文武	一三五七 一三六七
四十三代	元明	一三六八 一三七四
四十四代	元正	一三七五 一三八三
四十五代	聖武	一三八四 一四〇八
四十六代	孝謙	一四〇九 一四一八
四十七代	淳仁	一四一九 一四二四

女帝 合飯豊

附錄

2572	2571	2570	2569	2568	2567	2566	2565	2564	2563	2562
今上										
45 壬子	44 辛亥	43 庚戌	42 己酉	41 戊申	40 丁未	39 丙午	38 乙巳	37 甲辰	36 癸卯	35 壬寅
光緒										
38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
1912	1911	1910	1909	1908	1907	1906	1905	1904	1903	1902

大正元 —— 民国元
二 癸丑 2573 1913
三 甲寅 2574 1914
四 乙卯 2575 1915
五 丙辰 2576 1916
六 丁巳 2577 1917
七 戊午 2578 1918
八 己未 2579 1919
九 庚申 2580 1920
十 辛酉 2581 1921
十一 壬戌 2582 1922

四十八代 稱德 一四二五 一四二九	四十九代 光仁 一四三〇 一四四一	五十代 桓武 一四四二 一四六五	五十一代 平城 一四六六 一四六九	五十二代 嵯峨 一四七〇 一四八三	五十三代 淳和 一四八四 一四九三
五十四代 仁明 一四九四 一五一〇	五十五代 文德 一五一一 一五一八	五十六代 清和 一五一九 一五三六	五十七代 陽成 一五三七 一五四四	五十八代 光孝 一五四五 一五四七	五十九代 宇多 一五四八 一五五七
六十代 醍醐 一五五八 一五九〇	六十一代 朱雀 一五九一 一六〇六	六十二代 村上 一六〇七 一六二七	六十三代 冷泉 一六二八 一六二九	六十四代 圓融 一六三〇 一六四四	六十五代 花山 一六四五 一六四六
六十六代 一條 一六四七 一六七一	六十七代 三條 一六七二 一六七六	六十八代 後一條 一六七七 一六九六	六十九代 後朱雀 一六九七 一七〇五	七十代 後冷泉 一七〇六 一七二八	七十一代 後三條 一七二九 一七三二
七十二代 白河 一七三三 一七四六	七十三代 堀河 一七四七 一七六七	七十四代 鳥羽 一七六八 一七八三	七十五代 崇德 一七八四 一八〇一	七十六代 近衛 一八〇二 一八一五	七十七代 後白河 一八一六 一八一八
七十八代 二條 一八一九 一八二五	七十九代 六條 一八二六 一八二八	八十代 高倉 一八二九 一八四〇	八十一代 安德 一八四一 一八四三	八十二代 後鳥羽 一八四四 一八五八	八十三代 土御門 一八五九 一八七〇
八十四代 順德 一八七一 一八八〇	八十五代 仲恭 一八八一 一八八一	八十六代 後堀河 一八八二 一八九二	八十七代 四條 一八九三 一九〇二	八十八代 後嵯峨 一九〇三 一九〇六	八十九代 後深草 一九〇七 一九一九
九十代 龜山 一九二〇 一九三四	九十一代 後宇多 一九三五 一九四七	九十二代 伏見 一九四八 一九五八	九十三代 後伏見 一九五九 一九六一	九十四代 後二條 一九六二 一九六七	九十五代 花園 一九六八 一九七八
九十六代 後醍醐 一九七九 一九九八	（光嚴 一九九二 一九九三）	九十七代 後村上 一九九九 二〇二九	九十八代 後龜山 二〇[illegible] 二〇五二	九十九代 後小松 二〇五三 二〇七二	百代 稱光 二〇七三 二〇八八
百一代 後花園 二〇八九 二一二四	百二代 後土御門 二一二五 二一六〇	百三代 後柏原 二一六一 二一八六	百四代 後奈良 二一八七 二二一七	百五代 正親町 二二一八 二二四六	百六代 後陽成 二二四七 二二七一
百七代 後水尾 二二七二 二二八九	百八代 明正 二二九〇 二三〇三	百九代 後光明 二三〇四 二三一四	百十代 後西院 二三一五 二三二二	百十一代 靈元 二三二三 二三四六	百十二代 東山 二三四七 二三六九
中御門 二三七〇 二三九五	櫻町 二三九六 二四〇七	桃園 二四〇八 二四二二	後櫻町 二四二三 二四三〇	後桃園 二四三一 二四三九	光格 二四四〇 二四七六
百十九代 仁孝 二四七七 二五〇六	百二十代 孝明 二五〇七 二五二六	百二十一代 今上天皇 二五二七			

北朝

光明 一九九六 二〇〇八	崇光 二〇〇九 二〇一一	後光嚴 二〇一二 二〇三一	後圓融 二〇三二 二〇四二	後小松 二〇四三 二〇五二	（南北一統）

本朝將軍表

源頼朝 一八五二 一八五九	源頼家 一八六〇 一八六三	源實朝 一八六四 一八七九	藤原頼經（北條泰時）一八八六 一九〇三	藤原頼嗣
（北條經時 北條時頼）一九〇四 一九一一	宗尊親王（北條時頼 北條長時 北條政村）一九一二 一九二六	惟康親王（北條時宗 北條貞時）一九二七 一九四九	久明親王（北條貞時 北條師時）一九五〇 一九六八	
守邦親王（北條師時 北條高時）一九六九 一九九二	護良親王 一九九三 一九九三	成良親王 一九九四 一九九五	足利尊氏 一九九六 一九九六	（北朝）足利尊氏 一九九六 二〇一七
足利義詮 二〇一八 二〇二七	足利義滿 二〇二八 二〇五四（南北一統）	足利義滿 二〇五三 二〇五四	足利義持 二〇五五 二〇八二	足利義量 二〇八三 二〇八四
足利義持 二〇八五 二〇八七	足利義教 二〇八八 二一〇〇	足利義勝 二一〇一 二一〇三	足利義政 二一〇四 二一三三	足利義尚 二一三四 二一四九
足利義植 二一五〇 二一五三	足利義澄 二一五四 二一六七	足利義植 二一六八 二一八一	足利義晴 二一八二 二二〇五	足利義輝 二二〇六 二二二五
足利義榮 二二二六 二二二七	足利義昭 二二二八 二二三三	（織田信長）二二三四 二二四二	（豊臣秀吉）二二四五 二二五〇	（豊臣秀次）二二五一 二二五四

(豊臣秀頼)二二五八 二二六二　徳川家康二二六三 二二六四　徳川秀忠二二六五 二二八二　徳川家光二二八三 二三一〇　徳川家綱二三一一 二三四〇

徳川綱吉二三四一 二三六八　徳川家宣二三六九 二三七二　徳川家繼二三七三 二三七五　徳川吉宗二三七六 二四〇四　徳川家重二四〇五 二四二一

徳川家治二四二二 二四四六　徳川家齊二四四七 二四九六　徳川家慶二四九七 二五一三　徳川家定二五一四 二五一七　徳川家茂二五一八 二五二五

徳川慶喜二五二六 二五二七

支那歴代君主表

【周】惠王自紀元前一七 至紀元一九　襄王一〇 四二　頃王四三 四八　匡王四九 五四　定王五五 七五　簡王七六 八八

靈王九〇 一一六　景王一一七 一四〇　悼王一四一 一四一　敬王一四二 一八五　元王一八六 一九二　貞定王一九三 二二〇

哀王 思王二二一　考王二二一 二三五　威烈王二三六 二五九　安王二六〇 二八五　烈王二八六 二九一　顯王二九二 三四〇

愼靚王三四一 三四六　赧王三四七 四〇五　(東周)惠公四〇六 四一二　【秦】始皇帝四四〇 四五一　二世皇帝四五二 四五四

【漢】(前漢)高帝四五九 四六六　惠帝四六七 四七三　文帝四八二 五〇四　景帝五〇五 五二〇　武帝五二一 五七四

昭帝五七五 五八七　宣帝五八八 六一二　元帝六一三 六二八　成帝六二九 六五四　哀帝六五五 六六〇　平帝六六一 六六五

假皇帝(孺子嬰)六六六 六六七　(王莽)六六八 六八三　(後漢)光武皇帝六八五 七一七　明帝七一八 七三五　章帝七三六 七四八

和帝七四九 七六五　殤帝七六六 七六六　安帝七六七 七八五　順帝七八六 八〇四　沖帝八〇五 八〇五　質帝八〇六 八〇六

桓帝八〇七 八二七　靈帝八二八 八四九　獻帝八五〇 八八〇　【蜀】昭烈帝八八一 八八三　後帝八八三 九二三

【魏】文帝八八〇 八八六　明帝八八七 八九九　齊王九〇〇 九一四　廢帝髦九一五 九一九　元帝九二〇 九二五

【呉】太帝八八二 九一一　廢帝會稽王九一二 九一七　景帝九一八 九二三　烏程侯九二四 九三九

【西晉】武帝九二五 九四九　惠帝九五〇 九六六　懐帝九六七 九七二　愍帝九七三 九七六　【東晉】元帝九七七 九八二

明帝九八三 九八四　成帝九八六 一〇〇二　康帝一〇〇三 一〇〇四　穆帝一〇〇五 一〇二一　哀帝一〇二二 一〇二五　帝奕一〇二六 一〇三〇

簡文帝一〇三一 一〇三二　孝武帝一〇三三 一〇五六　安帝一〇五七 一〇七八　恭帝一〇七九 一〇七九　【宋】武帝一〇八〇 一〇八二　廢帝

(義符)一〇八三 一〇八三　文帝一〇八四 一一一三　孝武帝一一一四 一一二四　廢帝(子業)一一二五 一一二五　明帝一一二五 一一三二　後廢帝一一三三 一一三六

順帝一一三七 一一三八

【北魏】道武帝一〇四六 一〇六八　明元帝一〇六九 一〇八三　太武帝一〇八四 一一一二　文成帝一一一三 一一二五　獻文帝一一二六 一一三〇　孝文帝一一三一 一一六〇

宣武帝一一六一 一一七五　孝明帝一一七六 一一八七　孝荘帝一一八八 一一九〇(魏東西に分かる)　(東魏)孝靜帝一一九四 一二〇九　(西魏)孝武帝一一九二 一一九四

文帝一一九五 一二一二　廢帝欽一二一三 一二一四　恭帝一二一五 一二一七

【齊】高帝一一三九 一一四二　武帝一一四三 一一五三　廢帝(鬱林)一一五三 一一五三　廢帝(海陵)一一五三 一一五三　明帝一一五四 一一五八　廢帝

(東昏)一一五九 一一六〇　和帝一一六一 一一六二　【梁】武帝一一六二 一二〇九　簡文帝一二一〇 一二一一　元帝一二一二 一二一四　敬帝一二一五 一二一六

【北齊】文宣帝一二一〇 一二一九　廢帝殷一二一九 一二一九　孝昭帝一二二〇 一二二〇　武成帝一二二一 一二二四　後主一二二五 一二三七

【後周】孝愍帝一二一七 一二一七　明帝一二一八 一二二〇　武帝一二二一 一二三七　宣帝一二三八 一二三八　靜帝一二三九 一二四〇

南

【陳】武帝 一二一七—一二一九　文帝 一二二〇—一二二六　廢帝(臨海王) 一二二六—一二二八　宣帝 一二二九—一二四二　後主叔寶 一二四三—一二四八　【隋】

文帝 一二四九—一二六四　煬帝 一二六五—一二七六　恭帝 一二七七—一二七七　【唐】高祖 一二七八—一二八六　太宗 一二八七—一三〇九　高宗 一三一〇—一三四三

中宗 一三四四—一三六九　睿宗 一三七〇—一三七二　玄宗 一三七三—一四一五　肅宗 一四一六—一四二二　代宗 一四二三—一四三九　德宗 一四四〇—一四六四

順宗 一四六五—一四六五　憲宗 一四六六—一四八〇　穆宗 一四八一—一四八四　敬宗 一四八五—一四八六　文宗 一四八七—一五〇〇　武宗 一五〇一—一五〇六

宣宗 一五〇七—一五一九　懿宗 一五二〇—一五三三　僖宗 一五三四—一五四八　昭宗 一五四九—一五六四　昭宣 一五六五—一五六六　【後梁】太祖 一五六七—一五七三

末帝 一五七四—一五八二

【遼】(初め契丹と號す)太祖 一五七六—一五八六　太宗 一五八七—一六〇六　世宗 一六〇七—一六一〇　穆宗 一六一一—一六二八　景宗 一六二九—一六四二

聖宗 一六四三—一六九〇　興宗 一六九一—一七一四　道宗 一七一五—一七六〇　天祚帝 一七六一—一七八五

【後唐】莊宗 一五八三—一五八五　明宗 一五八六—一五九三　閔帝 一五九四—一五九四　廢帝從珂 一五九四—一五九五　【後晉】高祖 一五九六—一六〇二

出帝 一六〇三—一六〇六　【後漢】高祖 一六〇七—一六〇八　隱帝 一六〇九—一六一〇　【後周】太祖 一六一一—一六一三　世宗 一六一四—一六一九

恭帝 一六二〇—一六二〇　【宋】太祖 一六二一—一六三五　太宗 一六三六—一六五八　眞宗 一六五九—一六八二　仁宗 一六八三—一七二三　英宗 一七二四—一七二七

神宗 一七二八—一七四五　哲宗 一七四六—一七六〇　徽宗 一七六一—一七八五　欽宗 一七八六—一七八六　(南宋)高宗 一七八七—一八二二　孝宗 一八二三—一八四九

光宗 一八五〇—一八五四　寧宗 一八五五—一八八四　理宗 一八八五—一九二四　度宗 一九二五—一九三四　恭宗 一九三五—一九三五　端宗 一九三六—一九三七

帝昺 一九三八—一九三九

【金】(初め女眞又は女直と號す)太祖 一七七五—一七八二　太宗 一七八三—一七九四　熙宗 一七九五—一八〇八　帝亮 一八〇九—一八二〇　世宗 一八二一—一八四九

章宗 一八五〇—一八七三　宣宗 一八七四—一八八三　哀宗 一八八四—一八九四

【元】太祖 一八六六—一八八八　太宗 一八八九—一九〇四　定宗 一九〇五—一九一〇　憲宗 一九一一—一九一九　世祖 一九二〇—一九五四　成宗 一九五五—一九六七

武宗 一九六八—一九七一　仁宗 一九七二—一九八〇　英宗 一九八一—一九八三　帝也孫鐵木兒 一九八四—一九八七　明宗 一九八八—一九八八　文宗 一九八八—一九九二

寧宗 一九九二—一九九二　順宗 一九九三—二〇二七　【明】太祖 二〇二八—二〇五八　惠帝 二〇五九—二〇六二　成祖 二〇六三—二〇八四　仁宗 二〇八五—二〇八五

宣宗 二〇八六—二〇九五　英宗 二〇九六—二一〇九　景宗 二一一〇—二一一六　英宗(復位) 二一一七—二一二四　憲宗 二一二五—二一四八　孝宗 二一四九—二一六五

武宗 二一六六—二一八一　世宗 二一八二—二二二六　穆宗 二二二七—二二三二　神宗 二二三三—二二七九　光宗 二二八〇—二二八〇　熹宗 二二八一—二二八七

思宗 二二八八—二三〇四　福王 二三〇五—二三〇五　唐王 二三〇六—二三〇六　永明王 二三〇七—二三一三　【清】太祖 二二七八—二二八九　太宗 二二九〇—二三〇四

世祖 二三〇五—二三二一　聖宗 二三二二—二三八二(康熙帝)　世宗 二三八三—二三九五(雍正帝)　高宗 二三九六—二四五五(乾隆帝)　仁宗 二四五六—二四八〇(嘉慶帝)　宣宗 二四八一—二五一〇(道光帝)

文宗 二五一一—二五二一(咸豐帝)　穆宗 二五二二—二五三五(同治帝)　今帝(光緒帝) 德宗(載湉)

(西太后、那拉氏、蘭兒、父惠徵、南中人)

醇 奕譞

醇 載灃

宣統帝

神武天皇即位紀元年數の四を以て整除し得べき年を閏年とす但し紀元年數より六百六十を減じて百を以て整除し得べきものゝ中更に四を以て其商を整除し得ざる年ハ平年とす

右の勅令を發したる理由なりと云ふを聞くに現今大陽暦と稱するもの二種あり第一ハ「ジユリヤン」暦或ハ舊暦にして露國現行の暦なり此暦法に於てハ西洋通俗紀元の年號四にて整除し得べきものを總て閏年とす即ち四年毎に一閏日を置の制あり第二ハ「グレゴリヤン」暦或ハ新暦にして露國を除くの外英佛獨其他總て歐米の耶蘇教國現今の暦なり此暦法の舊暦に異なる所ハ四百年毎に三個の閏日を省くにあり此法を實施するにハ西洋通俗の年號百にて整除し得べきもの(從て四にて整除し得べきもの)の中に於て之を百除して得る所の商更に四にて整除し得べからざるものハ特に之を平年とし其他ハ總て舊法に仍るものとす右の如くなるを以て西洋紀元一千七百年一千八百年及一千九百年(即ち明治卅三年)ハ「ジユリヤン」暦に於てハ閏年にして「グレゴリヤン」暦に於てハ平年なり抑も四時の一循環に要する時日即ち天文學上の一年の長さハ三六五、二四二二日にして全數の三百六十五日の外〇、二四二二の端數あり之を切捨る時ハ數年の後著るしき差を生ずるを以て右の端數〇、二四を〇、二五と見做し之に四を乘じて全數一日を得以て四年毎に一閏日を置くを原則とするも唯斯の如くなるときハ〇、二五より〇、二四二二を控除して得たる數〇、〇〇七八ハ毎年實際の軌道經過數に超過する所の數にして僅微の數なりと雖も數百年を經過するの後にハ又著じるしき差を生ず仍て〇、〇〇七八に四百を乘ずるときハ三一二となり即ち四百年の間にハ三日餘の過を生ずるが故に新暦にハ四百年毎に三日の閏を除き以て實際と暦と成るべく過不及なからしめんとするものなり

我紀元年數ハ西洋の紀元年數に超過すること六百六十年なるが故に其四を以て整除し得べき年ハ即ち亦閏年なり又我紀元年數より六百六十を減じたる後之を百除四除すること前法の如くするときハ「グレゴリヤン」暦に於て特に閏日を置かざる年を知ることを得べしさて我邦に於て明治五年壬申十一月九日の布告を以て太陰暦を廢し太陽暦を用ひらるゝに當り壬申十二月三日を以て明治六年一月一日と定められ爾後我暦日ハ英佛獨等諸國の暦と全く吻合し露國の暦とハ常に十二月の差あるを見れバ此布告中の所謂太陽暦とハ「グレゴリヤン」暦なること明白なり因て明治三十三年ハ「グレゴリヤン」暦法に據りて平年とすべきこと當然なるべし然るに改暦の詔書及び布告に於てハ單に「四年毎に一日の閏を置く」とのみありて閏日を置くべき年を指定せざるのみならず四百年中三箇の閏を省くの明文なきを以て一般人民ハ勿論諸官廳に於ても明治三十三年ハ閏年なりと思惟するもの多かるべしこれ該布告を補正するが爲め今回勅令の發布を要する所以なり